業務資料 No. 168

昭和44年度

移住地農家経済調査報告

昭和46年2月

海外移住事業団

RY

国際協力事業団
受入月日 '84.5.21 | 700
23.4
登録No. 06390 | EM

はしがき

「移住地農家経済調査」は、当事業団が戦後中南米の集団移住地に入植された方々を主たる対象に、営農の実態を把握することを目的として、昭和37年より毎年実施している調査であります。

昭和44年度は1,598戸の調査を実施しましたが（内訳はブラジル582戸、パラグァイ457戸、アルゼンチン58戸、ボリビア467戸、ドミニカ34戸）、その結果を従来にも増して巾広く利用していただくために、今回要約化した形で報告書の編成を行いました。

当年度の顕著な動きをみてみますとブラジルにおける胡椒価格の高騰と病害発生とが重なり、北伯移住地は悲喜こもごもの様相を呈し、またパラグァイでは搾油企業の進出にともなう油桐価格の持ち直しなどがみられます。しかし、全体としては、まだまだ解決を計っていかなければならない問題が少なくありません。

なお、本報告書の内容にも、また統計数値の代表性にも種々問題をかかえ、かつ疑問点もあると思われますが、この点今後充実を計って参りたい。ついては各位の忌憚のない御批判と御助言をお願いする。

昭和46年2月

業務第2部長

JICA LIBRARY
1053198[6]

目　次

利用者のために

Ⅰ　調査の概要……………………………… 4
(1)　調査目的……………………………… 4
(2)　調査対象……………………………… 4
(3)　調査方法……………………………… 4
(4)　調査戸数及び調査対象期間 ……………… 5
Ⅱ　調査結果の表示方法並びに表示項目の説明 7
Ⅲ　利用上の注意…………………………… 11

統 計 表
第1部　総括表…………………………… 13
1. 農家経済の総括(1)………………………… 15
2. 農家経済の総括(2)………………………… 16
3. 所得的階層分化の状況……………………… 17
4. 年次別農業所得の推移状況………………… 18
5. 農畜産物販売状況………………………… 19
6. Fig 1.農家経済の総括(1) ………………… 20
7. Fig 2.農家経済の総括(2) ………………… 20
8. Fig 3.所得的階層分化の状況 …………… 21
9. Fig 4.年次別農業所得の推移状況 ……… 22
10. Fig 5.　農畜産物販売状況 ……………… 23
第2部　移住地一覧表 …………………… 25
1. トメ・アスー移住地（ブラジル）………… 28
2. 第2トメ・アスー移住地（ブラジル）…… 30
3. モンテ・アレグレ移住地（ブラジル）…… 32
4. ベラビスタ移住地（ブラジル）…………… 34
5. タイアーノ移住地（ブラジル）…………… 36
6. ア　カ　ラ移住地（ブラジル）…………… 38
7. マカパ近郊（ブラジル）…………………… 40
8. エフゼニオ・サーレス 移住地（ブラジル）…… 42
9. トレーゼ・デ・セテンブロ移住地（ブラジル）… 44
10. キナリー移住地（ブラジル）……………… 46
11. サンタ・イザベル区（ブラジル）………… 48
12. カスタニヤール 区（ブラジル）…………… 50
13. グ　ア　マ移住地（ブラジル）…………… 52
14. マラニオン州（ブラジル）……………… 54
15. ベレーン近郊（ブラジル）……………… 56
16. クビチェック 移住地（ブラジル）………… 58
17. イツペラ移住地（ブラジル）……………… 60
18. リオ・ボニート移住地（ブラジル）……… 62
19. ピオ・ドーゼ移住地（ブラジル）………… 64
20. ブナウ移住地（ブラジル）……………… 66
21. ウナ移住地（ブラジル）………………… 68
22. ピウン移住地（ブラジル）……………… 70
23. カーボ移住地（ブラジル）……………… 72
24. レシーフェ近郊（ブラジル）…………… 74
25. グァタパラ移住地（ブラジル）………… 76
26. パルゼア・アレグレ移住地（ブラジル）……… 78
27. オウリーニョス移住地（ブラジル）……… 80
28. ピニヤール移住地（ブラジル）…………… 82
29. ジャカレイ移住地（ブラジル）………… 84
30. 日光移住地（ブラジル）………………… 86
31. フンシャール移住地（ブラジル）………… 88
32. ラーモス移住地（ブラジル）……………… 90
33. イタチ移住地（ブラジル）……………… 92
34. パジェー移住地（ブラジル）…………… 94
35. アルト・パラナ移住地（パラグァイ）…… 96
36. フラム移住地（パラグァイ）…………… 98
37. チャベス移住地（パラグァイ）………… 100
38. イグアスー移住地（パラグァイ）……… 102
39. アマンバイ移住地（パラグァイ）……… 104
40. アスンシオン近郊（パラグァイ）……… 106
41. ガルアペー移住地（アルゼンチン）……… 108
42. アンデス移住地（アルゼンチン）……… 110
43. サン・ファン移住地（ボリビア）……… 112
44. 沖縄第1移住地（ボリビア）…………… 114
45. 沖縄第2移住地（ボリビア）…………… 116
46. 沖縄第3移住地（ボリビア）…………… 118
47. ダハボン移住地（ドミニカ）…………… 120
48. コンスタンサ移住地（ドミニカ）……… 122
49. ハラバコア移住地（ドミニカ）………… 124

付表　移住地位置図

利用者のために

I 調査の概要

(1) 調査の目的

移住地農家経済の実態並びに推移を定期的、継続的に調査分析し、現地においては、個々の農家及び移住地の営農指導上並びに諸施策効果の測定などの基礎資料として、本部においては、各移住地の比較検討、総合的な移住地経営方針の樹立のための基礎資料、並びに移住希望者の啓発資料とする。

(2) 調査対象

戦後移住の主要な集団移住地を調査地区とし、それぞれの調査地区に居住する邦人農家を調査対象とした。

(3) 調査方法

海外移住事業団の現地営農指導関係職員が、対象農家を戸別訪問し、聴取調査を行った。

調査対象農家数及び対象農家の抽出方法は、原則として調査地区の農家戸数により下記の抽出基準によって調査対象農家数を決定し、標本抽出は、単純無作為抽出方法をとっているが、種々の現地事情に鑑み調査対象農家数及び対象農家の決定は、現地調査員の適切な裁量にまかせた。

調査対象農家抽出基準

移住地農家戸数	調査戸数
30戸以下	全戸数
31～50戸	入植戸数の3／4戸以上
51～150戸	〃　1／2戸〃
151戸以上	〃　1／3戸〃

(4) 調査戸数及び調査対象期間

国名	移住地名	入植戸数	調査戸数	調査農家抽出基準充足状況	調査対象期間
ブラジル	トメ・アスー	384戸	52戸	◎ ※1	昭和44年1月～12月
	第2トメ・アスー	88	83	◎	〃
	モンテ・アレグレ	21	9	△	〃
	ベラビスタ	38	7	△	〃
	タイアーノ	4	2	△	〃
	アカラ	30	10	△	〃
	マカパ近郊	21	12	△	〃
	エオゼニオ・サーレス	53	13	△	〃
	トレーゼ・デ・セテンブロ	26	9	△	〃
	キナリー	4	4	◎	〃
	サンタ・イザベル	ベレーン	2	△	〃
	カスタニヤール	近郊	5	△	〃
	グァマ	53	5	△	〃
	マラニオン	22	5	△	〃
	ベレーン近郊	375	7	△	〃
	クピチェック	67	29	○	〃
	イッペラ	6	6	◎	〃
	リオ・ボニート	18	13	○	〃
	ピオ・ドーゼ	5	5	◎	〃
	ブナウ	3	3	◎	〃
	ウナ	32	17	○	〃
	ピウン	10	10	◎	〃
	カーボ	8	4	△	〃
	レシーフェ近郊	19	8	△	〃
	グァタパラ	122	64	◎	〃
	パルピア・アレグレ	32	30	◎	〃
	オーリーニョス	19	18	○	〃

国名	移住地名	入植戸数	調査戸数	調査農家抽出基準充足状況	調査対象期間
ブラジル	ピニヤール	48戸	29戸	○	昭和44年1月~12月
	ジャカレイ	33	23	○	〃
	日光	41	29	○	〃
	フンシャール	42	40	◎	〃
	ラーモス	24	18	○	昭和44年4月~45年3月
	イタチ	11	7	○	昭和44年1月~12月
	バジェー	4	4	◎	〃
小計		1,663	582	調査実施率 35%	
パラグァイ	アルト・パラナ	335	99	○	昭和43年7月~44年6月
	フラム	280	94	◎	〃
	チャベス	70	28	○	〃
	イグアスー	160	114※2	◎	〃
	アマンバイ	115	95	◎	昭和44年1月~12月
	アスンシオン近郊	40	27	○	昭和43年7月~44年6月
小計		1,000	457	調査実施率 46%	
アルゼンチン	ガルアペー	41	36	◎	昭和43年9月~44年8月
	アンデス	24	22	○	〃
小計		65	58	調査実施率 89%	
ボリビア	サン・ファン	252	159	◎	昭和43年5月~44年4月
	沖縄第1	213	157	◎	昭和43年7月~44年6月
	沖縄第2	159	105	◎	〃
	沖縄第3	65	46	◎	〃
小計		689	467	調査実施率 68%	
ドミニカ	ダハボン	16	14	○	昭和44年1月~12月
	コンスタンサ	16	10	○	〃
	ハラバコア	18	10	○	〃
小計		50	34	調査実施率 68%	
合計		3,467	1,598	調査実施率 46%	

注1. 入植戸数とは、農家経済調査の対象となりうる農家の数で、調査時点における戸数を示している。

注2. 調査農家抽出基準の充足状況とは、定められた調査抽出基準を充たしているかどうかを示すものであり、◎印充たしている、○印ほぼ充たしている、△印基準をかなり下回るの3段階の区分により評価した。

従って、移住地別の統計数値の信頼度は、上記の区分に相応するものと考えられる。

注3. ※1は戦後入植者の戸数に対し、抽出基準を充たしているものである。

※2は隣接ストロエスネル移住地入植者を含む。

II 調査結果の表示方法並びに調査項目別説明

本報告書における表示方法は、従来の公表方式を大巾に変た。即ち各移住地毎の農家経済の実態把握を意図し、項目別に農家一戸当り平均値を算出表示した。また、必要な個所には最高、最低の数値を併せ表示し、次のように編成した。

即ち、調査の設計に即しながら広汎な調査結果の利用を考慮して、統計表の前に簡単な移住地概況当該農年度における営農概況をとりまとめ、さらに最低限必要とする経営分析指標をわかり易く図示した。又、移住地の地理的位置も巻末に中南米地図を付することによりわかりやすくした。

以上については、移住地一覧表として編成表示したが更に総括的な意味で第1部として総括表を編成し、図を取り入れてできるだけわかりやすく理解されうるよう、全体の編成をこころみた。

第1部 総 括 表

1. 農家経済の総括(1)

国別、移住地別の農業経営収支を表示し、併せて農業所得率をみた。

農業粗収入－（農業経営費＋借入金利息）＝農業所得

$$\text{農業所得率(\%)} = \frac{\text{農業所得}}{\text{農業粗収入}} \times 100$$

なお、参考までに内地農家、内地開拓農家との比較をこころみた。

2. 農家経済の総括(2)

国別、移住地別の農家経営収支を表示し、併せて農業依存度をみた。

農業所得＋農外所得＝農家所得

農家所得－家計費＝（農家経済余剰）

（注、厳密な意味での農家経済余剰ではない。）

$$\text{農業依存度(\%)} = \frac{\text{農業所得}}{\text{農家所得}} \times 100$$

なお、参考までに、内地農家、内地開拓農家との比較をこころみた。

3. 所得的階層分化の状況

国別、移住地別の農家所得からみた階層分化の状況を下記の分類により表示した。

区　分	農　　家　　所　　得
A	1,200千円以上
B	900千円以上、1,200千円未満
C	600千円以上、900千円未満
D	300千円以上、600千円未満
E	300千円未満

4. 年次別農家所得の推移状況

国別、移住地別の年次別農業所得の推移状況を昭和40年度から44年度までの5か年間につき比較表示した。

なお、年度または地区により現金農業所得しか把握しえなかったところもある。

5. 農畜産物販売状況

国別、移住地別の農畜産物販売状況を短期作物、永年作物、畜産物に分類し、その販売構成を表示すると共に、併せて各移住地の主たる農畜産物につき、売上額順に第3位まで表示した。

$$\text{農業粗収入現金率(\%)} = \frac{\text{現金農業粗収入}}{\text{農業粗収入}} \times 100$$

6. Fig 1.農家経済の総括(1)

全農家及び国別の農業経営収支を棒グラフにより図示した。

7. Fig 2.農家経済の総括(2)

全農家及び国別の農家経営収支を棒グラフにより図示した。

8. Fig 3.所得的階層分化の状況

全農家及び国別の所得的階層分化の状況を円グラフにより図示した。

9. Fig 4.年次別農業所得の推移状況

全農家及び国別の年次別農業所得の推移状況を棒グラフにより図示した。

10. Fig 5.農畜産物販売状況

全農家及び国別の農畜産物販売状況を円グラフにより図示した。

第2部　移住地一覧表

1. 移住地概況

移住地の地理的位置、管理機関、入植歴、面積、近接市場等を簡単に記することにより、右欄統計表との関係をみられるようにした。

2. 地区営農概況

当該年度における営農の概況、即ち災害の有無、価格の動向、作況等につき、現地支部よりの月次報告をとりまとめ記し、右欄統計表との関係をみられるようにした。

3. 農家経済の概況

農家経済の概況を農家一戸当りの単純算術平均により算出表示した。

（各表示項目の説明）

① 入植経過年月

当該地区に入植してから調査対象期間末までの経過年月である。

② 家族人数

同一経済内にある家族・同居人の人数である。

ただし、同居人のうち賃金を支払っている者については、この中に含めなかった。

③ 農業換算労働人数

稼動力を示すもので農業従事の専従の度合、本人の能力を考慮して、換算した人数であるが、例外的なものを除いては、下記の換算率を用いて計算した。

年　令	男	女
0 ～ 5	0人	0人
6 ～ 14	0.3	0.3
15 ～ 19	0.8	0.8
20 ～ 29	1.0	0.8
30 ～ 59	1.0	0.8
60 ～	0.6	0.4

④ 土地利用状況

地権の獲得地、未獲得地にかかわらず、農業の所有地を地目別に分類表示した。なお、借地についても地目別に分類し、この中に含めて表示した。

⑤ 動植物所有状況

大動物、植物の所有状況を示した。

⑥ 負債状況

借入金残高、土地代残高（未払土地代）未払経費期末残高に分類表示した。

注　上記①入植経過年月の項より、⑥負債状況の項までは調査年度期末現在でもって表示した。
　　⑦農畜産物販売状況の項以下は調査対象期間内の成果である。

⑦ 農畜産物販売状況

それぞれの農家の農業生産物を短期作物、永年作物、畜産物に分類し、各々売上金額順位に従い第3位まで表示した。

なお、売上額があまりにも少ない場合は記載していない。又、野菜類等で一つの作目だけがはっきりしているような場合は、他の野菜類を"その他野菜"として区分記載した。

例　第1位　トマト、第2位　その他野菜

⑧ 農業経営費

農業経営費とは、農業粗収入をあげるに要した一切の経費であって、当年度における流動的経営及び当該経営年度の負担すべき固定資産の減価償却部分よりなっている。したがって所有生産要素たる自作地の地代、自己資本利子、家族労賃は含まない。また、自家農産物であって再び農業経営費に費消されたいわゆる中間生産物及び家計残廃物の消費価値も農業経営費には算入しない

こととした。

農業経営費の表示は、農業現金支出、減価償却費、期末未払農業経営費及びこれの会計額で表示した。なお、農業生産資材減少額は正確な数値を把握しがたいので、残念ながら農業経営費に加算表示しえなかった。また、販売経費は荷造運賃及び販売手続料を一括計上した。

⑨ 農家経済総括

(1) 農業粗収入（農業粗収益）

農業粗収入とは、1年間の農業経営の結果から得られた総収入額であって、当年度の農業経営の成果である。この内容は、作物、家畜等の生産販売収入、家計に仕向けられる農産物の販売額のほか、農業用生産手段の一時的賃借料なども含んでいる。

農業粗収入の計算は農業現金収入、農業生産現物家計済費額、期末未処分農産物在庫増減額及び動植物の成長、新植による増減価額を加算したものである。

本報告書においては、現金農業粗収入の合計（永年作物、短期作物、畜産物と内容を表示Fig5.参照）と、これに対する非現金的農業粗収入（即ち、未収販売代金期末残額、家計用食料見積額、未処分農産物増減額、動植物増減価額であるが、部門的に勘定を設けず勘定の計のみを非現金農業粗入の計として一括計上した。）の合計とに編成表示し、両者を加算して農業粗収入の合計を算出表示した。（Fig4.参照）

(2) 農業経営費

前期⑧項で計算したものを農業経営費として一括表示した。

(3) 借入金利息

調査対象期間内に支払った利息を一括表示した。

(4) 農業所得

農家が農業経営において、自家労働及び所有生産手段の利用を中心として、経営活動を行なった結果、その報酬としてどれだけ得たか、いいかえれば農業経営に使用された自家労働及び自己所有の生産手段に対する報酬の合計ということになり、農業所得＝農業粗収入－農業経営費で算出する。

本報告書では農業粗収入－農業経営費－借入金利息＝農業所得として算出表示した。

なお、借入金利息は、借入金が必ずしも金額経営に費消されたとはいえないが、ほぼ大部分が経営に費消されているので、便宜上一括農業経営費に加算し、農業所得を算出することとした。（Fig3.参照）

(5) 農外収入

農業以外の事業からの収入を表示した。

(6) 農外支出

農業以外の収入をあげるに要した一切の費用を表示した。

(7) 農外所得

農業以外の兼業所得（農外事業所得）と、労賃俸給、地代等の収入からなっており、ここにおいて一括表示した。

(8) 農家所得

農家の農業、農外の経営を通じて得た総合報酬であり、次式により算出表示した。

農家所得＝農業所得＋農外所得　（Ｆｉｇ2.参照）

(9) 家 計 費

農家の世帯員が生計を維持するために要した費用を一括計上したものである。

(10) 農家経済余剰

農業所得より、農家を企業単位と考えた場合、農家経営に必要な経費である諸負担金、家計費を差し引いた額で表示してあり、調査対象期間内の農家経営による余剰または欠損を示し、当余剰によって、農家経営の黒字、赤字を判別することが出来る。

本報告書では、単に農家経済余剰＝農家所得－家計費として算出しているため、厳密な意味での農家経済余剰ではなく、従って数値に（　）を付し、参考までに表示した。

4. そ の 他

簡単な分析指標を図示した。

Ｆｉｇ1　所得的階層分化の状況

調査農家を農業所得別に前記（Ａ・Ｂ・Ｃ……）の区分により、階層分化の状況を図示した。

Ｆｉｇ2　農家所得構成

農家所得に占める農業所得の割合いを図示した。

Ｆｉｇ3　農業所得率

農業粗収入に対する農業所得の割合いを図示した。

Ｆｉｇ4　農業粗収入現金率

農業粗収入に占める現金農業粗収入の割合いを図示した。

Ｆｉｇ5　農畜産物販売状況

短期作物、永年作物、畜産物が総販売収入に占める割合を図示した。

Ｆｉｇ6　経営形態別農家構成

調査農家を経営形態別に分類し図示した。

Ⅲ 利用上の注意

(1) 邦貨換算レートについて

本報告書は、全て次表に従って行った。

国名	貨幣	邦貨換算レート
ブラジル	Ｎｃｒ＄	1Ｎｃｒ＄＝８９,８４４円
※ラーモス移住地のみ調査対象期間が異なるため1Ｎｃｒ＄＝８６,９２２円		
パラグァイ	₲	1₲＝2.８６円
アルゼンチン	₽	1₽＝1.０３円
ボリビア	b＄	1ｂ＄＝３０円
ドミニカ	RD＄	1ＲＤ＄＝３６０円

(2) 調査設計の改訂と統計値の接続

本報告は昭和4 3年度に調査設計の改訂がなされているので改訂前の統計値との接続が明確でなく、したがって項目別の利用にあたっては、十分注意されたい。

(3) 統計数値の信頼度

この報告書に表示した1戸当りの平均値は、調査対象たる標本農家全体の平均値であって、項目によっては標本農家全部に現出するものもあるが、ごく少数の標本農家のみしか該当しない項目もある。1戸当り平均値の信頼度は母集団における当該項目の分散の大小と、標本中の出現率によって左右される。すなわち、標本農家数が一定であるから、出現率が同一であれば母集団における分散の大きい項目程信頼度が低く、母集団における分散が同一項目では出現率が低いほど、その信頼度が低くなる。

したがって、項目別の利用にあたっては、これらの点を十分注意されたい。

(4) 資産評価について

本報告書では、負債を(6)負債状況として内容別に集計網羅しているが、資産状況は網羅していない。

したがって、資産評価は成し得ず、本報告書では単に動態部門のみの評価判定しか成し得ない。

この点については、、目下移住地毎の資産評価基準の作成を急いでいるので、その完成を待って正確な正味資産の把握に努めてゆきたい。

(5) 内地農家、内地開拓農家との比較について

本報告書では、一部で内地農家内地開拓農家との比較をこころみているが、諸物価の違い、消費水準の違い等単純に比較することは当を得ていない。又、調査対象期間もわが国では4月～3月制を採用しているので、実質的な意味では比較できないところであるが、参考までに比較掲載してみたものである。ただし、開拓農家との比較においては、両者に下記のような共通点があるものと考えられるところから、興味深いものと言える。

（移住地農家と内地開拓農家との共通点）

イ 経営規模が大きいこと。

ロ 専業率が高いこと。

ハ 畜産果樹等所謂生長部門に占めている地位が相対的に高いこと。

ニ 地区が永続的に農業地域として存続すると考えられる地域が多く存在すること。

尚、内地農家との比較においては、「昭和4 4年度農家経済調査報告」（農林省統計調査部編）、内地開拓農家との比較においては「昭和4 4年度開拓地営農実績調査報告」（農林省農地局編）より、それぞれ引用した。

(5) その他

ベレン支部管内移住地の農業経営費の内訳費目がほとんどの移住地で横線表示になっているが、これは報告が義務づけられていないためで、現地支部では把握している。

（4 5年度からは表示する予定）

統　計　表

第１部　総　括　表

1. 農家経済の総括 (1)

（農家一戸当り平均）

移住地名	農業粗収入	農業経営費	借入金利息	農業所得	農業所得率
トメ・アスー	3,870 千円	2039 千円	51 千円	1,780 千円	46 %
第2トメ・アスー	1,216	827	48	341	28
モンテアレグレ	1,272	598	13	661	52
ベラビスタ	2,841	1,761	24	1,056	37
タイアーノ	1,038	803	0	235	23
アカラ	4,699	2,775	45	1,879	40
マカパ近郊	24,36	1,763	75	598	25
エフゼニオ・サーレス	2,598	1,471	62	1,065	41
トレーゼ・デ・セテンブロ	7,497	4,535	141	2,821	38
キナリー	2,391	1,445	6	940	39
サンタ・イザベル	2,335	2,562	54	−281	—
カスタニヤール	7,044	4,586	160	2,298	33
グアマ	2,943	2,739	73	131	4
マラニオン	4,325	2,016	8	2,301	53
ベレーン近郊	1,994	1,414	22	558	28
クビチェック	2,050	1,391	60	599	29
イツベラ	2,236	807	29	1,400	63
リオ・ボニート	1,939	1,279	25	635	33
ピオ・ドーゼ	1,596	1,194	30	372	23
ブナウ	1,005	453	58	494	49
ウナ	1,226	502	26	698	57
ビウン	1,100	510	3	587	53
カーボ	2,024	1,145	50	829	41
レシーフェ近郊	6,483	4,577	176	1,730	27
グァタパラ	2,919	2,226	58	635	22
バルビア・アレグレ	4,904	3,983	71	850	17
オウリーニョス	2,154	1,174	43	937	44
ビニヤール	2,079	1,393	63	713	34
ジャカレイ	7,408	5,804	125	1,479	20
日光	1,788	536	55	1,197	67
フンシャル	4,894	4,232	238	424	9
ラーモス	2,357	997	184	1,176	50
イタチ	2,181	1,536	58	587	27
バジェー	2,505	1,188	19	1,298	52
ブラジル	2.977	2,007	73	897	30
アルト・パラナ	678	312	11	355	52
フラム	812	372	34	406	50
チャベス	968	471	24	473	49
イグアスー	951	562	19	370	39
アマンバイ	854	389	21	444	52
アスンシオン近郊	2,909	1,456	35	1,418	49
パラグァイ	960	480	2.2	458	48
ガルアペー	1,111	424	53	634	57
アンデス	627	328	5	294	47
アルゼンチン	927	388	35	504	54
サン・ファン	1,092	539	5	548	50
沖縄第1	727	420	4	303	42
沖縄第2	864	380	6	478	55
沖縄第3	1,099	403	7	689	63
ボリビア	917	450	5	462	50
ダハボン	2,675	1,416	18	1,241	46
コンスタンサ	1,816	1,554	73	189	10
ハラバコア	2,823	2,056	21	746	26
ドミニカ	2,466	1,645	35	786	32
移住地農家平均	1,715	1,049	37	629	37
内地農家平均	969	440	—	529	55
内地開拓農家平均	1,052	517	—	535	51

注・借入金利息は通常農業経営収支に算入しないたてまえであるが、移住地農家の場合、借入金のほとんどが農業経営に費消されているものと判断される。

2. 農家経済の総括 (2)

（農家一戸当り平均）

移住地名	農業所得	農外所得	農家所得	家計費	(農家経済余剰)	農業依存度
トメ・アスー	1,780千円	68 千円	1,848	515 千円	(1,333) 千円	96 %
第2トメ・アスー	341	80	421	341	(80)	81
モンテ・アレグレ	661	34	695	441	(254)	95
ベラビスタ	1,056	53	1,109	408	(701)	95
タイアーノ	235	629	864	404	(460)	27
アカラ	1,879	80	1,959	806	(1,153)	96
マカパ近郊	598	42	640	482	(158)	93
エフゼニオ・サーレス	1,065	226	1,291	506	(785)	82
トレーゼ・デ・セテンブロ	2,821	47	2,868	1,191	(1,677)	98
ギナリー	940	48	988	566	(442)	95
サンタ・イザベル	−281	0	−281	314	(−595)	—
カスタヤール	2,298	0	2,298	528	(1,770)	100
グアマ	131	164	295	688	(−393)	44
マラニオン	2,301	56	2,357	1,063	(1,294)	98
ベレーン近郊	558	4	562	434	(128)	99
クビチェック	599	288	887	535	(352)	68
イツベラ	1,400	198	1,598	481	(1,117)	88
リオ・ボニート	635	16	651	355	(296)	98
ビオ・ドーゼ	372	30	402	369	(33)	93
ブナウ	494	66	560	365	(195)	88
ウナ	698	373	1,071	529	(542)	65
ビウン	587	132	719	480	(239)	82
カーボ	829	243	1,072	530	(542)	77
レシーフェ近郊	1,730	58	1,788	617	(1,171)	97
グアタパラ	635	42	677	402	(275)	94
バルビア・アレグレ	850	29	879	—	(—)	97
オウリーニュス	937	41	978	385	(593)	96
ビニャール	713	9	722	303	(419)	99
ジャカレイ	1,479	−9	1,470	558	(912)	101
日光	1,197	29	1,226	346	(880)	98
ワンシャル	424	0	424	420	(4)	100
ラーモス	1,176	18	1,194	432	(762)	98
イタチ	587	0	587	542	(45)	100
バジェー	1,298	0	1,298	553	(745)	100
ブラジル	897	74	971	458	(513)	92
アルト・パラナ	355	41	396	251	(145)	90
フラム	406	82	488	253	(235)	83
チャベス	473	290	763	319	(444)	62
イグアスー	370	185	555	273	(282)	67
アマンバイ	444	115	559	258	(301)	79
アスンシオン近郊	1,418	235	1,653	606	(1,047)	86
パラグァイ	458	127	585	283	(302)	78
ガルアペー	634	138	772	334	(438)	82
アンデス	294	110	404	216	(188)	73
アルゼンチン	504	128	632	289	(343)	80
サン・ファン	548	119	667	361	(306)	82
沖縄第1	303	59	362	352	(10)	84
沖縄第2	478	47	525	326	(199)	91
沖縄第3	689	50	739	326	(413)	93
ボリビア	462	76	538	347	(191)	86
ダハボン	1,241	46	1,287	813	(474)	96
コンスタンサ	189	76	265	596	(−331)	71
ハラバコア	746	58	804	735	(69)	93
ドミニカ	786	58	844	726	(118)	93
移住地農家平均	629	91	720	374	(346)	87
内地農家平均	529	721	1,250	1,083	203	42
内地開拓農家平均	535	202	737	—	—	—

注 農家経済余剰は調査項目にないため、本表では単に農家所得－家計費として算出( )を付し、参考までに表示した。
なお、内地農家の経済余剰は可処分所得－家計費で表示した。

3. 所得的階層分化の状況

移住地名	A		B		C		D		E		計	
	戸数	%	戸数	%	戸数	%	戸数	%	戸数	%	戸数	%
トメ・アスー	24	46	6	12	9	17	8	15	5	10	52	100
第2トメ・アスー	7	8	11	13	14	17	6	7	45	55	83	100
モンテ・アレグレ	1	11	2	22	3	34	1	11	2	22	9	100
ベラビスタ	3	43	0	0	2	29	1	14	1	14	7	100
タイアーノ	1	50	0	0	0	0	1	50	0	0	2	100
アカラ	7	70	1	10	1	10	0	0	1	10	10	100
マカパ近郊	2	17	1	8	1	8	1	8	7	59	12	100
エフゼニオ・サーレス	6	47	3	23	0	0	2	15	2	15	13	100
トレーゼ・デ・セテンブロ	8	89	1	11	0	0	0	0	0	0	9	100
キナリー	1	25	1	25	1	25	1	25	0	0	4	100
サンタ・イザベル	0	0	0	0	0	0	0	0	2	100	2	100
カスタニャール	3	60	2	40	0	0	0	0	0	0	5	100
グアマ	0	0	1	20	0	0	0	0	4	80	5	100
マラニオン	4	80	1	20	0	0	0	0	0	0	5	100
ベレーン近郊	1	14	0	0	0	0	3	43	3	43	7	100
クビチェック	5	17	6	21	10	34	6	21	2	7	29	100
イツベラ	2	33	1	17	0	0	1	17	2	33	6	100
リオ・ボニート	2	15	2	15	1	8	2	15	6	47	13	100
ビオ・ドーゼ	0	0	0	0	1	20	2	40	2	40	5	100
ブナウ	0	0	1	33.3	0	0	1	33.3	1	33.3	3	100
ウナ	5	29	3	18	6	35	2	12	1	6	17	100
ビウン	2	20	1	10	2	20	3	30	2	20	10	100
カーポ	2	50	0	0	2	50	0	0	0	0	4	100
レシーフェ近郊	5	62	0	0	1	13	2	25	0	0	8	100
グァタパラ	12	19	4	6	11	17	9	14	28	44	64	100
バルビア・アレグレ	7	23	6	20	5	17	7	23	5	17	30	100
オウリーニョス	4	22	4	22	2	11	6	34	2	11	18	100
ビニャール	5	17	1	4	3	10	7	24	13	45	29	100
ジャカレイ	7	31	5	22	4	17	4	17	3	13	23	100
日光	8	28	2	7	8	28	4	13	7	24	29	100
フンシャル	4	10	6	15	6	15	15	43	19	47	40	100
ラーモス	10	56	1	6	4	22	0	0	3	16	18	100
イタチ	1	14	1	14	1	14	2	29	2	29	7	100
バジェー	2	50	1	25	0	0	0	0	1	25	4	100
ブラジル	151	26	75	13	98	17	87	15	171	29	582	100
アルト・パラナ	4	4	6	6	15	15	29	29	45	46	99	100
フラム	4	4	9	10	14	15	34	36	33	35	94	100
チャベス	3	18	3	11	5	18	8	28	7	25	28	100
イグアスー	11	10	4	4	21	18	26	23	52	45	114	100
アマンバイ	7	7	9	9	15	16	30	32	34	36	95	100
アスンシォン近郊	13	49	6	22	2	7	2	7	4	15	27	100
パラグァイ	44	10	37	8	72	16	129	28	175	38	457	100
ガルアペー	8	22	3	8	6	17	5	14	14	39	36	100
アンデス	0	0	0	0	3	14	13	59	6	27	22	100
アルゼンチン	8	14	3	5	9	16	18	31	20	34	58	100
サン・ファン	23	14	12	8	31	19	55	35	38	24	159	100
沖縄第1	8	5	4	3	20	13	47	30	78	49	157	100
沖縄第2	8	8	7	7	17	16	27	26	46	43	105	100
沖縄第3	8	17	4	9	5	11	16	35	13	28	46	100
ボリビア	47	10	27	6	73	16	145	31	175	37	467	100
ダハボン	6	44	2	14	3	21	1	7	2	14	14	100
コンスタンサ	2	20	0	0	1	10	2	20	5	50	10	100
ハラパコア	1	10	3	30	1	10	5	50	0	0	10	100
ドミニカ	9	23	5	15	5	15	8	24	7	21	34	100
合計	259	16	147	9	257	16	387	24	548	35	1,598	100

注 A…農家所得1,200千円以上　B…農家所得900千円以上、1,200千円未満　C…農家所得600千円以上、900千円未満
D…農家所得300千円以上、600千円未満　E…農家所得300千円未満

4. 年次別農業所得の推推状況

（農家一戸当り平均）

移住地名	昭和40年度	昭和41年度	昭和42年度	昭和43年度	昭和44年度
トメアスー	1,135千円	（402）千円	1,761千円	585千円	1,780千円
第2トメ・アスー	119	（2）	316	825	341
モンテアレグレ	264	（174）	393	858	661
ベラビスタ	211	（530）	—	643	1,056
タイアーノ	316	（256）	—	—	235
アカラ	432	（181）	1,254	1,340	1,879
マカパ近郊	623	—	695	—	598
エフゼニオ・サーレス	471	（332）	741	583	1,065
トレーゼ・デ・セテンブロ	679	（377）	2,204	1,779	2,821
キナリー	1,127	（878）	—	917	940
サンタ・イザベル	※1,281	※（956）	—	—	−281
カスタニヤール	509	（46）	—	—	2,298
グアマ	503	（331）	1,381	996	131
マラニオン	—	—	—	—	2,301
ベレーン近郊	903	（602）	—	1,083	558
クビチェック	621	600	777	586	599
イッペラ	797	525	524	456	1,400
リオ・ボニート	953	149	357	226	635
ピオ・ドーゼ	359	400	623	695	372
ブナウ	431	824	877	808	494
ウナ	302	256	443	598	698
ピウン	620	736	772	521	587
カーボ	—	764	466	1,017	829
レシーフェ近郊	—	348	1,266	1,397	1,730
グァタパラ	230	191	347	682	635
バルゼア・アレグレ	306	737	287	—	850
オウリーニョス	602	488	−95	397	937
ピニャール	220	−25	568	428	713
ジャカレイ	351	561	463	1,122	1,479
日光	—	—	406	868	1,197
フンシャル	—	586	309	（616）	424
ラーモス	118	—	334	558	1,176
イタチ	—	—	858	1,627	587
バジェー	—	—	—	2,263	1,298
ブラジル	620	434	524	755	897
アルト・パラナ	251	212	418	506	355
フラム	174	—	455	309	406
チャベス	363	—	503	383	473
イグアスー	206	464	369	269	370
アマンバイ	—	—	887	（280）	444
アスンシオン近郊	2,300	—	—	—	1,418
パラグァイ	344	290	511	365	458
ガルアペー	389	409	493	1,002	634
アンデス	−432	245	380	304	294
アルゼンチン	127	346	451	715	504
サン・フアン	335	453	368	465	548
沖縄第1	—	—	—	464	303
沖縄第2	—	—	—	464	478
沖縄第3	—	—	—	472	689
ボリビア	335	453	368	465	462
ダハボン	479	—	833	1,097	1,241
コンスタンサ	1,019	—	929	530	189
ハラバコア	1,011	—	1,402	851	746
ドミニカ	803	—	1,070	833	786
移住地農家平均	537	418	506	562	629
内地農家平均	365	413	510	527	529
内地開拓農家平均	—	—	—	483	535

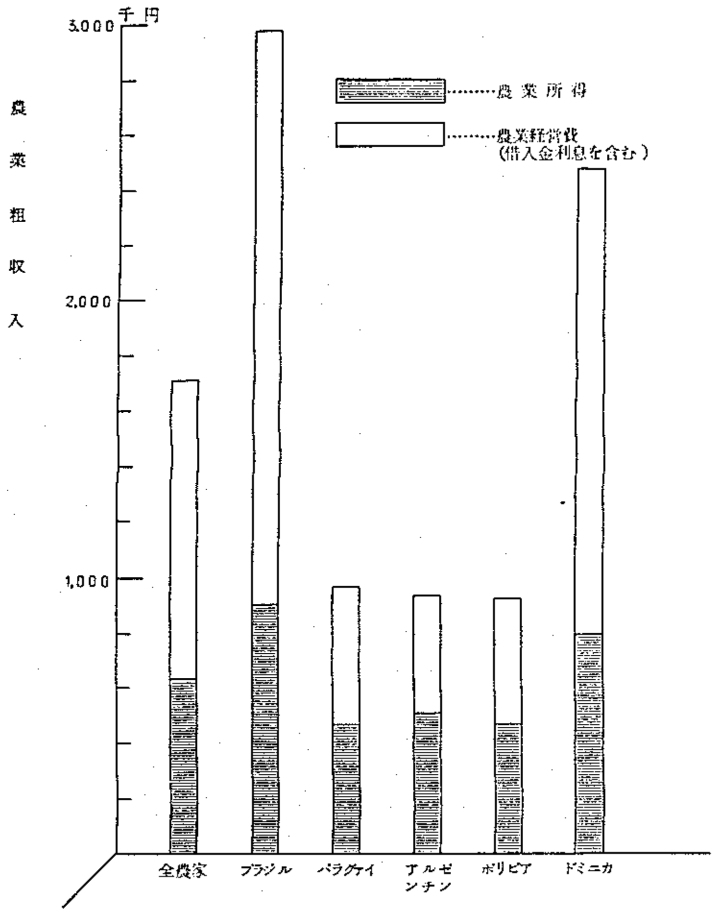
注1. （　）で標示した数値は現金農業所得である。（農業所得は不明）

注2. ※印の数値はヴィジア区を含む。

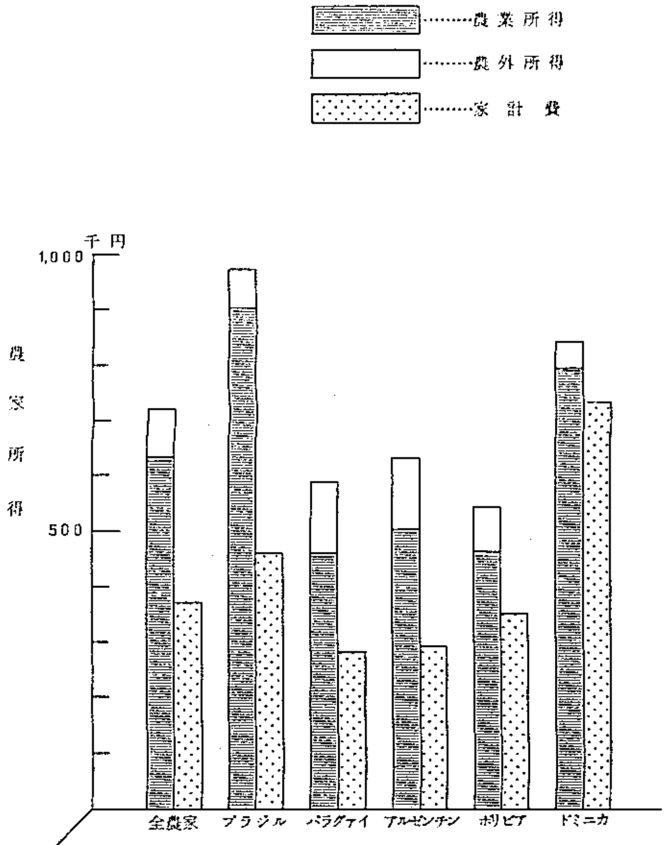
5. 農畜産物販売状況

移住地名	農畜産物販売状況			農業粗収入現金率	主たる農畜産物（移住地売上第3位まで）
	短期作物	永年作物	畜産物		
トメ・アスー	0.2 %	95.8 %	4 %	75 %	ピメンタ・鶏卵・野菜
第2トメ・アスー	0.5	97.5	2	98	ピメンタ・鶏卵・米
モンテ・アレグレ	28	69	3	84	ピメンタ・トマト・米
ベラビスタ	5	16	79	95	鶏卵・ピメンタ・野菜
タイアーノ	88	12	0	57	野菜・マンジョカ・ピメンタ
アカラ	2	96	2	100	ピメンタ・鶏卵・野菜
マカパ近郊	55	2	43	98	トマト・鶏卵・野菜
エフゼニオ・サーレス	12	42	46	84	鶏卵・ピメンタ・トマト
トレーゼ・デ・セテンブロ	25	3	72	94	鶏卵・トマト・鶏肉
キナリー	75	23	2	82	米・豆・マンジョカ
サンタ・イザベル	14	69	17	99	ピメンタ・鶏卵・トマト
カスタニヤール	52	21	28	98	トマト・鶏卵・ピメンタ
グアマ	0.3	98.7	1	99	ピメンタ・茶・豚
マラニオン	100	0	0	96	トマト・野菜・
ベレーン近郊	67	4	29	98	野菜・鶏卵・鶏肉
クピチェック	56	6	38	96	鶏卵・トマト・鶏肉
イッペラ	64.6	35	0.4	58	野菜・丁字・トマト
リオ・ボニート	93	2	5	96	人参・トマト・西瓜
ピオ・ドーゼ	24	1	75	94	鶏卵・メロン・鶏肉
ブナウ	91	5	4	91	トマト・人参・甘藍
ウナ	22	77.6	0.4	86	ゴム・西瓜・野菜
ピウン	81	17	2	95	西瓜・トマト・バナナ
カーボ	27	24	49	97	鶏卵・マラクジャ・メロン
レシーフェ近郊	43	0.6	56.4	99	鶏卵・トマト・西瓜
グアタパラ	22	0.5	77.5	97	鶏卵・米・豚
パルピア・アレグレ	15	1	84	98	鶏卵・とうもろこし・棉
オウリーニョス	18	40	42	98	鶏卵・ポンカン・ぶどう
ピニャール	74	17	9	99	トマト・イタリヤぶどう・鶏卵
ジャカレイ	6	9	85	99.5	肉鶏・鶏卵・花
日光	19	79	2	80	コーヒー・棉・フェジョン
フンシャル	14	9	77	99	鶏卵・ゴヤバ・肉鶏
ラーモス	18	76	6	93	ネクタリン・トマト・苗木（ネクタリン）
イタチ	100	0	0	99	トマト・ピーマン・きゆうり
パジェー	99.5	0	0.5	95	トマト・チシャ・人参
ブラジル	24	30	46	94	
アルト・パラナ	73	19	8	90	大豆・油桐・とうもろこし
フラム	85	11	4	88	大豆・とうもろこし・油桐
チャベス	75	18	7	95	トマト・大豆・油桐
イグアスー	87	0	13	97	トマト・野菜・鶏卵
アマンバイ	36	33	31	94	コーヒー・鶏卵・野菜
アスンシオン近郊	82	0.2	17	98	トマト・野菜・鶏卵
パラグァイ	49	12	39	94	
ガルアペー	29	69	2	63	みかん・苗木（みかん）・たばこ
アンデス	86	7	7	92	トマト・ぶどう・メロン
アルゼンチン	48	48	4	70	
サン・ファン	66	4	30	91	米・鶏卵・鶏肉
沖縄第1	59	4	37	72	米・豚・とうもろこし
沖縄第2	72	2	26	69	米・牛・豚
沖縄第3	40	46	14	73	さとうきび・米・とうもろこし
ボリビア	62	8	30	79	
ダハボン	99.4	0.1	0.5	98	米・野菜・鶏卵
コンスタンサ	100	0	0	98	野菜・高級野菜・ニンニク
ハラバコア	99.2	0	0.8	97	米・トマト・カボチャ
ドミニカ	99	0	1	98	
全平均	36	23	41	91	

6. Fig・1　農家経済の総括(1)

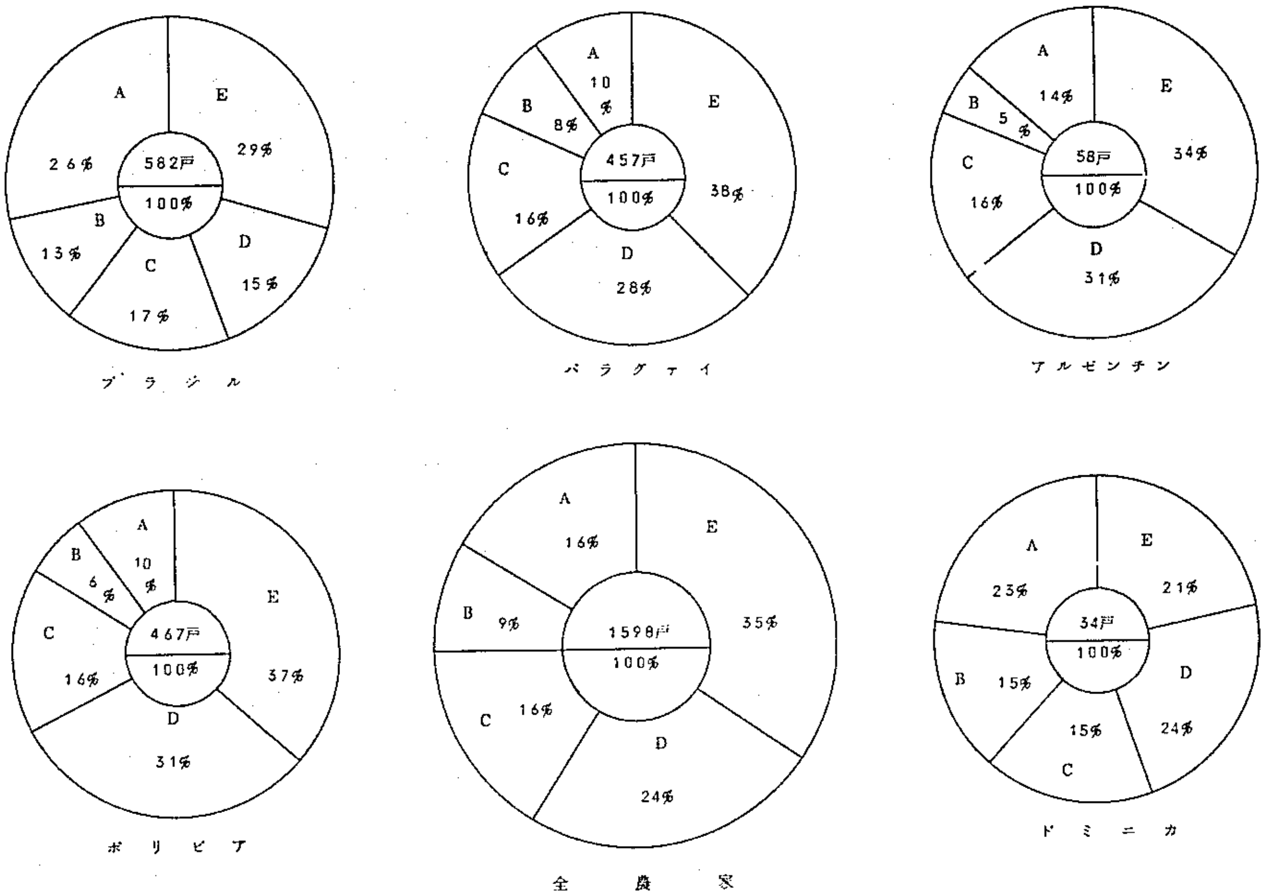


7. Fig・2　農家経済の総括(2)

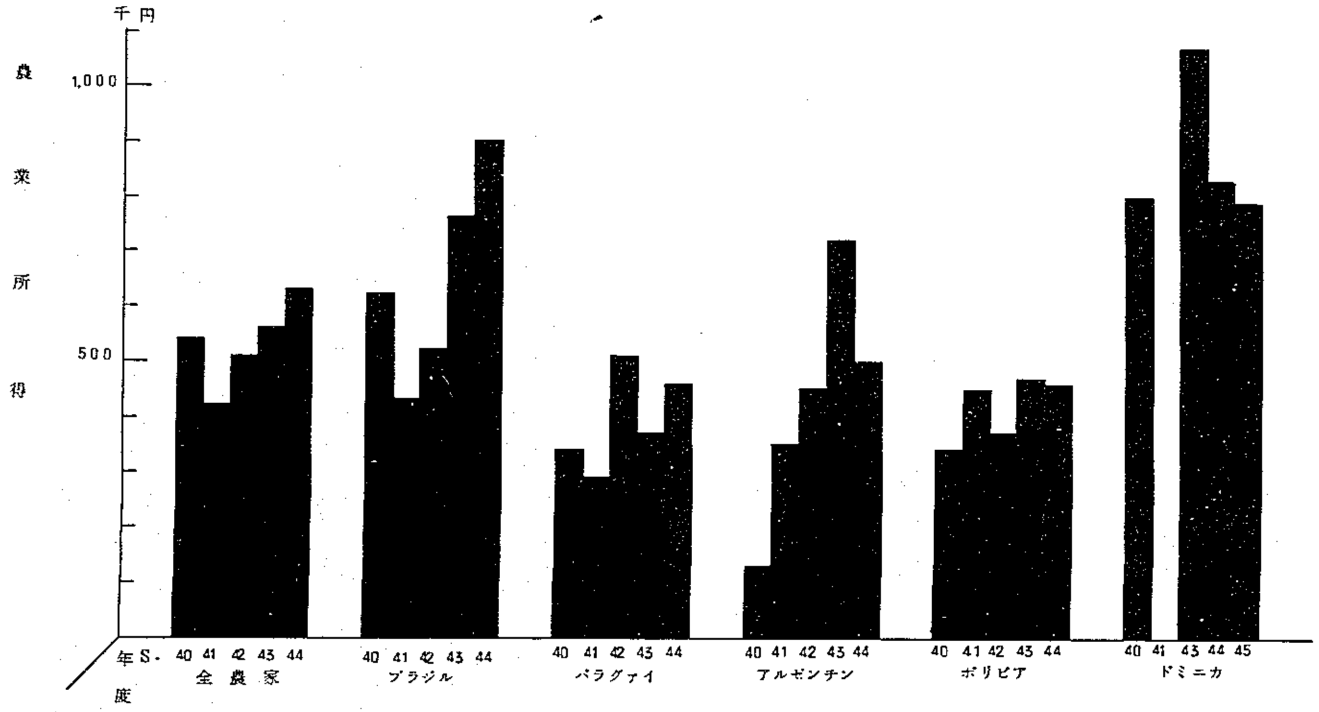


注　ブラジル及び全農家の家計費はパルゼア・アレグレを含まず。

8　Fig.3　所得的階層分化の状況

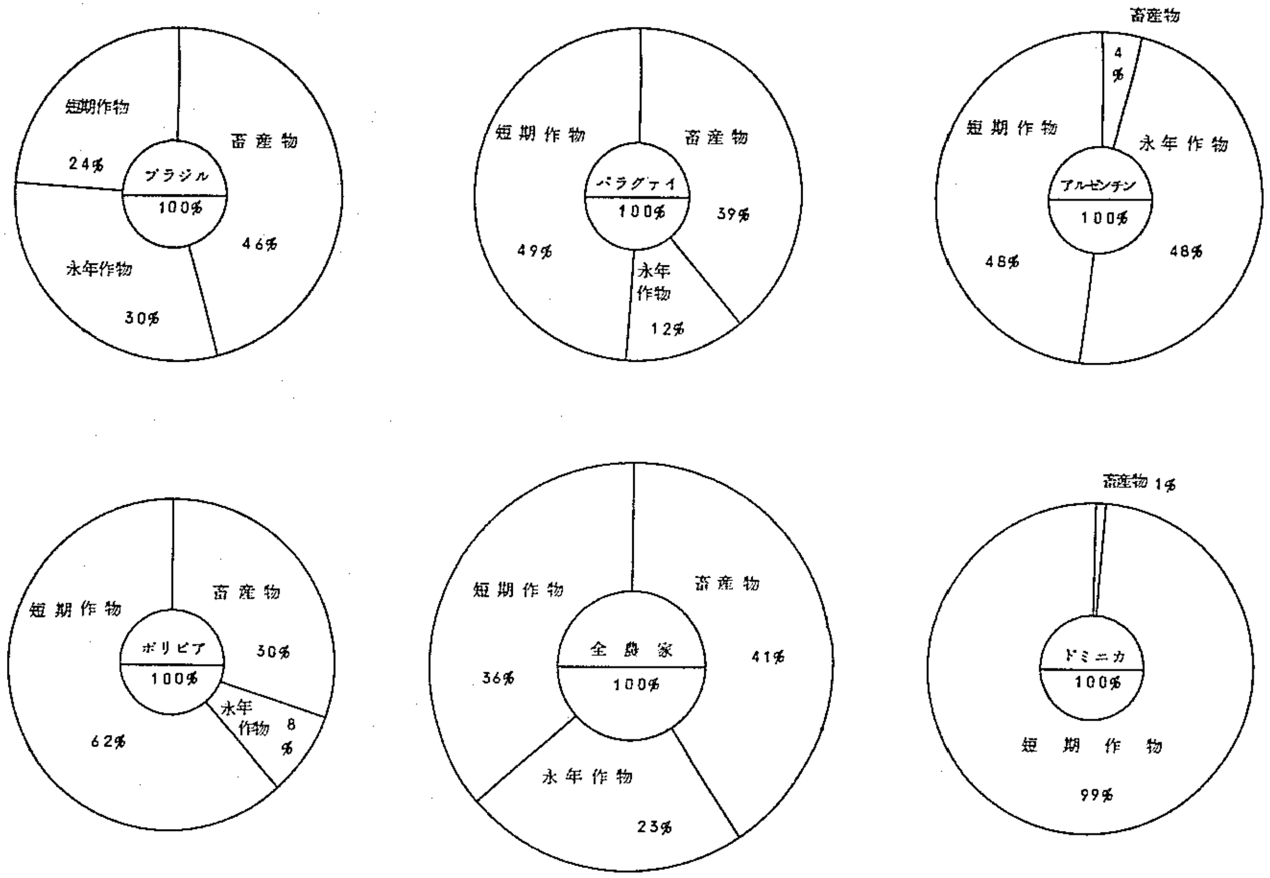


9　Fig・4 年次別農業所得の推移状況



注　ドミニカの昭和４１年度は不明

10 Fig·5 農畜産物販売状況



第 2 部　　移 住 地 一 覧 表

移住地名 トメ・アスー

調査対象期間	昭和44年1月~12月	入植戸数	384戸	調査戸数	52戸

1. 移住地概況

① 所在地	パラー州トメアス郡　＜地図番号＞ ①
② 管理機関	トメアスー産組
③ 入植開始年度	昭和27年 （注・戦後移住者による入植開始年度）
④ 面積	
⑤ 近傍市場	ベレン市（人口60万人、水路200km、空路100km）

2. 地区営農概況

年初のピメンタ価格は次第に高騰し、NCR$3~4.00／kg まで達した。このためトメアス産組はその販売に忙殺された。移住地は年間活況を呈した。

しかし、ピメンタ・ウイルス病が6月頃発生し、蔓延の兆しがみえたので防疫委員会を結成、抜採抜根、消毒等その対策に終始した。

当地では、ピメンタ好況後の問題を考え多角化を目指す農家もあるが、依然大勢はピメンタ単作で若干の自給農産物（野菜、マンジョカ等）畜産物（鶏卵）をあげるにとどまっている。

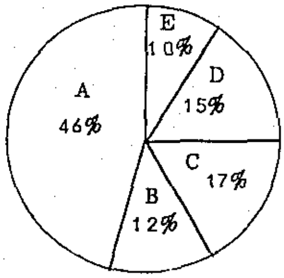


Fig1. 所得的階層分化の状況

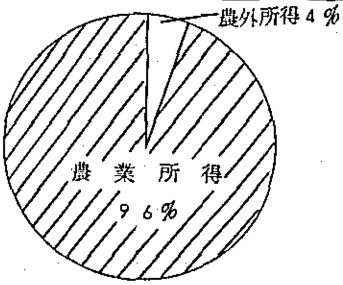


Fig2. 農家所得構成

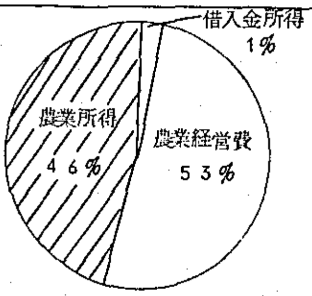


Fig3. 農業所得率

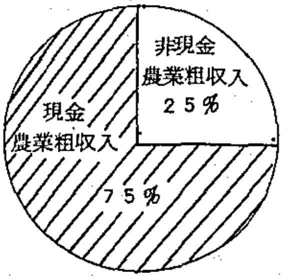


Fig4. 農業粗収入現金率

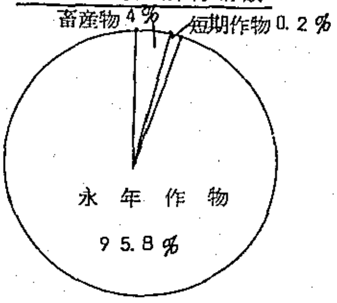


Fig5. 農畜産物販売状況

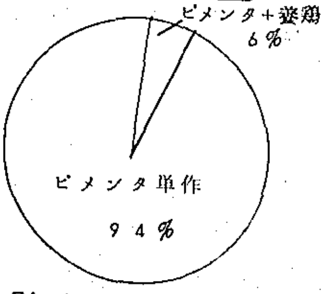


Fig6. 経営形態別農家構成

3. 農家経済の概況　（農家一戸当り平均）　　　単位：千円

① 入植経過年月	8年4月	② 家族人数	5.1人	③農業換算労働人数	2.8人

④ 土地利用状況 Ha

開墾地											未開墾地（含利用不能地）	所有地計	借地計
耕地					耕地外					開墾地計			
田	畑	樹園地	採牧草地	小計	放牧地	植林地	宅地	廃耕地	小計				
0	0.5	7.6	0	8.1	0	0	0.9	0	0.9	9.0	37.6	46.6	0

⑤ 動植物所有状況

動物（頭羽数）										植物（本数）									
肉牛		乳牛		馬		豚		鶏		ピメンタ		クマルー							
仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	未	成	未	成	未	成	未	成	未	成
0	0	0	0.02	0	0	0	0.27	0	80	109	7,870	13	0						

⑥ 負債状況

	長期借入金残高				短期借入金残高				借入金残高計	土地代残額	未払経費期末残額	負債計
	事業団	現地機関	個人他	小計	事業団	現地機関	個人他	小計				
平均	0	0	0	0	24	194	74	292	292	0	75	367
最高	0	0	0	0	252	2,426	1,797	2,965	2,965	0	1,797	2,965
最底	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

⑦ 農畜産物販売状況

	移住地売上順位	産物名	売上高（平均）	売上高（最高）	売上高（最底）
短期作物	才1位	野菜	4	135	0
	才2位	ファリーニヤ	1	63	0
	才3位				
永年作物	才1位	ピメンタ	2,782	13,432	189
	才2位				
	才3位				
畜産物	才1位	鶏卵	105	2,875	0
	才2位				
	才3位				

⑧ 農業経営費

現金農業経営費										非現金農業経営費			合計
生産経費									販売経費	減価償却費	期末未払農業経営費	計	
雇用労賃	肥料代	農薬代	飼料代	燃料代	種苗種畜費	補助材料代	その他	小計					
—	—	—	—	—	—	—	—	1,815	63	124	37	161	2,039

⑨ 農家経済総括

	永年作物	短期作物	畜産物	現金農業粗収入計	非現金農業粗収入計	農業粗収入計	農業経営費	借入金利息	農業所得	農外収入	農外支出	農外所得	農家所得	家計費	（農家経済余剰）
平均	2782	5	105	2892	978	3870	2309	51	1,780	85	17	68	1,848	515	(1,333)
最高	13,432	135	2,875	13,432	1,0781	18,822	7,758	359	11,604	1,797	898	1,078	11,154	2,156	
最底	189	0	0	252	0	252	108	0	−715	0	0	0	−715	140	

移住地名　第2トメ・アスー

調査対象期間	昭和44年1月～12月	入植戸数	88戸	調査戸数	83戸

1. 移住地概況

① 所在地	パラー州トメアスー郡　　　＜地図番号＞ ②
② 管理機関	事業団
③ 入植開始年度	昭和37年
④ 面積	25.800 ha（1ロッテ＝25ha）
⑤ 近傍市場	ベレーン市（人口60万人、水路270Km、空路140Km

2. 地区営農概況

本年農家にとっては悲喜こもごもの年であった。即ち胡椒は近年にない高値（9月黒1級Ncr$3.20/Kg）と豊作で活況を呈したが、ピメンタ・ウイルス病発生（5月）により病樹の防疫対策のため年末まで忙殺された。ピメンタは新植を含め約30万株に達したが1～2年木は水不足で生育は悪かった。
一方、胡椒単作脱却のため養鶏陸稲、パチョリー（香料）などが取入れられているが伸び悩んでいる。
本年のピメンタ・ウイルス病発生に対し伯国側の全面的な協力が行なわれた。
一方、これを契機として入植者間に営農改善の意欲が盛上りつつある。

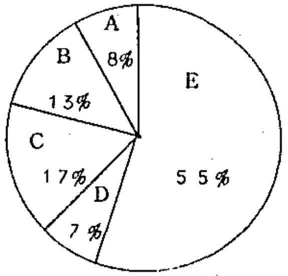


Fig1. 所得的階層分化の状況

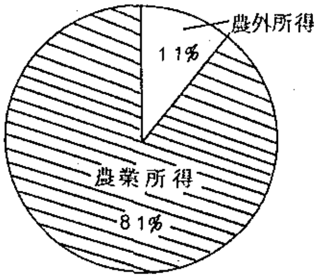


Fig2. 農家所得構成

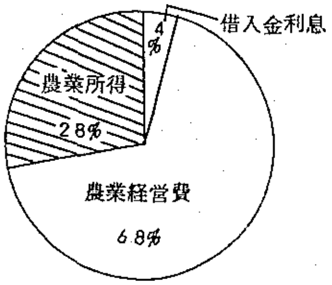


Fig3. 農業所得率

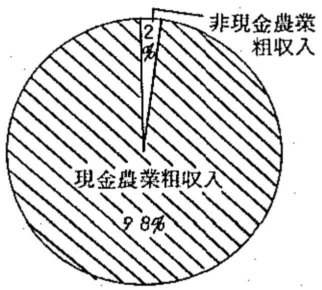


Fig4. 農業粗収入現金率

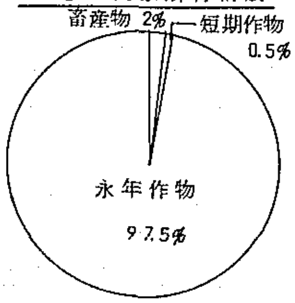


Fig5. 農畜産物販売状況

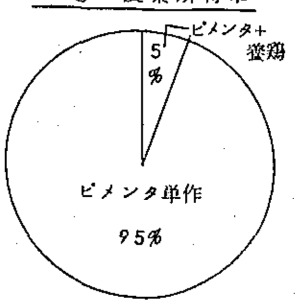


Fig6. 経営形態別農家構成

3. 農家経済の概況 (農家一戸当り平均)

単位：千円

① 入植経過年月	4年5月	② 家族人数	4.6人	③農業換算労働人数	2.0人

④土地利用状況Ha

開墾地											未開墾地(含利用不能地)	所有地計	借地計
耕地					耕地外					開墾地計			
田	畑	樹園地	採牧草地	小計	放牧地	植林地	宅地	廃耕地	小計				
0	2.2	2.9	1.0	6.1	0	0.3	0.7	1.8	2.8	8.9	18.7	27.6	0

⑤動植物所有状況

動物(頭羽数)										植物(本数)									
肉牛		乳牛		馬		豚		鶏		ピメンタ		ミカン		パイナップル		バナナ		ゴム	
仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	未	成	未	成	未	成	未	成	未	成
0	0	0	0	0	0	0.3	0.46	28	29.2	1,183	2478	43	1.9	0	36	0	1.8	108	0

⑥負債状況

	長期借入金残高				短期借入金残高				借入金残高計	土地代残額	未払経費期末残額	負債計
	事業団	現地機関	個人他	小計	事業団	現地機関	個人他	小計				
平均	233	141	19	393	22	45	59	126	519	0	22	541
最高	656	1,932	494	2,066	270	629	1,797	1,914	2,066	0	1,348	3,414
最底	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

⑦農畜産物販売状況

	移住地売上順位	産物名	売上高(平均)	売上高(最高)	売上高(最底)
短期作物	才1位	籾、米	5	90	0
	才2位				
	才3位				
永年作物	才1位	ピメンタ	1,136	5,391	0
	才2位				
	才3位				
畜産物	才1位	鶏卵	200	787	0
	才2位				
	才3位				

⑧農業経営費

現金農業経営費										非現金農業経営費			合計
生産経費									販売経費	減価償却費	期末未払農業経営費	計	
雇用労賃	肥料代	農薬代	飼料代	燃料代	種苗種畜費	補助材料代	その他	小計					
—	—	—	—	—	—	—	—	754	26	31	16	47	827

⑨農家経済総括

	永年作物	短期作物	畜産物	現金農業粗収入計	非現金農業粗収入計	農業粗収入計	農業経営費	借入金利息	農業所得	農外収入	農外支出	農外所得	農家所得	家計費	(農家経済余剰)
平均	1,155	6	29	1,190	26	1,216	827	48	341	107	27	80	421	341	(80)
最高	5,436	90	854	5,436	809	5,525	3,640	310	2,823	746	153	746	2,137	1,694	
最底	0	0	0	0	0	0	3	0	-1,388	0	0	0	-819	18	

移住地名 モンテ・アレグレ

調査対象期間	昭和44年1月〜12月	入植戸数	21戸	調査戸数	9戸

1. 移住地概況

① 所在地	パラー州モンテアレグレ郡	<地図番号> ③
② 管理機関	連邦政府	
③ 入植開始年度	昭和28年	
④ 面積	360,000ha（1ロッテ＝30ha）	
⑤ 近傍市場	モンテアレグレ市（人口1万人、陸路38Km）	

2. 地区営農概況

本年度胡椒収量は全地区で110トン、価格高により昨年産ストックも全量販売された。作況は若干の減収であったが価格高でカバーされた。

また、昨年の米価高から本年米作が増えた。なお、胡椒以外の換金作物としてマカダミア・ナッツが注目され試作されつつある。

入植者の多くは短期作よりピメンタを基幹作物とした永年作経営に移行しつつあり、一部のものは50〜70頭の肉牛飼育をしている。

一般的に経済状態は安定しつつあるが依然として営農改善の余地はある。

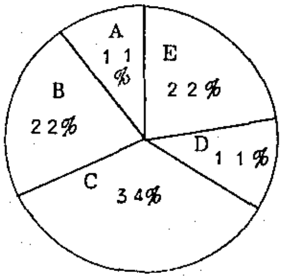


Fig1. 所得的階層分化の状況

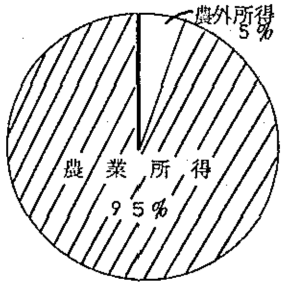


Fig2. 農家所得構成

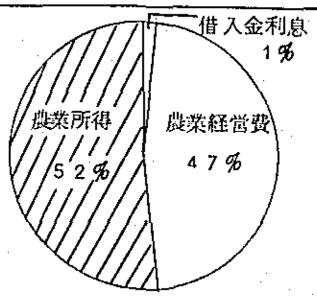


Fig3. 農業所得率

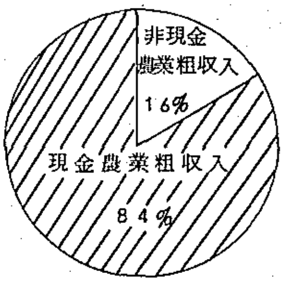


Fig4. 農業粗収入現金率

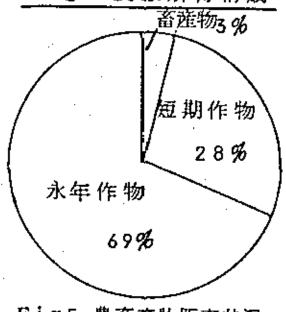


Fig5. 農畜産物販売状況

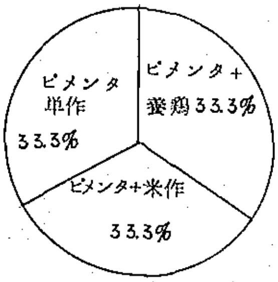


Fig6. 経営形態別農家構成

3. 農家経済の概況　（農家一戸当り平均）

単位：千円

① 入植経過年月	14年5月	② 家族人数	6.0人	③農業換算労働人数	1.8人

④ 土地利用状況 ha

開墾地											未開墾地(含利用不能地)	所有地計	借地計
耕地					耕地外					開墾地計			
田	畑	樹園地	採牧草地	小計	放牧地	植林地	宅地	廃耕地	小計				
0	1.3	4.7	0.3	6.3	2.2	0.5	0.4	2.7	5.8	12.1	14.7	26.8	0

⑤ 動植物所有状況

動物(頭羽数)										植物(本数)									
肉牛		乳牛		馬		豚		鶏		ピメンタ		バナナ		コーヒー					
仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	未	成	未	成	未	成	未	成	未	成
3.3	10.8	0	0	0.3	1.1	2.5	4	7.7	54	489	2648	0	112	0	38				

⑥ 負債状況

	長期借入金残高				短期借入金残高				借入金残高計	土地代残額	未払経費期末残額	負債計
	事業団	現地機関	個人他	小計	事業団	現地機関	個人他	小計				
平均	172	168	75	415	0	70	0	70	485	22	60	567
最高	539	1,196	679	1,196	0	629	0	629	1,825	202	539	2,027
最底	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

⑦ 農畜産物販売状況

	移住地売上順位	産物名	売上高(平均)	売上高(最高)	売上高(最底)
短期作物	オ1位	トマト	167	898	0
	オ2位	米	45	216	0
	オ3位				
永年作物	オ1位	ピメンタ	732	1,213	314
	オ2位				
	オ3位				
畜産物	オ1位	豚	15	135	0
	オ2位	鶏卵	6	50	0
	オ3位	鶏肉	3	28	0

⑧ 農業経営費

現金農業経営費										非現金農業経営費			合計
生産経費									販売経費	減価償却費	期末未払農業経営費	計	
雇用労賃	肥料代	農薬代	飼料代	燃料代	種苗種畜費	補助材料代	その他	小計					
—	—	—	—	—	—	—	—	505	59	34	0	34	598

⑨ 農家経済総括

	永年作物	短期作物	畜産物	現金農業粗収入計	非現金農業粗収入計	農業粗収入計	農業経営費	借入金利息	農業所得	農外収入	農外支出	農外所得	農家所得	家計費	(農家経済余剰)
平均	739	304	30	1,073	199	1,272	598	13	661	36	2	34	695	441	(254)
最高	1222	1,572	186	2758	898	2758	1,613	32	1,643	111	13	97	1,643	719	
最底	345	0	0	314	0	314	193	0	− 392	0	0	0	− 335	108	

移 住 地 名　ベ ラ ビ ス タ

調査対象期間	昭和44年1月～12月	入植戸数	38戸	調査戸数	7戸

1. 移　住　地　概　況

① 所　在　地	アマゾナス州マナウス郡　　＜地図番号＞ ④
② 管 理 機 関	連 邦 政 府
③ 入植開始年度	昭和28年
④ 面　　積	1,500 ha （1ロッテ＝25～40 ha）
⑤ 近 傍 市 場	マナウス市（人口26万人、水路6Km）

2. 地　区　営　農　概　況

本年の農産物は全て高値で販売された。胡椒は天候異変で2～3割減であったが価格高で収支に響かなかった。消費地（マナウス市）に近い立地から養鶏蔬菜も農家にとって予想外の収入をもたらした。
一方、入植当時植付のゴム樹が採液されはじめ、またガラナも昨年の高値取引で注目され本年は生産増をみた。ともに採算は良好であった。再度ガラナ栽培熱があがり来年度3,000本の新植を計画するものもある。
入植地管理当局（INDA）は①試験農場設置　②ブルドーザー、トラクターによる耕地造成　③種苗種畜のあっせん等を行なっている。

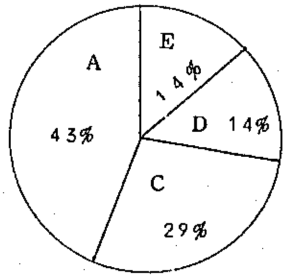


Fig1. 所得的階層分化の状況

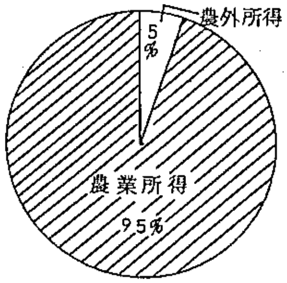


Fig2. 農家所得構成

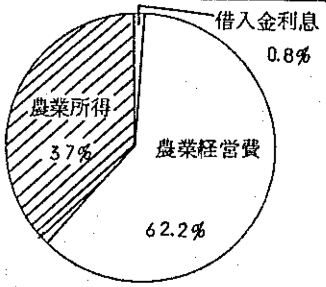


Fig3. 農業所得率

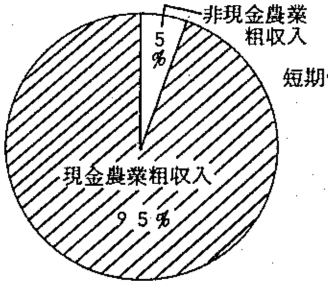


Fig4. 農業粗収入現金率

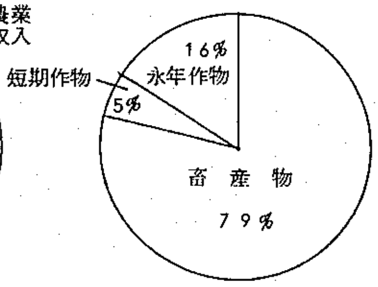


Fig5. 農畜産物販売状況

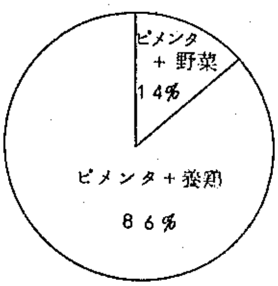


Fig6. 経営形態別農家構成

3. 農家経済の概況 (農家一戸当り平均) 単位：千円

① 入植経過年月	16年3月	② 家族人数	5,1人	③農業換算労働人数	1.6人

④土地利用状況

	開墾地											未開墾地(含利用不能地)	所有地計	借地計
	耕地					耕地外					開墾地計			
	田	畑	樹園地	採草放牧地	小計	放牧地	植林地	宅地	廃耕地	小計				
Ha	0	0.8	5.8	0.4	7.0	0	0.7	0.6	3.4	4.7	11.7	18.8	30.5	0

⑤動植物所有状況

動物 (頭羽数)										植物 (本数)									
肉牛		乳牛		馬		豚		鶏		ピメンタ		ガラナ		ゴム					
仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	未	成	未	成	未	成	未	成	未	成
0	0	0	0	0	0	0	1.7	93	658	371	1,650	0	543	0	314				

⑥負債状況

	長期借入金残高				短期借入金残高				借入金残高計	土地代残額	未払経費期末残額	負債計
	事業団	現地機関	個人他	小計	事業団	現地機関	個人他	小計				
平均	51	64	0	115	60	0	0	60	175	0	0	175
最高	270	449	0	449	153	0	0	153	602	0	0	602
最底	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

⑦農畜産物販売状況

	移住地売上順位	産物名	売上高(平均)	売上高(最高)	売上高(最底)
短期作物	才1位	野菜	101	270	0
	才2位				
	才3位				
永年作物	才1位	ピメンタ	330	539	117
	才2位				
	才3位				
畜産物	才1位	鶏卵	1,380	4,762	0
	才2位	鶏肉	60	180	0
	才3位				

⑧農業経営費

現金農業経営費										非現金農業経営費			合計
生産経費									販売経費	減価償却費	期末未払農業経営費	計	
雇用労賃	肥料代	農薬代	飼料代	燃料代	種苗種畜費	補助材料代	その他	小計					
—	—	—	—	—	—	—	—	1,621	104	36	0	36	1,761

⑨農家経済総括

	永年作物	短期作物	畜産物	現金農業粗収入計	非現金農業粗収入計	農業粗収入計	農業経営費	借入金利息	農業所得	農外収入	農外支出	農外所得	農家所得	家計費	(農家経済余剰)
平均	422	144	2,123	2689	152	2841	1,761	24	1,056	53	0.4	53	1,109	408	(701)
最高	916	436	4941	5,858	217	5,916	3,240	103	2,915	323	3	320	2,915	748	
最底	117	0	173	470	58	632	366	0	249	0	0	0	287	140	

移住地名　タイアーノ

調査対象期間	昭和44年1月～12月	入植戸数	4戸	調査戸数	2戸

1. 移住地概況

① 所在地	ロマイラ直轄州	＜地図番号＞　⑤
② 管理機関	直轄州政府	
③ 入植開始年度	昭和31年	
④ 面積	2,000ha（1ロッテ＝30ha）	
⑤ 近傍市場	ボアビスタ市（人口3.5万人、陸路90Km）	

2. 地区営農概況

主としてボアビスタ市場向の蔬菜を行っており、ピメンタも若干とり入れられつつある。しかし、営農の伸びは明らかでなく今後ピメンタ等永年作物を積極的にとり入れる必要がある。
蔬菜の作柄及び価格は昨年並である。

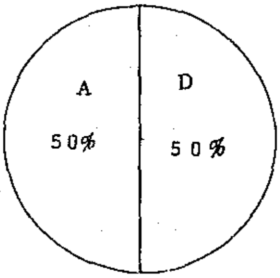


Fig1. 所得的階層分化の状況

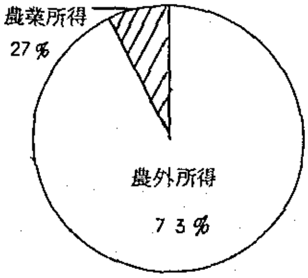


Fig2. 農家所得構成

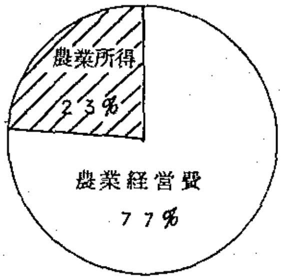


Fig3. 農業所得率

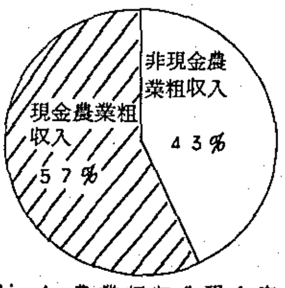


Fig4. 農業粗収入現金率

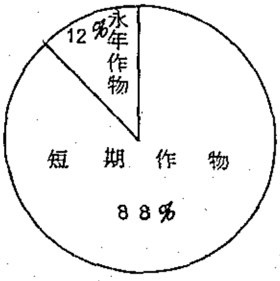


Fig5. 農畜産物販売状況

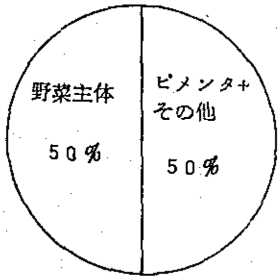


Fig6. 経営形態別農家構成

3. 農家経済の概況　（農家一戸当り平均）

単位：千円

① 入植経過年月	8年	② 家族人数	8.5人	③農業換算労働人数	2.9人

④土地利用状況Ha

開墾地											未開墾地(含利用不能地)	所有地計	借地計
耕地					耕地外					開墾地計			
田	畑	樹園地	採牧草地	小計	放牧地	植林地	宅地	廃耕地	小計				
0	3.5	1	0	4.5	10	0	0	0	10	14.5	0.5	15	0

⑤動植物所有状況

動物（頭羽数）										植物（本数）									
肉牛		乳牛		馬		豚		鶏		ピメンタ		バナナ							
仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	未	成	未	成	未	成	未	成	未	成
0	0	0	0	0	0	0	5	0	5	150	100	0	125						

⑥負債状況

	長期借入金残高				短期借入金残高				借入金残高計	土地代残額	未払経費期末残額	負債計
	事業団	現地機関	個人他	小計	事業団	現地機関	個人他	小計				
平均	0	0	0	0	0	67	0	67	67	0	0	67
最高	0	0	0	0	0	135	0	135	135	0	0	135
最底	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

⑦農畜産物販売状況

	移住地売上順位	産物名	売上高（平均）	売上高（最高）	売上高（最底）
短期作物	才1位	野菜	449	898	0
	才2位	マンジョカ	67	135	0
	才3位				
永年作物	才1位	ピメンタ	40	81	0
	才2位	バナナ	31	63	0
	才3位				
畜産物	才1位				
	才2位				
	才3位				

⑧農業経営費

現金農業経営費										非現金農業経営費			合計
生産経費									販売経費	減価償却費	期末未払農業経営費	計	
雇用労賃	肥料代	農薬代	飼料代	燃料代	種苗種畜費	補助材料代	その他	小計					
—	—	—	—	—	—	—	—	737	9	57	0	57	803

⑨農家経済総括

	永年作物	短期作物	畜産物	現金農業粗収入計	非現金農業粗収入計	農業粗収入計	農業経営費	借入金利息	農業所得	農外収入	農外支出	農外所得	農家所得	家計費	(農家経済余剰)
平均	72	516	0	58 8	450	1,038	803	0	235	629	0	629	864	404	(460)
最高	144	898	0	898	898	1,177	907	0	270	988	0	988	1258	449	
最底	0	135	0	279	0	898	698	0	200	270	0	270	470	359	

移住地名　アカラ

調査対象期間	昭和44年1月〜12月	入植戸数	30戸	調査戸数	10戸

1. 移住地概況

① 所在地	パラー州アカラ郡　　＜地図番号＞ ⑥
② 管理機関	州政府
③ 入植開始年度	昭和34年
④ 面積	州有地で特に総面積を限定せず。（1ロッテ＝20〜100 ha）
⑤ 近傍市場	ベレーン市（人口60万人、水路48Km　陸路75Km）

2. 地区営農概況

年初ピメンタにペト病が発生したが小康を得た。本年の収量は550トンに及び最高収量55トンの農家も出た。ピメンタ好況のニュースに転耕希望者は引きもきらずまた来年度の新植は激増の見込である。農家は66〜68年の営農不振、経済不況の打撃より立直り、負債も大半精算した。野菜も作柄良く販売も順調であった。このため入植9年目にして当移住地は非常に明るい表情にみちあふれ活気を呈している。車輌、機械類の購入余裕もできたようで新車、新機械が目立つ。

一方、明るいニュースとしてアカラ町〜当移住地〜ムジュー町の州道約60Kmの貫通成り、今後両町に生産物搬出が可能となり一段と活気を呈している。

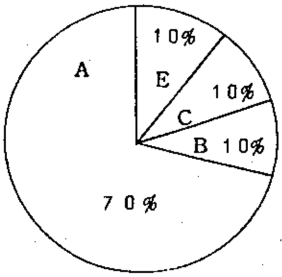


Fig1. 所得的階層分化の状況

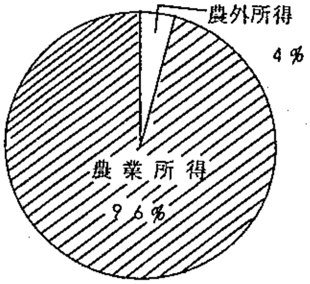


Fig2. 農家所得構成

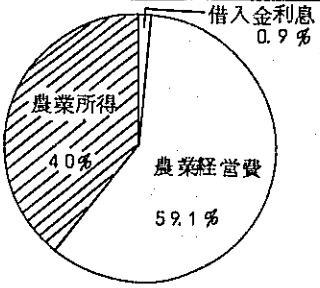


Fig3. 農業所得率

Fig4. 農業粗収入現金率

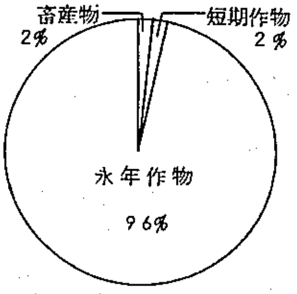


Fig5. 農畜産物販売状況

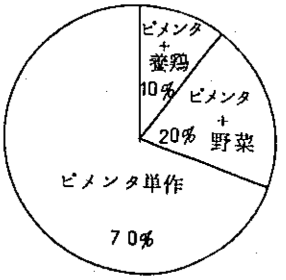


Fig6. 経営形態別農家構成

3. 農家経済の概況　（農家一戸当り平均）　　単位：千円

① 入植経過年月	9年5月	② 家族人数	6人	③農業換算労働人数	3.3人

④ 土地利用状況

開墾地											未開墾地（含利用不能地）	所有地計	借地計
耕地					耕地外					開墾地計			
田	畑	樹園地	採牧草地	小計	放牧地	植林地	宅地	廃耕地	小計				
Ha 0	2.4	9.5	7.0	18.9	0	0	1.1	7.0	8.1	27.0	129	156	0

⑤ 動植物所有状況

動物（頭羽数）										植物（本数）									
肉牛		乳牛		馬		豚		鶏		ピメンタ									
仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	未	成	未	成	未	成	未	成	未	成
0	0	0	0	0	0	0.8	1.5	0	104	1,620	5867								

⑥ 負債状況

	長期借入金残高				短期借入金残高				借入金残高計	土地代残額	未払経費期末残額	負債計
	事業団	現地機関	個人他	小計	事業団	現地機関	個人他	小計				
平均	63	368	0	431	25	638	11	674	1,105	0	0	1,105
最高	494	2,246	0	2,246	135	3,411	110	3,411	4,668	0	0	4,668
最底	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

⑦ 農畜産物販売状況

	移住地売上順位	産物名	売上高（平均）	売上高（最高）	売上高（最底）
短期作物	才1位	野菜	85	503	0
	才2位				
	才3位				
永年作物	才1位	ピメンタ	4,458	8,031	1,740
	才2位				
	才3位				
畜産物	才1位	鶏卵	87	869	0
	才2位	鶏肉	22	181	0
	才3位				

⑧ 農業経営費

現金農業経営費										非現金農業経営費			合計
生産経費									販売経費	減価償却費	期末未払農業経営費	計	
雇用労賃	肥料代	農薬代	飼料代	燃料代	種苗種畜費	補助材料代	その他	小計					
—	—	—	—	—	—	—	—	2,150	33	237	355	592	2,775

⑨ 農家経済総括

	永年作物	短期作物	畜産物	現金農業粗収入計	非現金農業粗収入計	農業粗収入計	農業経営費	借入金利息	農業所得	農外収入	農外支出	農外所得	農家所得	家計費	(農家経済余剰)
平均	4,480	85	115	4680	19	4699	2775	45	1,879	157	77	80	1,959	806	(1,153)
最高	8,409	503	1,113	8,409	99	8,463	6,455	135	4,420	580	386	194	4,438	1,725	
最底	1,794	0	0	1,830	0	1,830	901	0	-2,137	0	0	0	-2056	442	

移住地名　マ　カ　パ　近　郊

調査対象期間	昭和44年1月〜12月	入植戸数	21戸	調査戸数	12戸

1. 移　住　地　概　況

① 所　在　地	＜地図番号＞　⑦
② 管理機関	
③ 入植開始年度	
④ 面　積	
⑤ 近傍市場	マ　カ　パ　市

2. 地　区　営　農　概　況

マカパ市場向の蔬菜（トマト、甘らん等）、養卵が主体で一部ピメンタがとり入れられつつある。蔬菜は価格変動が激しくまた収入差も大きく、今なお、不安定な農家が少なくない。養鶏は他地区と同様、飼料高に悩まされたが、規模の格差が激しい。

今後は、共販の推進が必要である。また、経営規模に見合った資金導入（借入金）を行なう必要がある。

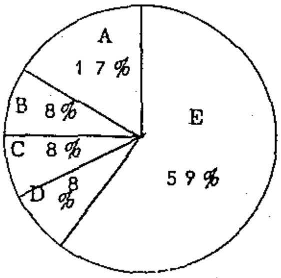


Fig1. 所得的階層分化の状況

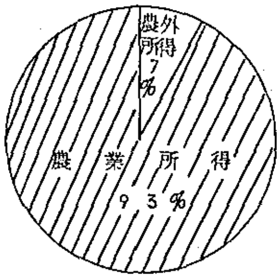


Fig2. 農家所得構成

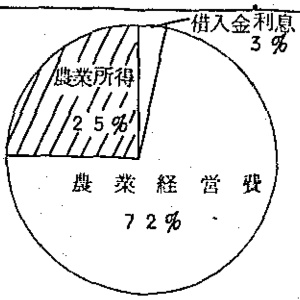


Fig3. 農業所得率

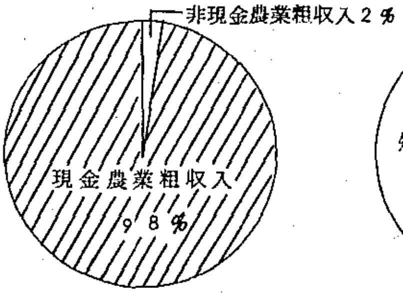


Fig4. 農業粗収入現金率

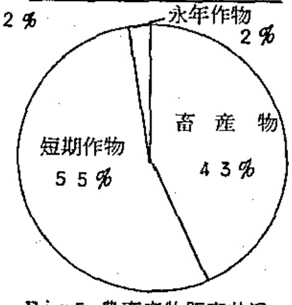


Fig5. 農畜産物販売状況

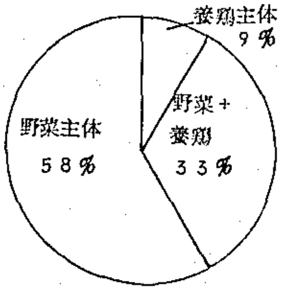


Fig6. 経営形態別農家構成

3. 農家経済の概況 （農家一戸当り平均）　　　　単位：千円

① 入植経過年月	10年9月	② 家族人数	6人	③農業換算労働人数	2.4人

④土地利用状況Ha	開墾地											未開墾地(含利用不能地)	所有地計	借地計
	耕地					耕地外					開墾地計			
	田	畑	樹園地	採草放牧地	小計	放牧地	植林地	宅地	廃耕地	小計				
	0	4.5	1.0	2.2	7.7	0	0	0.5	26.7	27.2	34.9	54.8	89.7	0

⑤動植物所有状況	動物（頭羽数）										植物（本数）									
	肉牛		乳牛		馬		豚		鶏		ピメンタ		ゴム							
	仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	未	成	未	成	未	成	未	成	未	成
	0	0	0	0	0	0	0	0.2	0	29	283	742	0	41						

⑥負債状況	長期借入金残高				短期借入金残高				借入金残高計	土地代残額	未払経費期末残額	負債計
	事業団	現地機関	個人他	小計	事業団	現地機関	個人他	小計				
平均	4	337	0	341	67	228	7	302	643	0	8	650
最高	45	1,797	0	1,797	162	930	90	1,002	1,842	0	81	1,842
最底	0	0	0	0	0	0	0	0	90	0	0	90

⑦農畜産物販売状況	移住地売上順位	産物名	売上高（平均）	売上高（最高）	売上高（最底）
短期作物	才1位	野菜（トマト）	933	1,810	0
	才2位	〃（その他）	375	809	0
	才3位				
永年作物	才1位	ピメンタ	43	377	0
	才2位				
	才3位				
畜産物	才1位	鶏卵	907	7,457	0
	才2位	鶏肉	127	809	0
	才3位				

⑧農業経営費	現金農業経営費										非現金農業経営費			合計
	生産経費									販売経費	減価償却費	期末未払農業経営費	計	
	雇用労賃	肥料代	農薬代	飼料代	燃料代	種苗種畜費	補助材料代	その他	小計					
	—	—	—	—	—	—	—	—	1,393	37	97	236	333	1,763

⑨農家経済総括	永年作物	短期作物	畜産物	現金農業粗収入計	非現金農業粗収入計	農業粗収入計	農業経営費	借入金利息	農業所得	農外収入	農外支出	農外所得	農家所得	家計費	(農家経済余剰)
平均	54	1,308	1,034	2396	40	2436	1763	75	598	42	0	42	640	482	(158)
最高	377	2260	7,457	7,457	117	7,547	3305	288	3,971	327	0	327	3,971	1617	
最底	0	0	0	936	0	990	845	0	−565	0	0	0	−565	243	

移住地名　エフゼニオ・サーレス

調査対象期間	昭和44年1月～12月	入植戸数	53戸	調査戸数	13戸

1. 移住地概況

① 所在地	アマゾナス州マナウス郡　　＜地図番号＞ ⑧
② 管理機関	州政府
③ 入植開始年度	昭和33年
④ 面積	575 ha（1ロッテ＝25 ha）
⑤ 近傍市場	マナウス市（人口26万人、陸路45Km）

2. 地区営農概況

本年は良い年であった。例年1月頃より胡椒が値上りする筈であったが北米輸出不振のニュースから3月止むなく昨年生産胡椒30トンをFOB480ドルで欧州向輸出した。ところが後半期はウナギ昇りに価格アップし年末790ドルとなった。また、蔬菜養鶏も短期間の下落はあったが平均的には高値で推移した。
特に消費地（マナウス市）の蔬菜、鶏卵等の高値を狙いベレーン、南伯から輸送されたが運賃高で採算にのらず現地物に圧倒された。
このため、蔬菜養鶏、胡椒農家は全く笑いが止まらなかったほどの好況であった。但し作柄はピメンタは3割減収、蔬菜(低地産)は不良であった。なお、養鶏農家はヒナの導入先・方法の改善に迫られている。

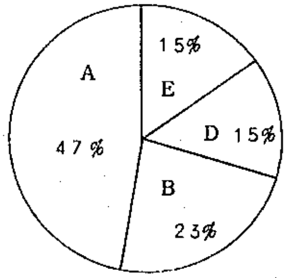


Fig1. 所得的階層分化の状況

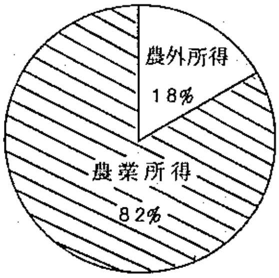


Fig2. 農家所得構成

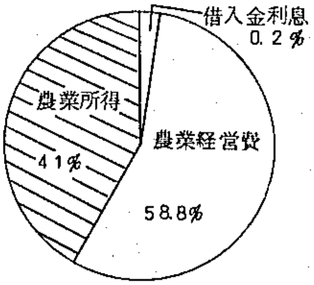


Fig3. 農業所得率

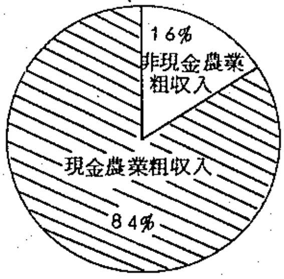


Fig4. 農業粗収入現金率

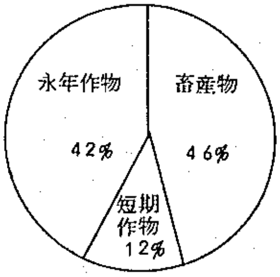


Fig5. 農畜産物販売状況

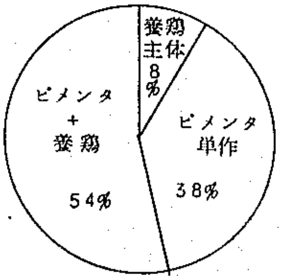


Fig6. 経営形態別農家構成

3. 農家経済の概況 （農家一戸当り平均）

単位：千円

① 入植経過年月	10年4月	② 家族人数	6人	③農業換算労働人数	2.8人

④ 土地利用状況 Ha

開墾地											未開墾地（含利用不能地）	所有地計	借地計
耕地					耕地外					開墾地計			
田	畑	樹園地	採草放牧地	小計	放牧地	植林地	宅地	廃耕地	小計				
0	2.5	3.8	0.8	7.1	0.8	0.02	0.6	1.5	2.92	10.02	25	35.02	0

⑤ 動植物所有状況

動物（頭羽数）										植物（本数）									
肉牛		乳牛		馬		豚		鶏		ピメンタ		カスタニヤ							
仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	未	成	未	成	未	成	未	成	未	成
0.2	0.1	0	0	0	0	1.5	0.5	285	415	416	2792	138	0						

⑥ 負債状況

	長期借入金残高				短期借入金残高				借入金残高計	土地代残額	未払経費期末残額	負債計
	事業団	現地機関	個人他	小計	事業団	現地機関	個人他	小計				
平均	31	115	0	146	62	291	48	401	547	28	116	691
最高	270	854	0	854	180	719	225	898	1,303	359	719	1,887
最底	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

⑦ 農畜産物販売状況

	移住地売上順位	産物名	売上高（平均）	売上高（最高）	売上高（最底）
短期作物	オ1位	トマト	177	1,123	0
	オ2位	ピーマン	47	427	0
	オ3位				
永年作物	オ1位	ピメンタ	925	2,246	90
	オ2位				
	オ3位				
畜産物	オ1位	鶏卵	948	4,313	0
	オ2位	鶏肉	40	476	0
	オ3位				

⑧ 農業経営費

現金農業経営費										非現金農業経営費			合計
生産経費									販売経費	減価償却費	期末未払農業経営費	計	
雇用労賃	肥料代	農薬代	飼料代	燃料代	種苗種畜費	補助材料代	その他	小計					
—	—	—	—	—	—	—	—	1,251	120	73	27	100	1,471

⑨ 農家経済総括

	永年作物	短期作物	畜産物	現金農業粗収入計	非現金農業粗収入計	農業粗収入計	農業経営費	借入金利息	農業所得	農外収入	農外支出	農外所得	農家所得	家計費	（農家経済余剰）
平均	925	257	1,003	2,185	413	2598	1,471	62	1,065	238	12	226	1,291	506	(785)
最高	2246	1,550	4313	6,559	1,455	7,188	4,083	142	3,105	713	126	713	3,248	864	
最底	90	0	0	325	0	325	256	0	-44	0	0	0	124	243	

移住地名　トレーゼ・デ・セテンブロ

調査対象期間	昭和44年1月～12月	入植戸数	26戸	調査戸数	9戸

1. 移住地概況

① 所在地	ロンドニア直轄州	<地図番号>　⑨
② 管理機関	直轄州政府	
③ 入植開始年度	昭和29年	
④ 面積	1,570 ha（1ロッテ＝30ha）	
⑤ 近傍市場	ポルト・ベーリョ市（人口8万人、陸路9Km）	

2. 地区営農概況

BR29号国道建設補修のため工兵隊駐屯、鉱物調査、採掘関係者の駐在等により、蔬菜、鶏卵、鶏肉等の需要多く高値で販売され入植者の経済状況は良好であった。

しかし、年末になるにつれ飼料高のため現行鶏卵公定価格では採算割れとなり止むなく州政府に陳情、卵価値上げを認めさせるなどの一幕もあった。

ピメンタも高値で取引され、ボリビアにも輸出した。

養鶏、蔬菜の経営規模により、入植者の階层分化が進みつつある。

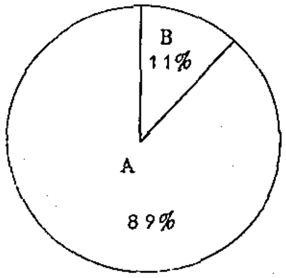


Fig1. 所得的階層分化の状況

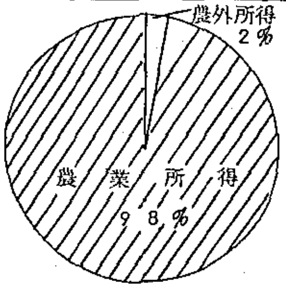


Fig2. 農家所得構成

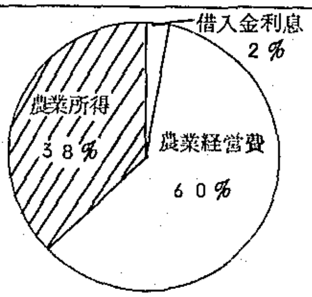


Fig3. 農業所得率

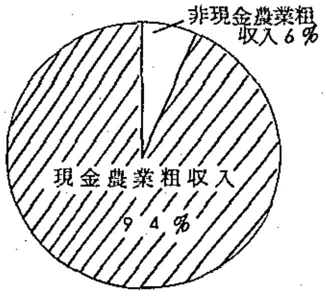


Fig4. 農業粗収入現金率

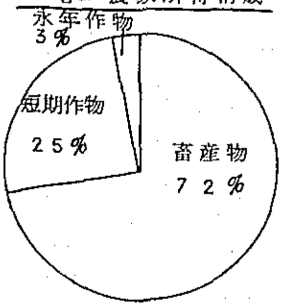


Fig5. 農畜産物販売状況

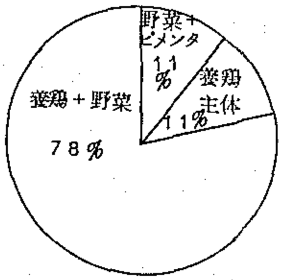


Fig6. 経営形態別農家構成

3. 農家経済の概況　(農家一戸当り平均)

単位：千円

① 入植経過年月	15年3月	② 家族人数	8人	③農業換算労働人数	4.4人

④ 土地利用状況 Ha

開墾地 耕地 田	畑	樹園地	採草放牧地	小計	耕地外 放牧地	植林地	宅地	廃耕地	小計	開墾地計	未開墾地(含利用不能地)	所有地計	借地計
0	2.4	4.1	1.4	7.9	0	0	1.1	13.9	15	22.9	24.7	47.6	0

⑤ 動植物所有状況

動物(頭羽数) 肉牛 仔	肉牛 成	乳牛 仔	乳牛 成	馬 仔	馬 成	豚 仔	豚 成	鶏 仔	鶏 成	植物(本数) ピメンタ 未	ピメンタ 成	ゴム 未	ゴム 成	未	成	未	成	未	成
0	0	0	0	0	0	0.9	0.2	1566	1888	0	911	0	905						

⑥ 負債状況

	長期借入金残高 事業団	現地機関	個人他	小計	短期借入金残高 事業団	現地機関	個人他	小計	借入金残高計	土地代残額	未払経費期末残額	負債計
平均	44	284	0	328	46	503	20	569	897	0	150	1,047
最高	243	809	0	1,006	189	1,707	180	1,707	1,707	0	1,348	2,785
最底	0	0	0	0	0	0	0	0	135	0	0	135

⑦ 農畜産物販売状況

	移住地売上順位	産物名	売上高(平均)	売上高(最高)	売上高(最底)
短期作物	才1位	トマト	1,141	3,594	0
	才2位				
	才3位				
永年作物	才1位	ピメンタ	143	314	0
	才2位				
	才3位				
畜産物	才1位	鶏卵	4,256	10,763	0
	才2位	鶏肉	759	1,563	0
	才3位				

⑧ 農業経営費

現金農業経営費 生産経費 雇用労賃	肥料代	農薬代	飼料代	燃料代	種苗種畜費	補助材料代	その他	小計	販売経費	非現金農業経営費 減価償却費	期末未払農業経営費	計	合計
—	—	—	—	—	—	—	—	4221	80	234	0	234	4,535

⑨ 農家経済総括

	永年作物	短期作物	畜産物	現金農業粗収入計	非現金農業粗収入計	農業粗収入計	農業経営費	借入金利息	農業所得	農外収入	農外支出	農外所得	農家所得	家計費	(農家経済余剰)
平均	182	1,787	5,066	7,035	462	7,497	4,535	141	2,821	47	0	47	2,868	1,191	(1,677)
最高	314	5,391	11,579	16,343	1,105	16504	10,706	422	5,529	198	0	198	5,574	2,181	
最底	0	113	0	1,124	162	1,285	365	0	920	0	0	0	920	524	

移住地名　キ　ナ　リ　ー

調査対象期間	昭和44年1月～12月	入植戸数	4戸	調査戸数	4戸

1. 移　住　地　概　況

① 所　在　地	アクレ州リオブランコ郡	＜地図番号＞　⑩
② 管　理　機　関	州　政　府	
③ 入植開始年度	昭和３４年	
④ 面　　　積	1,500ha （１ロッテ＝３０ha）	
⑤ 近　傍　市　場	リオ・ブランコ市（人口７.２万人、陸路２８Km）	

2. 地　区　営　農　概　況

穀類（米）が主で端境期を利用し有利に販売しており、経済的にも恵まれ４戸のうち３戸は車を持つ。本年は米が高値を呼び収量も良かった。

他にマンジョカ、雑豆も良くまたゴム等、永年作も若干とり入れられているので営農は安定しつつある。

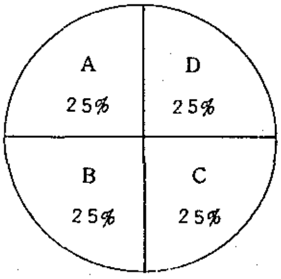


Fig1. 所得的階層分化の状況

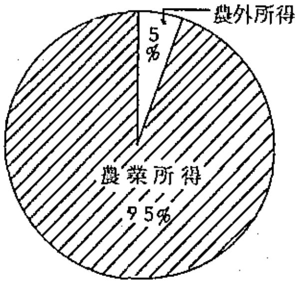


Fig2. 農家所得構成

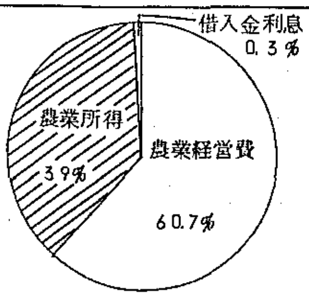


Fig3. 農業所得率

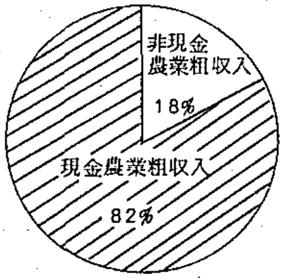


Fig4. 農業粗収入現金率

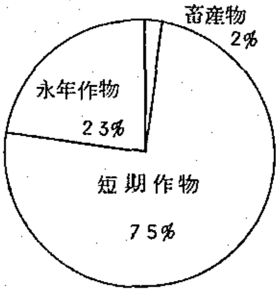


Fig5. 農畜産物販売状況

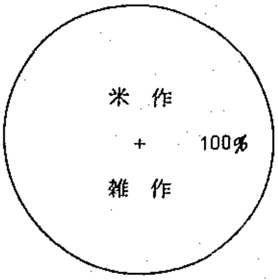


Fig6. 経営形態別農家構成

3. 農家経済の概況　（農家一戸当り平均）

単位：千円

① 入植経過年月	11年	② 家族人数	7人	③農業換算労働人数	3.9人

④ 土地利用状況 Ha

開墾地													
耕地					耕地外					開墾地計	未開墾地（含利用不能地）	所有地計	借地計
田	畑	樹園地	採牧草地	小計	放牧地	植林地	宅地	廃耕地	小計				
0	8.6	2.8	0	11.4	3	0	0.3	4.9	8.2	19.6	15.1	34.7	0

⑤ 動植物所有状況

動物（頭羽数）										植物（本数）									
肉牛		乳牛		馬		豚		鶏		ピメンタ		ゴム		コーヒー					
仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	未	成	未	成	未	成	未	成	未	成
1.8	4.3	0	0	0	0	0	3	10	63	0	2.5	0	950	0	500				

⑥ 負債状況

	長期借入金残高				短期借入金残高				借入金残高計	土地代残額	未払経費期末残額	負債計
	事業団	現地機関	個人他	小計	事業団	現地機関	個人他	小計				
平均	0	45	0	45	0	9	0	9	54	0	0	54
最高	0	180	0	180	0	36	0	36	216	0	0	216
最底	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

⑦ 農畜産物販売状況

	移住地売上順位	産物名	売上高（平均）	売上高（最高）	売上高（最底）
短期作物	才1位	米	546	809	288
	才2位	豆	411	621	216
	才3位	マンジョカ	336	658	27
永年作物	才1位		（不明）		
	才2位				
	才3位				
畜産物	才1位	牛	46	99	0
	才2位				
	才3位				

⑧ 農業経営費

現金農業経営費										非現金農業経営費			合計
生産経費									販売経費	減価償却費	期末未払農業経営費	計	
雇用労賃	肥料代	農薬代	飼料代	燃料代	種苗種畜費	補助材料代	その他	小計					
—	—	—	—	—	—	—	—	1,262	70	113	0	113	1,445

⑨ 農家経済総括

	永年作物	短期作物	畜産物	現金農業粗収入計	非現金農業粗収入計	農業粗収入計	農業経営費	借入金利息	農業所得	農外収入	農外支出	農外所得	農家所得	家計費	（農家経済余剰）
平均	446	1,476	46	1968	423	2391	1445	6	940	48	0	48	988	566	（422）
最高	1,577	1,939	99	3,225	746	3,971	2291	22	1,680	192	0	192	1,680	791	
最底	0	1,141	0	1253	126	1,401	632	0	279	0	0	0	471	449	

移住地名　サンタ・イザベル

調査対象期間	昭和44年1月～12月	入植戸数	ベレン近郊 375戸	調査戸数	2戸

1. 移住地概況

① 所在地	ベレン近郊	<地図番号> ⑪
② 管理機関		
③ 入植開始年度		
④ 面積		
⑤ 近傍市場	ベレン市	

2. 地区営農概況

「ベレーン近郊」と同じ

但し、調査の2戸は蔬菜作養鶏に失敗したものと思われ収支は極度に悪い。

しかしピメンタで収入を挙げ辛じて営農を進めることができたと思われる。

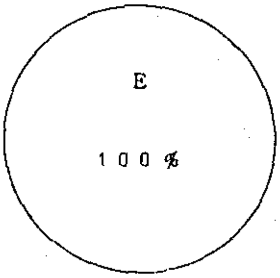


Fig1. 所得的階層分化の状況

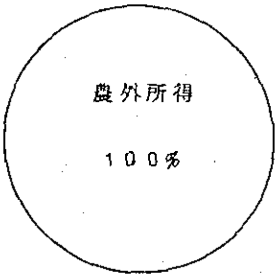


Fig2. 農家所得構成

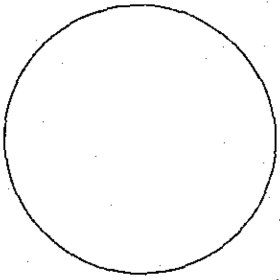


Fig3. 農業所得率

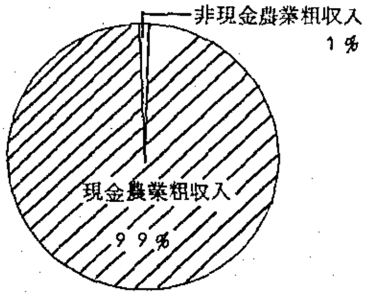


Fig4. 農業粗収入現金率

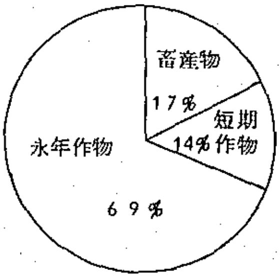


Fig5. 農畜産物販売状況

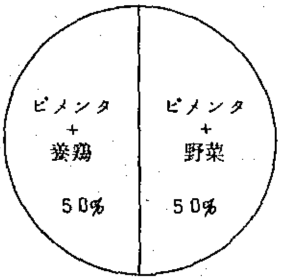


Fig6. 経営形態別農家構成

3. 農家経済の概況 （農家一戸当り平均）

単位：千円

① 入植経過年月	12年	② 家族人数	4人	③農業換算労働人数	2.2人

④土地利用状況 (ha)

開墾地											未開墾地(含利用不能地)	所有地計	借地計
耕地					耕地外					開墾地計			
田	畑	樹園地	採草放牧地	小計	放牧地	植林地	宅地	廃耕地	小計				
0	2.5	3	0	5.5	0	0	0.5	0	0.5	6.0	23.5	29.5	0

⑤動植物所有状況

動物（頭羽数）										植物（本数）									
肉牛		乳牛		馬		豚		鶏		ピメンタ		マラクジャ		ミカン					
仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	未	成	未	成	未	成	未	成	未	成
0	0	0	0	0	0	0	0	275	270	1,500	4,100	0	750	0	250				

⑥負債状況

	長期借入金残高				短期借入金残高				借入金残高計	土地代残額	未払経費期末残額	負債計
	事業団	現地機関	個人他	小計	事業団	現地機関	個人他	小計				
平均	0	491	0	491	0	449	0	449	940	0	0	940
最高	0	898	0	898	0	898	0	898	1,797	0	0	1,797
最底	0	84	0	84	0	0	0	0	84	0	0	84

⑦農畜産物販売状況

	移住地売上順位	産物名	売上高（平均）	売上高（最高）	売上高（最底）
短期作物	才1位	トマト	314	629	0
	才2位				
	才3位				
永年作物	才1位	ピメンタ	1,438	2,021	854
	才2位	マラクジャ	135	270	0
	才3位				
畜産物	才1位	鶏卵	382	764	0
	才2位				
	才3位				

⑧農業経営費

現金農業経営費										非現金農業経営費			合計
生産経費									販売経費	減価償却費	期末未払農業経営費	計	
雇用労賃	肥料代	農薬代	飼料代	燃料代	種苗種畜費	補助材料代	その他	小計					
—	—	—	—	—	—	—	—	1,822	67	45	628	673	2,562

⑨農家経済総括

	永年作物	短期作物	畜産物	現金農業粗収入計	非現金農業粗収入計	農業粗収入計	農業経営費	借入金利息	農業所得	農外収入	農外支出	農外所得	農家所得	家計費	（農家経済余剰）
平均	1,617	314	382	2,313	22	2,335	2,562	54	-281	0	0	0	-281	314	(-595)
最高	2,021	988	764	2,785	45	2,785	3,319	108	- 27	0	0	0	- 27	323	
最底	854	0	0	1,842	0	1,887	1,806	0	-444	0	0	0	-444	305	

移住地名　カスタニヤール

調査対象期間	昭和44年1月～12月	入植戸数	ベレン近郊 375戸	調査戸数	5戸

1. 移住地概況

① 所在地	ベレン近郊	<地図番号> ⑫
② 管理機関		
③ 入植開始年度		
④ 面積		
⑤ 近傍市場	ベレン市	

2. 地区営農概況

「ベレーン近郊」と同じ

当地はサンタ・イザベル地区と同じく邦人流入の激しい地区で土地ブームにわいている。

今後生産競争が激しくなろう。

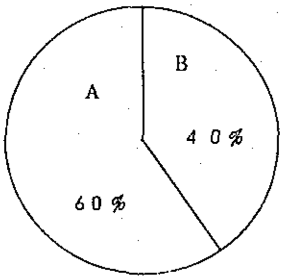


Fig1. 所得的階層分化の状況

Fig2. 農家所得構成

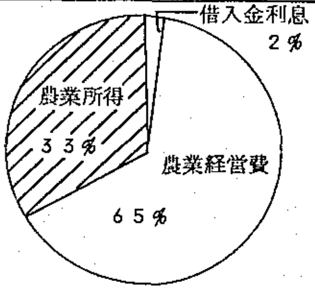


Fig3. 農業所得率

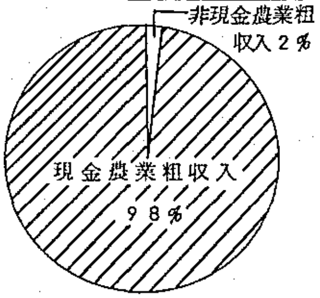


Fig4. 農業粗収入現金率

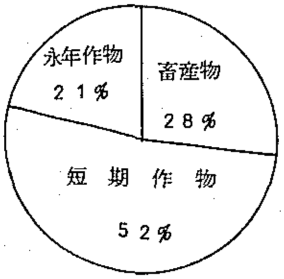


Fig5. 農畜産物販売状況

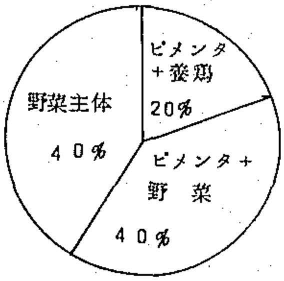


Fig6. 経営形態別農家構成

3. 農家経済の概況 (農家一戸当り平均)

単位：千円

① 入植経過年月	4年4月	② 家族人数	5人	③農業換算労働人数	2.7人

④ 土地利用状況 Ha

開墾地											未開墾地 (含利用不能地)	所有地計	借地計
耕地					耕地外					開墾地計			
田	畑	樹園地	採草地	小計	放牧地	植林地	宅地	廃耕地	小計				
0	6.1	2.2	0	8.3	0.2	0	1	0	1.2	9.5	21.4	30.9	0

⑤ 動植物所有状況

動物 (頭羽数)										植物 (本数)									
肉牛		乳牛		馬		豚		鶏		ピメンタ		マラクジャ		ミカン					
仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	未	成	未	成	未	成	未	成	未	成
0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,302	3,180	4,340	0	140	50	0				

⑥ 負債状況

	長期借入金残高				短期借入金残高				借入金残高計	土地代残額	未払経費期末残額	負債計
	事業団	現地機関	個人他	小計	事業団	現地機関	個人他	小計				
平均	0	1,154	0	1,154	68	544	0	612	1,766	0	0	1,766
最高	0	3,145	0	3,145	180	898	0	898	3,306	0	0	3,306
最底	0	377	0	377	0	0	0	162	1,096	0	0	1,096

⑦ 農畜産物販売状況

	移住地売上順位	産物名	売上高 (平均)	売上高 (最高)	売上高 (最底)
短期作物	才1位	トマト	3,163	11,320	0
	才2位				
	才3位				
永年作物	才1位	ピメンタ	1,384	3,684	0
	才2位				
	才3位				
畜産物	才1位	鶏卵	1,904	6,289	0
	才2位				
	才3位				

⑧ 農業経営費

現金農業経営費										非現金農業経営費			合計
生産経費									販売経費	減価償却費	期末未払農業経営費	計	
雇用労賃	肥料代	農薬代	飼料代	燃料代	種苗種畜費	補助材料代	その他	小計					
794	1,164	162	1,423	51	30	201	146	3,971	101	54	460	514	4,586

⑨ 農家経済総括

	永年作物	短期作物	畜産物	現金農業粗収入計	非現金農業粗収入計	農業粗収入計	農業経営費	借入金利息	農業所得	農外収入	農外支出	農外所得	農家所得	家計費	(農家経済余剰)
平均	1,438	3,576	1,904	6,918	126	7,044	4,586	160	2,298	0	0	0	2,298	528	(1,770)
最高	3,684	11,320	6,289	11,320	180	11,410	7,240	449	4,170	0	0	0	4,170	647	
最底	0	0	0	3,234	45	3,369	1,712	0	1,011	0	0	0	1,011	377	

移住地名　グ　ア　マ

調査対象期間	昭和44年1月～12月	入植戸数	53戸	調査戸数	5戸

1. 移住地概況

① 所在地	パラー州・サンタ・イザベル郡、イニヤンガッペ郡　＜地図番号＞　⑬
② 管理機関	連邦政府
③ 入植開始年度	昭和31年
④ 面積	33,510ha（1ロッテ＝20ha）
⑤ 近傍市場	ベレーン市（人口60万人、水路48Km、陸路75Km）

2. 地区営農概況

本年度ピメンタは3～4割減の収獲であったが、価格は従来の倍額で売れ農家にとっては好況であった。但し米は資金不足で減産された。

蔬菜（かんらん）はベレーンに出荷したが思わしくなかった。

サイザルの試作を続けているがほぼ良好である。当地は高台のタカジョス地区低地のベルメンブコ地区と分れるが、それぞれの地域性にもとづく営農が進められる必要がある。

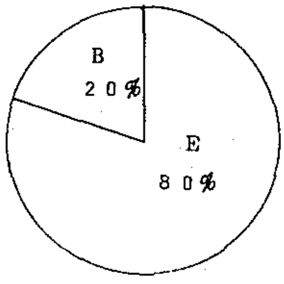


Fig1. 所得的階層分化の状況

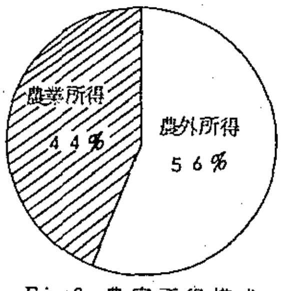


Fig2. 農家所得構成

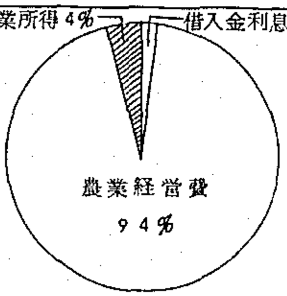


Fig3. 農業所得率

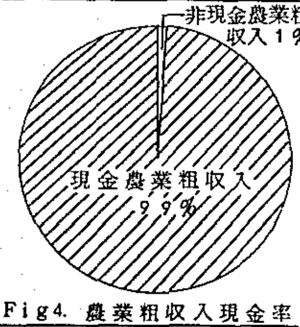


Fig4. 農業粗収入現金率

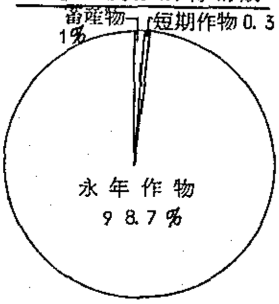


Fig5. 農畜産物販売状況

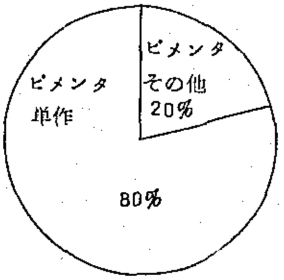


Fig6. 経営形態別農家構成

3. 農家経済の概況 （農家一戸当り平均）

単位：千円

① 入植経過年月	１３年５月	② 家族人数	6.2人	③農業換算労働人数	2.7人

④ 土地利用状況 Ha

開墾地											未開墾地（含利用不能地）	所有地計	借地計
耕地					耕地外					開墾地計			
田	畑	樹園地	採牧草地	小計	放牧地	植林地	宅地	廃耕地	小計				
0	9.2	1.8	0.6	11.6	0	0	0.9	0	0.9	12.5	15.8	28.3	0

⑤ 動植物所有状況

動物（頭羽数）										植物（本数）									
肉牛		乳牛		馬		豚		鶏		ピメンタ		ミカン		茶					
仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	未	成	未	成	未	成	未	成	未	成
0	0	0	0	0	0	2	5.8	0	12	1,100	6,890	0	60	400	0				

⑥ 負債状況

	長期借入金残高				短期借入金残高				借入金残高計	土地代残額	未払経費期末残額	負債計
	事業団	現地機関	個人他	小計	事業団	現地機関	個人他	小計				
平均	126	341	0	467	72	647	0	719	1,186	0	0	1,186
最高	270	1,348	0	1,482	270	1,438	0	1,617	1,977	0	0	1,977
最底	0	0	0	0	0	0	0	0	270	0	0	270

⑦ 農畜産物販売状況

	移住地売上順位	産物名	売上高（平均）	売上高（最高）	売上高（最底）
短期作物	才1位				
	才2位				
	才3位				
永年作物	才1位	ピメンタ	2,749	6,738	719
	才2位	茶	108	539	0
	才3位				
畜産物	才1位	豚	40	108	0
	才2位				
	才3位				

⑧ 農業経営費

現金農業経営費										非現金農業経営費			合計
生産経費									販売経費	減価償却費	期末未払農業経営費	計	
雇用労賃	肥料代	農薬代	飼料代	燃料代	種苗種畜費	補助材料代	その他	小計					
510	767	16	9	51	0	243	14	1,610	61	141	927	1,068	2,739

⑨ 農家経済総括

	永年作物	短期作物	畜産物	現金農業粗収入計	非現金農業粗収入計	農業粗収入計	農業経営費	借入金利息	農業所得	農外収入	農外支出	農外所得	農家所得	家計費	（農家経済余剰）
平均	2857	9	40	2906	37	2943	2739	73	131	164	0	164	295	688	(−393)
最高	6738	45	108	6738	90	6738	5840	135	809	719	0	719	898	1,325	
最底	719	0	0	809	0	898	669	11	−503	0	0	0	−25	216	

移住地名　マラニオン

調査対象期間	昭和44年1月～12月	入植戸数	22戸	調査戸数	5戸

1. 移住地概況

① 所在地	<地図番号>　⑭
② 管理機関	
③ 入植開始年度	
④ 面積	
⑤ 近傍市場	

2. 地区営農概況

本年全般的に多雨で蔬菜（トマト、甘らん、ピーマン、キウリ、スイカ等）にベト病など病害が発生、成績は悪かった。また国道整備に伴ない、ミナス、ペルナンブコ両州よりトマト等が多量入荷しサンルイス市場の価格は下落し低調で推移した。
このように他州からの農産物流入に対処するため日本人会で肥料農薬等の一括共同購入の動きがあるが、コスト面の低減化を計る必要がある。なおまた当地営農は蔬菜偏重経営であるため、今後は適永年作物の開発並びに導入を積極的に計る必要がある。

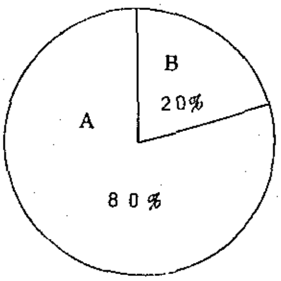


Fig1. 所得的階層分化の状況

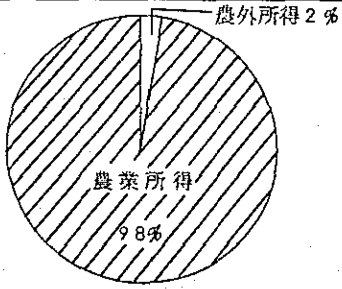


Fig2. 農家所得構成

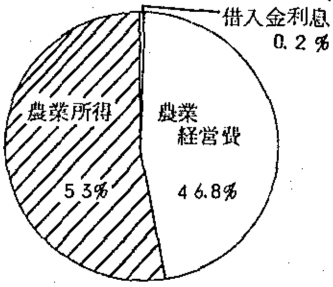


Fig3. 農業所得率

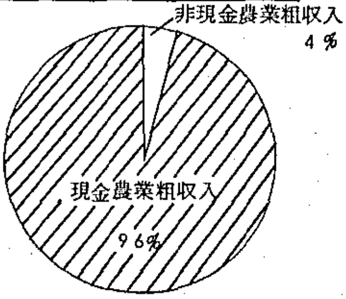


Fig4. 農業粗収入現金率

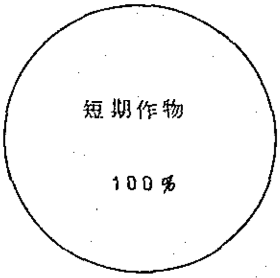


Fig5. 農畜産物販売状況

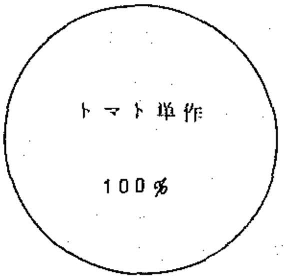


Fig6. 経営形態別農家構成

3. 農家経済の概況 （農家一戸当り平均）

単位：千円

① 入植経過年月	8年9月	② 家族人数	7人	③農業換算労働人数	3.5人

④ 土地利用状況Ha

開墾地											未開墾地(含利用不能地)	所有地計	借地計
耕地					耕地外					開墾地計			
田	畑	樹園地	採草牧地	小計	放牧地	植林地	宅地	廃耕地	小計				
0	4.4	0.6	0.3	5.3	0	0	0.4	0	0.4	5.7	24.9	30.6	0

⑤ 動植物所有状況

動物 (頭羽数)										植物 (本数)									
肉牛		乳牛		馬		豚		鶏		ピメンタ		ココヤシ		ゴム					
仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	未	成	未	成	未	成	未	成	未	成
0	0	0	0	0	0	0.2	0	0	0	0	70	0	40	0	10				

⑥ 負債状況

	長期借入金残高				短期借入金残高				借入金残高計	土地代残額	未払経費期末残額	負債計
	事業団	現地機関	個人他	小計	事業団	現地機関	個人他	小計				
平均	27	43	0	70	0	0	0	0	70	0	11	81
最高	135	216	0	350	0	0	0	0	350	0	54	350
最底	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

⑦ 農畜産物販売状況

	移住地売上順位	産物名	売上高（平均）	売上高（最高）	売上高（最底）
短期作物	才1位	トマト	3,270	7,547	1,797
	才2位				
	才3位				
永年作物	才1位				
	才2位				
	才3位				
畜産物	才1位				
	才2位				
	才3位				

⑧ 農業経営費

現金農業経営費										非現金農業経営費			合計
生産経費									販売経費	減価償却費	期末未払農業経営費	計	
雇用労賃	肥料代	農薬代	飼料代	燃料代	種苗種畜費	補助材料代	その他	小計					
—	—	—	—	—	—	—	—	1,876	17	100	23	123	2,016

⑨ 農家経済総括

	永年作物	短期作物	畜産物	現金農業粗収入計	非現金農業粗収入計	農業粗収入計	農業経営費	借入金利息	農業所得	農外収入	農外支出	農外所得	農家所得	家計費	(農家経済余剰)
平均	0	4,156	0	4,156	169	4325	2016	8	2301	56	0	56	2357	1,063	(1,294)
最高	0	8,984	0	8,984	494	9,478	4055	16	5428	217	0	217	5,428	1,824	
最底	0	1,977	0	1,977	0	1,977	767	0	1211	0	0	0	1,211	620	

移住地名　ベレーン近郊

調査対象期間	昭和44年1月～12月	入植戸数	375戸	調査戸数	7戸

1. 移住地概況

① 所在地	＜地図番号＞　⑮
② 管理機関	
③ 入植開始年度	
④ 面積	
⑤ 近傍市場	

2. 地区営農概況

ベレーン近郊約375戸は蔬菜、養鶏、果樹、胡椒等と多様な経営であるが特に蔬菜、養鶏農家が多い。蔬菜（トマトが主体）は暴騰暴落し暴騰時は、南伯産が大量入荷し暴落するという事態を招いていた。養鶏は生産過剰気味の上、飼料高、一方卵価安で廃業するものが続出した。鶏肉も同様であった。
胡椒を手掛けている農家は9月以降の価格高で収入を挙げた。このため、胡椒を栽培し、うまく蔬菜を売った農家は笑いのとまらない成績であったが市況にのらなかった農家、胡椒をやっていない農家の経済は極度に悪いようである。
近郊地帯の人口増は激しくまた、邦人の流入も多く今後益々生産競争が激化するようである。

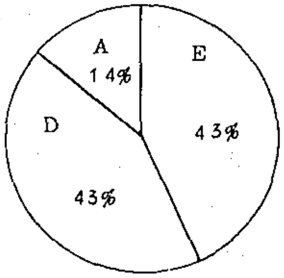


Fig1. 所得的階層分化の状況

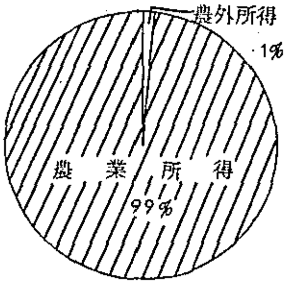


Fig2. 農家所得構成

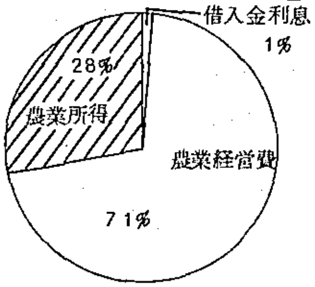


Fig3. 農業所得率

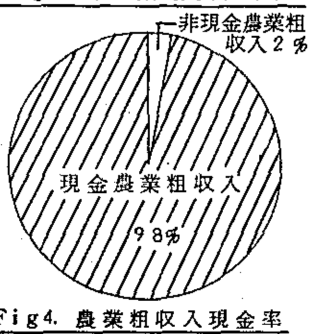


Fig4. 農業粗収入現金率

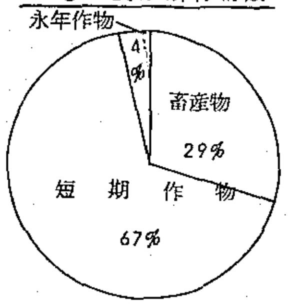


Fig5. 農畜産物販売状況

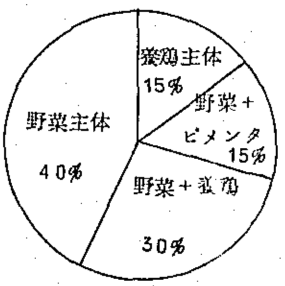


Fig6. 経営形態別農家構成

3. 農家経済の概況 (農家一戸当り平均)

単位：千円

① 入植経過年月	10年9月	② 家族人数	4人	③農業換算労働人数	2.7人

④土地利用状況Ha

開墾地											未開墾地(含利用不能地)	所有地計	借地計
耕地					耕地外					開墾地計			
田	畑	樹園地	採草放牧地	小計	放牧地	植林地	宅地	廃耕地	小計				
0	2.9	0.6	0	3.5	0	0	1.0	0	1.0	4.5	8.4	12.9	0

⑤動植物所有状況

動物 (頭羽数)										植物 (本数)									
肉牛		乳牛		馬		豚		鶏		ピメンタ									
仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	未	成	未	成	未	成	未	成	未	成
0	0	0	0.3	0	0	0	0	264	291	143	571								

⑥負債状況

	長期借入金残高				短期借入金残高				借入金残高計	土地代残額	未払経費期末残額	負債計
	事業団	現地機関	個人他	小計	事業団	現地機関	個人他	小計				
平均	46	103	0	149	19	36	0	55	204	0	0	204
最高	180	539	0	539	135	252	0	252	539	0	0	539
最底	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

⑦農畜産物販売状況

	移住地売上順位	産物名	売上高 (平均)	売上高 (最高)	売上高 (最底)
短期作物	才1位	野菜	1,312	3,378	0
	才2位				
	才3位				
永年作物	才1位	ピメンタ	72	359	0
	才2位				
	才3位				
畜産物	才1位	鶏卵	498	1,348	0
	才2位	鶏肉	79	449	0
	才3位				

⑧農業経営費

現金農業経営費										非現金農業経営費			合計
生産経費									販売経費	減価償却費	期末未払農業経営費	計	
雇用労賃	肥料代	農薬代	飼料代	燃料代	種苗種畜費	補助材料代	その他	小計					
241	340	30	463	76	52	31	30	1263	28	68	55	123	1,414

⑨農家経済総括

	永年作物	短期作物	畜産物	現金農業粗収入計	非現金農業粗収入計	農業粗収入計	農業経営費	借入金利息	農業所得	農外収入	農外支出	農外所得	農家所得	家計費	(農家経済余剰)
平均	72	1,312	577	1961	33	1994	1,414	22	558	4	0	4	562	434	(128)
最高	359	3378	1,797	3378	108	3423	2,453	108	1,734	27	0	27	1,734	916	
最底	0	0	0	362	0	401	153	0	237	0	0	0	237	225	

移住地名　クビチェック

調査対象期間	昭和44年1月～12月	入植戸数	67戸	調査戸数	29戸

1. 移住地概況

① 所在地	バイア州マタ・デ・サンジョン郡	＜地図番号＞　⑯
② 管理機関	連邦政府及び州政府（代表州）	
③ 入植開始年度	昭和35年	
④ 面積	2,600 ha （1ロッテ＝20～25 ha）	
⑤ 近傍市場	サルバドール市（人口90万人、陸路80Km）　マタ・デ・サンジョア町（人口1万人陸路13Km）	

2. 地区営農概況

当地は5地区（イタピシリカ、ルンダ、カマサリ、ケブラコッコ、サン・ペドロ）に区分される。イタピシリカ地区に最も邦人が多い。当地は養鶏、蔬菜が主体となっているが、サルバドール市外に建設中のバイヤフルーツ工場が刺激となり、永年作物新植の気運が盛上っている。入植者の多くは生産費のいらないキャボ・マシッシー、隼人瓜などの周年生産、直売という方法で営農を進めている。このためサルバドール市内に移動販売所を4カ所開いている。養鶏は依然飼料高が続き苦しい。
トマト、ピーマンは一般的に作付増で競争激しく本年は作付を減らしたものが多い。
ピメンタ、ポンカン、レモン、ブドウ、マラクジヤ等の永年作物が次才に栽培されつつある。次才に階層分化が明らかになりつつある。

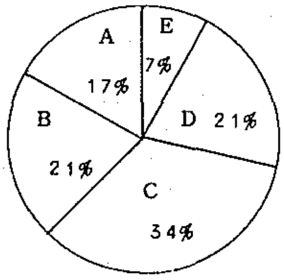


Fig1. 所得的階層分化の状況

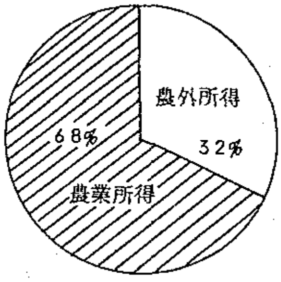


Fig2. 農家所得構成

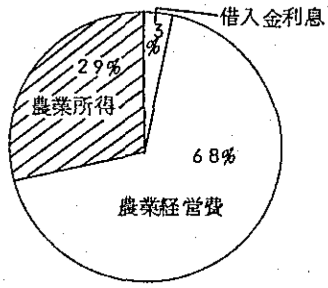


Fig3. 農業所得率

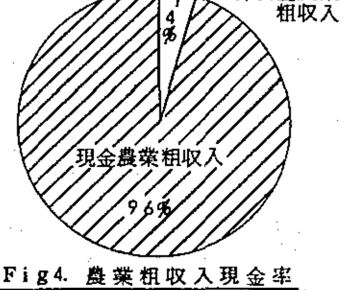


Fig4. 農業粗収入現金率

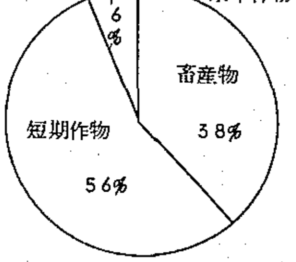


Fig5. 農畜産物販売状況

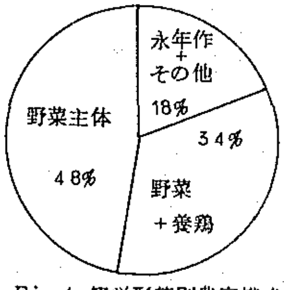


Fig6. 経営形態別農家構成

3. 農家経済の概況 （農家一戸当り平均）　単位：千円

① 入植経過年月	9年7月	② 家族人数	5.8人	③農業換算労働人数	2.1人

④ 土地利用状況 ha

開墾地											未開墾地（含利用不能地）	所有地計	借地計
耕地					耕地外					開墾地計			
田	畑	樹園地	採牧草地	小計	放牧地	植林地	宅地	廃耕地	小計				
0	2.7	2.3	0.2	5.2	0	0.1	0.4	3.3	3.8	9.0	16.4	25.4	0.03

⑤ 動植物所有状況

動物（頭羽数）										植物（本数）									
肉牛		乳牛		馬		豚		鶏		バナナ		ココヤシ		マラクジア		柑橘		ピメンタ	
仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	未	成	未	成	未	成	未	成	未	成
0	0	0	0	0	0.1	0.3	0.2	35	380	52	459	97	75	117	173	123	50	37	20

⑥ 負債状況

	長期借入金残高				短期借入金残高				借入金残高計	土地代残額	未払経費期末残額	負債計
	事業団	現地機関	個人他	小計	事業団	現地機関	個人他	小計				
平均	203	209	15	427	5	275	22	302	729	43	27	799
最高	360	710	270	943	126	3,693	180	3,693	4,413	1,079	180	4,413
最底	0	0	0	0	0	0	0	0	126	0	0	144

⑦ 農畜産物販売状況

	移住地売上順位	産物名	売上高（平均）	売上高（最高）	売上高（最底）
短期作物	才1位	トマト	414	2,175	0
	才2位	隼人瓜	134	2,157	0
	才3位	ピーマン	111	560	0
永年作物	才1位	マラクジャ	60	674	0
	才2位	バナナ	21	180	0
	才3位	ココヤシ	15	180	0
畜産物	才1位	鶏卵	456	4,045	0
	才2位	鶏肉	278	2,697	0
	才3位	豚	5	90	0

⑧ 農業経営費

現金農業経営費										非現金農業経営費			合計
生産経費									販売経費	減価償却費	期末未払農業経営費	計	
雇用労賃	肥料代	農薬代	飼料代	燃料代	種苗種畜費	補助材料代	その他	小計					
196	178	88	531	34	82	33	41	1,183	66	130	12	142	1,391

⑨ 農家経済総括

	永年作物	短期作物	畜産物	現金農業粗収入計	非現金農業粗収入計	農業粗収入計	農業経営費	借入金利息	農業所得	農外収入	農外支出	農外所得	農家所得	家計費	（農家経済余剰）
平均	118	1,103	740	1961	89	2050	1391	60	599	504	216	288	887	535	（352）
最高	866	3,052	4045	4891	273	5,115	4078	224	1,771	6,292	4494	1,798	2495	1,488	
最底	0	0	0	390	5	483	214	0	-203	0	0	0	-203	198	

移住地名　イ　ツ　ベ　ラ

調査対象期間	昭和44年1月～12月	入植戸数	6戸	調査戸数	6戸

1. 移　住　地　概　況

① 所　在　地	バイア州イツベラ郡　　　＜地図番号＞　⑰
② 管理機関	州　政　府
③ 入植開始年度	昭和28年
④ 面　　積	5,000 ha （1ロッテ＝20 ha）
⑤ 近傍市場	サルバドール市（人口90万人、陸路130Km）イツベラ町（人口5千人、陸路10Km）

2. 地　区　営　農　概　況

丁字は好況である。また丁字の間作として導入したピメンタは価格高で作柄も良い。このためピメンタの増植が盛んである。従来の永年作物、ゴム、油ヤシ、繊維ヤシに代り丁字、ピメンタ、蔬菜の組合せが増え、いずれも順調な営農が進めらている。蔬菜（トマト、ピーマン等）は直接入植者がイツベラ、イレウス等に出店をもって販売することを余儀なくされており、この面の改善（共販等）が必要である。一般的に当地の営農は他地区に比しこれといった問題もなく今後が期待される。

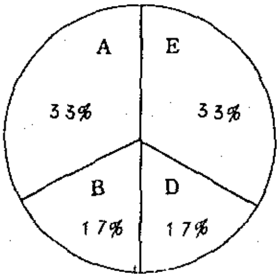


Fig1. 所得的階層分化の状況

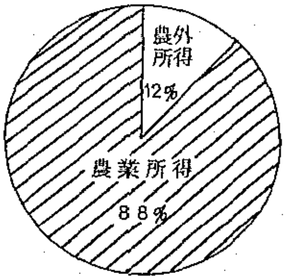


Fig2. 農家所得構成

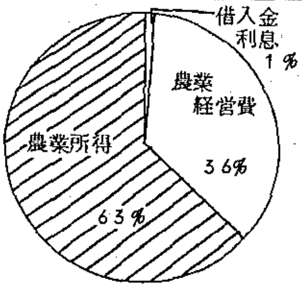


Fig3. 農業所得率

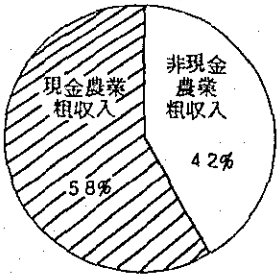


Fig4. 農業粗収入現金率

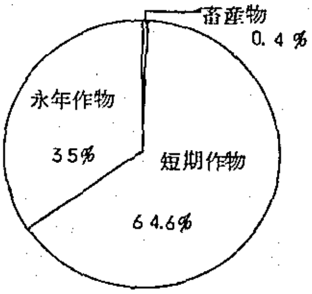


Fig5. 農畜産物販売状況

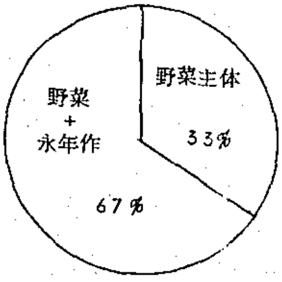


Fig6. 経営形態別農家構成

3. 農家経済の概況　（農家一戸当り平均）

単位：千円

① 入植経過年月	12年3月	② 家族人数	7人	③農業換算労働人数	2.1人

④ 土地利用状況 Ha

開墾地											未開墾地(含利用不能地)	所有地計	借地計
耕地					耕地外					開墾地計			
田	畑	樹園地	採草地	小計	放牧地	植林地	宅地	廃耕地	小計				
0	1.4	14.3	0.3	16	0.8	0	0.1	0.7	1.6	17.6	19.9	37.5	0

⑤ 動植物所有状況

動物（頭羽数）										植物（本数）									
肉牛		乳牛		馬		豚		鶏		丁字		ピメンタ		柑橘		油ヤシ		繊維ヤシ	
仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	未	成	未	成	未	成	未	成	未	成
0	0	0	0	0	0.7	0	0	2.5	3.7	542	567	692	333	223	100	383	0	2333	0

⑥ 負債状況

	長期借入金残高				短期借入金残高				借入金残高計	土地代残額	未払経費期末残額	負債計
	事業団	現地機関	個人他	小計	事業団	現地機関	個人他	小計				
平均	2	0	0	2	22	144	0	166	168	（分譲価未定）	10	178
最高	9	0	0	9	45	360	0	404	404		58	404
最底	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0

⑦ 農畜産物販売状況

	移住地売上順位	産物名	売上高（平均）	売上高（最高）	売上高（最底）
短期作物	オ1位	トマト	297	719	0
	オ2位	雑野菜	437	1,213	0
	オ3位	ピーマン	113	360	0
永年作物	オ1位	丁字	297	1,438	0
	オ2位	ピメンタ	105	629	0
	オ3位	柑橘	52	233	0
畜産物	オ1位	肉牛	5	30	0
	オ2位				
	オ3位				

⑧ 農業経営費

現金農業経営費										非現金農業経営費			合計
生産経費									販売経費	減価償却費	期末未払農業経営費	計	
雇用労賃	肥料代	農薬代	飼料代	燃料代	種苗種畜費	補助材料代	その他	小計					
339	216	45	2	59	6	8	36	711	75	21	0	21	807

⑨ 農家経済総括

	永年作物	短期作物	畜産物	現金農業粗収入計	非現金農業粗収入計	農業粗収入計	農業経営費	借入金利息	農業所得	農外収入	農外支出	農外所得	農家所得	家計費	(農家経済余剰)
平均	454	847	5	1,306	930	2,236	807	29	1,400	295	97	198	1,598	481	(1,117)
最高	1,482	1,798	30	3,279	4,753	8,032	2,001	144	6,031	1,078	314	809	6,166	1,078	
最底	0	128	0	128	36	173	115	0	58	0	0	0	224	124	

移住地名　リオ・ボニート

調査対象期間	昭和44年1月～12月	入植戸数	18戸	調査戸数	13戸

1. 移住地概況

① 所在地	ペルナンブーコ州ボニート郡	<地図番号> ⑱
② 管理機関	連邦及び州政府並びに北東信用救済協会の三者共営（代表連邦）	
③ 入植開始年度	昭和33年	
④ 面積	1,380ha（1ロッテ＝25ha）	
⑤ 近傍市場	レシーフェ市（人口110万人、陸路145Km）	

2. 地区営農概況

大半の入植者は、蔬菜を主体に懸命な営農振りである。メロン、スイカ、キウリ、ピーマントマト、人参、甘藍等がレシーフェ市場向出荷されまづ順調に販売された。
コストの高いトマトは作付が減少しつつある。一方、余力のあるものは永年作物（ゴヤバ、ポンカン、レモン等）を手掛けつつあり、今後が楽しみである。
その他として、にんにくが雨期作物として注目され、ジャガイモは主産地である南伯が低価格で作付面積激減を聞き、当地では作付が増えている。

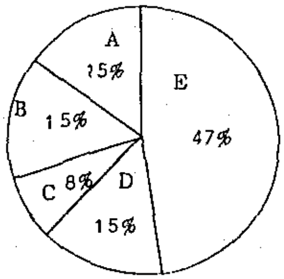


Fig1. 所得的階層分化の状況

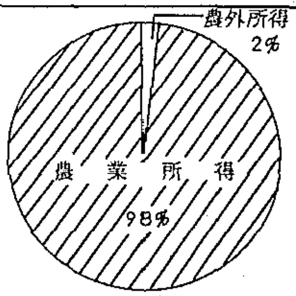


Fig2. 農家所得構成

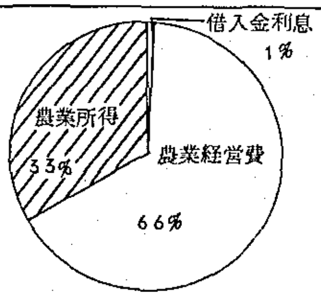


Fig3. 農業所得率

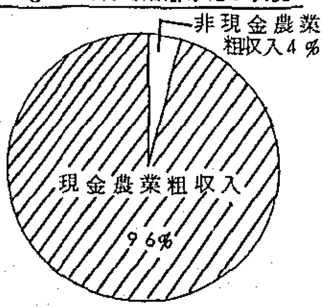


Fig4. 農業粗収入現金率

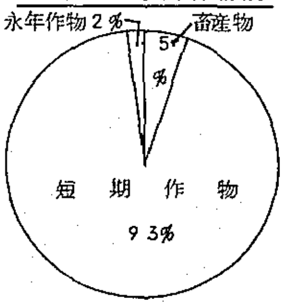


Fig5. 農畜産物販売状況

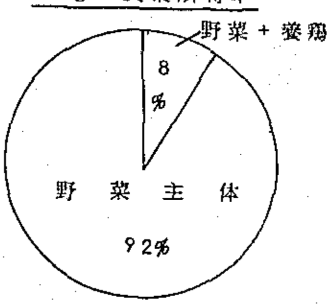


Fig6. 経営形態別農家構成

3. 農家経済の概況　(農家一戸当り平均)　　単位：千円

① 入植経過年月	8年3月	② 家族人数	5.7人	③農業換算労働人数	2.3人

④ 土地利用状況 ha

開墾地											未開墾地(含利用不能地)	所有地計	借地計
耕地					耕地外					開墾地計			
田	畑	樹園地	採牧草地	小計	放牧地	植林地	宅地	廃耕地	小計				
0	3.8	2.5	0	6.3	0	0	0.2	1.9	2.1	8.4	184	26.8	0.6

⑤ 動植物所有状況

動物 (頭羽数)										植物 (本数)									
肉牛		乳牛		馬		豚		鶏		柑橘		ゴヤバ		マラクジャ		バナナ		桃	
仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	未	成	未	成	未	成	未	成	未	成
0	0	0	0	0	0	0	0	61	31	330	99	201	3	115	500	50	110	3	0

⑥ 負債状況

	長期借入金残高				短期借入金残高				借入金残高計	土地代残額	未払経費期末残額	負債計
	事業団	現地機関	個人他	小計	事業団	現地機関	個人他	小計				
平均	507	526	0	1,033	0	611	31	642	1,675	未定(分譲価)	360	2,035
最高	701	1,105	0	1,698	0	1,078	270	1,123	2,408		1,411	3,540
最底	332	45	0	512	0	0	0	45	988		0	1,186

⑦ 農畜産物販売状況

	移住地売上順位	産物名	売上高(平均)	売上高(最高)	売上高(最底)
短期作物	才1位	人参	466	2,677	0
	才2位	トマト	284	2,201	0
	才3位	西瓜	204	719	0
永年作物	才1位	マラクジャ	31	359	0
	才2位	柑橘	4	27	0
	才3位	バナナ	2	18	0
畜産物	才1位	鶏卵	50	291	0
	才2位	鶏肉	40	243	0
	才3位				

⑧ 農業経営費

現金農業経営費										非現金農業経営費			合計
生産経費									販売経費	減価償却費	期末未払農業経営費	計	
雇用労賃	肥料代	農薬代	飼料代	燃料代	種苗種畜費	補助材料代	その他	小計					
309	282	108	67	73	46	28	49	962	235	46	36	82	1,279

⑨ 農家経済総括

	永年作物	短期作物	畜産物	現金農業粗収入計	非現金農業粗収入計	農業粗収入計	農業経営費	借入金利息	農業所得	農外収入	農外支出	農外所得	農家所得	家計費	(農家経済余剰)
平均	37	1,728	97	1862	77	1939	1279	25	635	16	0	16	651	355	(296)
最高	359	4546	462	4555	181	4736	2998	90	2083	126	0	126	2083	764	
最底	0	99	0	119	27	281	170	0	3	0	0	0	3	116	

移住地名　ピオ・ドーゼ

調査対象期間	昭和44年1月～12月	入植戸数	5戸	調査戸数	5戸

1. 移住地概況

① 所在地	セアラ州バカツーバ郡	＜地図番号＞　⑲
② 管理機関	連邦政府	
③ 入植開始年度	昭和35年	
④ 面積	1,390 ha　(1ロッテ＝10ha)	
⑤ 近傍市場	フォルタレーザ市　(人口85万人、陸路60Km)	

2. 地区営農概況

農家の主な収入源は養鶏で蔬菜に養鶏を加えて2年になるが、羽数増はわずかで伸び悩んでいる。しかし農家は2～3,000羽産卵鶏飼育を目標にがんばっている。今後優良種導入羽数増、鶏舎改良等を行ない最近の飼料高に対抗しなければならないと認識されつつある。
米はほぼ自給は確保され、メロン、スイカ等の蔬菜は順調に販売された。大体自給自足が可能になってきたので当期においては特に不安定な農家は見当らない。債務も支部管内の他地区に比し少ないといえよう。
なお、とうもろこし、フエイジョン等も自給可能となってきた。しかし常に灌漑用水の不足という問題をかかえている。

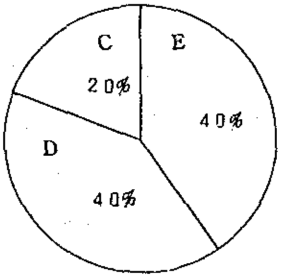


Fig1. 所得的階層分化の状況

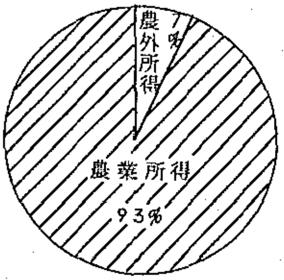


Fig2. 農家所得構成

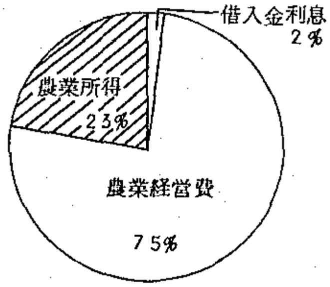


Fig3. 農業所得率

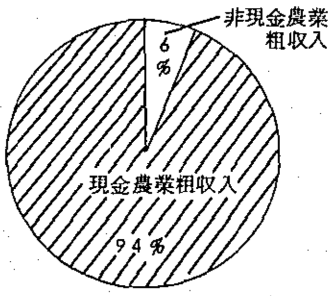


Fig4. 農業粗収入現金率

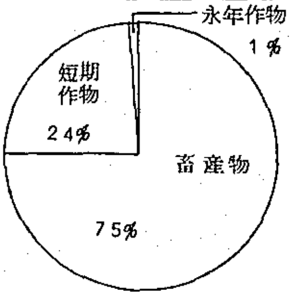


Fig5. 農畜産物販売状況

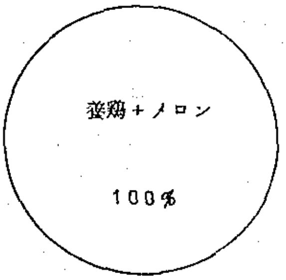


Fig6. 経営形態別農家構成

3. 農家経済の概況 （農家一戸当り平均）

単位：千円

① 入植経過年月	9年7月	② 家族人数	5.8人	③農業換算労働人数	2.1人

④ 土地利用状況 Ha

開墾地											未開墾地（含利用不能地）	所有地計	借地計
耕地					耕地外					開墾地計			
田	畑	樹園地	採草地	小計	放牧地	植林地	宅地	廃耕地	小計				
0	3.9	0.8	1.4	6.1	0.1	0	0.3	2.0	2.4	8.5	4.8	13.3	0

⑤ 動植物所有状況

動物（頭羽数）										植物（本数）									
肉牛		乳牛		馬		豚		鶏		ゴヤバ		柑橘		カジュー		マラクジャ		イチヂク	
仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	未	成	未	成	未	成	未	成	未	成
0	0.2	0	0	0.2	1.2	11.6	6	220	550	0	20	6	0	12	0	0	40	0	3

⑥ 負債状況

	長期借入金残高				短期借入金残高				借入金残高計	土地代残額	未払経費期末残額	負債計
	事業団	現地機関	個人他	小計	事業団	現地機関	個人他	小計				
平均	340	0	0	340	18	0	0	18	358	（分譲未価定）	0	358
最高	449	0	0	449	90	0	0	90	449		0	449
最底	90	0	0	90	0	0	0	0	180		0	180

⑦ 農畜産物販売状況

	移住地売上順位	産物名	売上高（平均）	売上高（最高）	売上高（最底）
短期作物	才1位	メロン	298	520	134
	才2位	西瓜	30	76	0
	才3位	籾	16	67	0
永年作物	才1位	パパイヤ	9	43	0
	才2位	レモン	3	16	0
	才3位	イチヂク	1	7	0
畜産物	才1位	鶏卵	979	2,173	75
	才2位	鶏肉	73	93	18
	才3位	豚	66	108	27

⑧ 農業経営費

現金農業経営費										非現金農業経営費			合計
生産経費									販売経費	減価償却費	期末未払農業経営費	計	
雇用労賃	肥料代	農薬代	飼料代	燃料代	種苗種畜費	補助材料代	その他	小計					
118	13	16	816	27	96	3	31	1,120	51	23	0	23	1,194

⑨ 農家経済総括

	永年作物	短期作物	畜産物	現金農業粗収入計	非現金農業粗収入計	農業粗収入計	農業経営費	借入金利息	農業所得	農外収入	農外支出	農外所得	農家所得	家計費	（農家経済余剰）
平均	16	360	1,131	1,507	89	1,596	1,194	30	372	30	0	30	402	369	33
最高	75	587	2,342	2,929	154	2,945	2,226	55	684	100	0	100	784	710	
最底	0	190	195	558	16	677	431	9	99	0	0	0	99	108	

移住地名ブ　ナ　ウ

調査対象期間	昭和44年1月〜12月	入植戸数	3戸	調査戸数	3戸

1. 移住地概況

① 所在地	リオ・グランデ・ド・ノルテ州トーロス郡　　＜地図番号＞　⑳
② 管理機関	ピオ・ドーゼ財団
③ 入植開始年度	昭和34年
④ 面積	1,365ha（1ロッテ＝12ha）
⑤ 近傍市場	ナタール市（人口24万人、陸路80Km）セアラミリン町（人口5千人、陸路45Km）

2. 地区営農概況

トマト、人参、キャベツ、カボチャ等の蔬菜中心で永年作ではバナナ以外の導入気運はなく低地単作に偏っている。トマトは平年並、人参、キャベツはやゝ良、カボチャはやゝ不良の作柄であった。
今後病害多発に対する対策を特に進める必要がある。

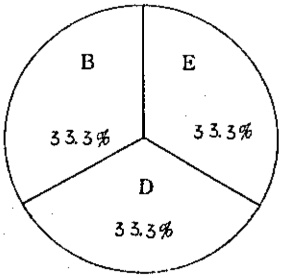


Fig1. 所得的階層分化の状況

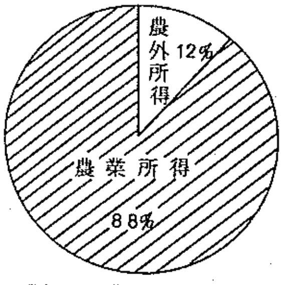


Fig2. 農家所得構成

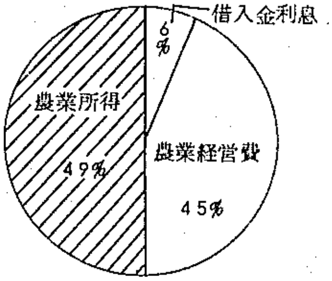


Fig3. 農業所得率

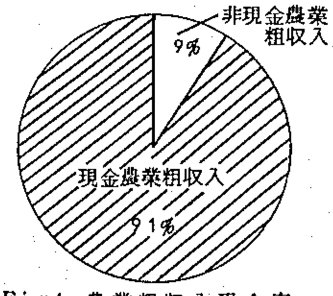


Fig4. 農業粗収入現金率

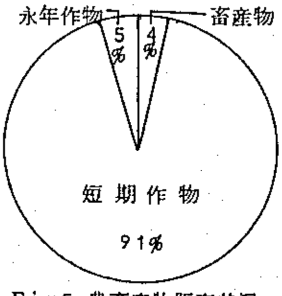


Fig5. 農畜産物販売状況

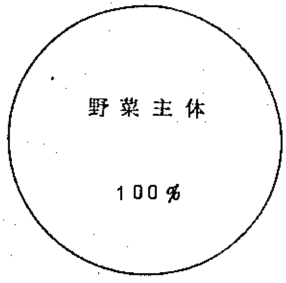


Fig6. 経営形態別農家構成

3. 農家経済の概況 （農家一戸当り平均）

単位：千円

① 入植経過年月	8年6月	② 家族人数	4.7人	③農業換算労働人数	1.8人

④土地利用状況 Ha

開墾地											未開墾地(含利用不能地)	所有地計	借地計
耕地					耕地外					開墾地計			
田	畑	樹園地	採牧草地	小計	放牧地	植林地	宅地	廃耕地	小計				
0	4.7	2.0	0.3	7.0	0	0	0.5	0	0.5	7.5	5.4	12.9	13.3

⑤動植物所有状況

動物 (頭羽数)										植物 (本数)									
肉牛		乳牛		馬		豚		鶏		バナナ		マンゴ							
仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	未	成	未	成	未	成	未	成	未	成
4.3	4.3	0.3	0.3	0	2	0	3.3	0	27	0	1,733	0	23						

⑥負債状況

	長期借入金残高				短期借入金残高				借入金残高計	土地代残額	未払経費期末残額	負債計
	事業団	現地機関	個人他	小計	事業団	現地機関	個人他	小計				
平均	210	0	0	210	150	90	0	240	450	（永代贈与）	0	450
最高	359	0	0	359	449	90	0	539	539		0	539
最底	0	0	0	0	0	90	0	90	359		0	359

⑦農畜産物販売状況

	移住地売上順位	産物名	売上高（平均）	売上高（最高）	売上高（最底）
短期作物	才1位	トマト	373	759	0
	才2位	人参	168	503	0
	才3位	甘藷	90	270	0
永年作物	才1位	バナナ	49	82	0
	才2位				
	才3位				
畜産物	才1位	肉牛	38	113	0
	才2位				
	才3位				

⑧農業経営費

現金農業経営費										非現金農業経営費			合計
生産経費									販売経費	減価償却費	期末未払農業経営費	計	
雇用労賃	肥料代	農薬代	飼料代	燃料代	種苗種畜費	補助材料代	その他	小計					
198	87	34	11	7	24	4	46	411	42	0	0	0	453

⑨農家経済総括

	永年作物	短期作物	畜産物	現金農業粗収入計	非現金農業粗収入計	農業粗収入計	農業経営費	借入金利息	農業所得	農外収入	農外支出	農外所得	農家所得	家計費	(農家経済余剰)
平均	49	831	38	918	87	1,005	453	58	494	66	0	66	560	365	(195)
最高	82	1,555	113	1,750	128	1,878	659	162	1,057	198	0	198	1,057	553	
最底	0	160	0	244	29	348	216	4	128	0	0	0	298	222	

移住地名　ウ　　ナ

調査対象期間	昭和44年1月～12月	入植戸数	32戸	調査戸数	17戸

1. 移住地概況

① 所在地	バイア州ウナ郡	<地図番号>　㉑
② 管理機関	連邦政府	
③ 入植開始年度	昭和28年	
④ 面積	5,494ha（1ロッテ＝30ha）	
⑤ 近傍市場	イタブーナ市（人口2万人、陸路120Km）ウナ町（人口5千人　陸路10Km）	

2. 地区営農概況

基幹作物ゴムに11月ラガルタ（毛虫）が大発生し本格的な採液時期に入ろうとしていた矢先のため被害は大きかった。また落葉病も発生した。

このため耐病品種の新枝接芽等の対策を進めるとともに胡椒、カカオ、丁字等をとり入れつつある。なお、11月被害のゴム樹は45年1月には新芽の萌芽により回復しつつある由である。

このような病虫害にめげず、営農改善に努力を払っており、他の蔬菜（スイカ等）マンジョカ等の販売はほぼ順調に行なわれた。

今後の永年作の多角化、危険分散が実現されると極めて期待のもてる地区である。なお耐病性ゴムを一部導入しているが生育は良好である。

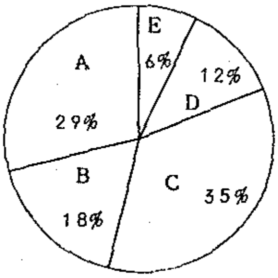


Fig1. 所得的階層分化の状況

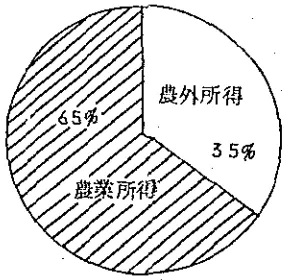


Fig2. 農家所得構成

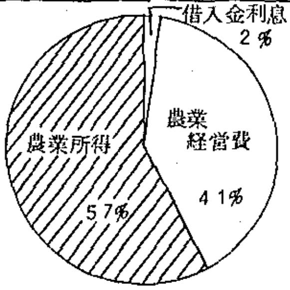


Fig3. 農業所得率

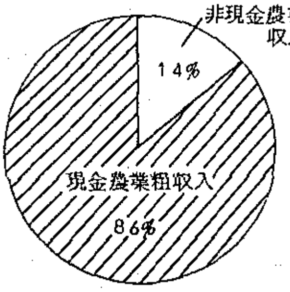


Fig4. 農業粗収入現金率

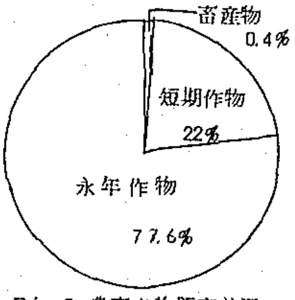


Fig5. 農畜産物販売状況

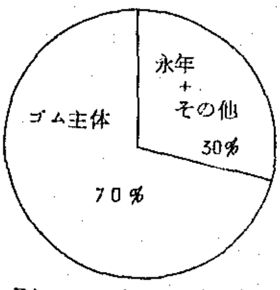


Fig6. 経営形態別農家構成

3. 農家経済の概況 (農家一戸当り平均)　　　単位：千円

① 入植経過年月	13年11月	② 家族人数	6.6人	③農業換算労働人数	2.3人

④ 土地利用状況

開墾地											未開墾地(含利用不能地)	所有地計	借地計
耕地					耕地外					開墾地計			
田	畑	樹園地	採草地	小計	放牧地	植林地	宅地	廃耕地	小計				
0	0.9	17.6	0.1	18.6	0	0	0.4	0.3	0.7	19.3	13.9	33.2	0

⑤ 動植物所有状況

動物 (頭羽数)										植物 (本数)									
肉牛		乳牛		馬		豚		鶏		パラーゴム		カカオ		椰子		丁字		ピメンタ	
仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	未	成	未	成	未	成	未	成	未	成
0	0	0	0	0	0.6	0	0	7.2	19.2	4275	1735	418	65	4.4	13.2	8.2	3.5	94.1	31.2

⑥ 負債状況

	長期借入金残高				短期借入金残高				借入金残高計	土地代残額	未払経費期末残額	負債計
	事業団	現地機関	個人他	小計	事業団	現地機関	個人他	小計				
平均	212	21	13	246	28	0	0	28	274	(分譲価未定)	0	274
最高	512	359	153	557	180	0	0	180	647		0	647
最低	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0

⑦ 農畜産物販売状況

	移住地売上順位	産物名	売上高 (平均)	売上高 (最高)	売上高 (最低)
短期作物	才1位	西瓜	63	449	0
	才2位	雑野菜	52	359	0
	才3位	マンジョカ粉	51	359	0
永年作物	才1位	ゴム	783	2,246	0
	才2位	柑橘	15	126	0
	才3位	カカオ	14	216	0
畜産物	才1位	鶏卵	4	66	0
	才2位				
	才3位				

⑧ 農業経営費

現金農業経営費										非現金農業経営費			合計
生産経費									販売経費	減価償却費	期末未払農業経営費	計	
雇用労賃	肥料代	農薬代	飼料代	燃料代	種苗種畜費	補助材料代	その他	小計					
265	90	21	4	12	2	10	33	437	33	32	0	32	502

⑨ 農家経済総括

	永年作物	短期作物	畜産物	現金農業粗収入計	非現金農業粗収入計	農業粗収入計	農業経営費	借入金利息	農業所得	農外収入	農外支出	農外所得	農家所得	家計費	(農家経済余剰)
平均	818	228	4	1,050	176	1,226	502	26	698	937	564	373	1,071	529	(542)
最高	2264	1,078	66	2713	675	3,031	1,645	105	1,516	8,086	5,660	2,426	2,895	1,568	
最低	0	0	0	68	0	80	105	0	-92	0	0	0	208	228	

移住地名　ピ　ウ　ン

調査対象期間	昭和44年1月～12月	入植戸数	10戸	調査戸数	10戸

1. 移住地概況

① 所在地	リオ・グランデ・ド・ノルテ州＝シア・フロレスタ郡　＜地図番号＞　㉒
② 管理機関	連邦政府
③ 入植開始年度	昭和31年
④ 面積	3,300 ha（1ロッテ＝12.5 ha）
⑤ 近傍市場	ナタール市（人口24万人　陸路22Km）

2. 地区営農概況

当地はメロン、スイカ等の特産地的な性格をもっていたが連作障害、他地区の生産増、市場における出荷時期の競合等の問題から収支は次オに悪くなりつつある。このため新品種の導入、栽培管理方法の改善とともに未利用の高台利用が急務である。

作付をみるとメロン等は年々減少し、トマト、スイカ、カボチャ等が増えている。入植者間にバナナ、カヂュー等の永年作物の増植及び導入気運が生れてきている。

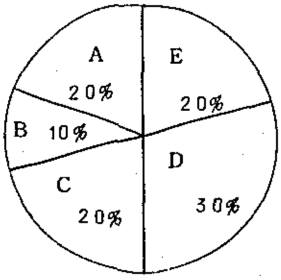


Fig1. 所得的階層分化の状況

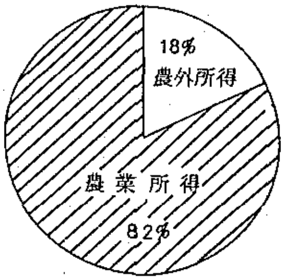


Fig2. 農家所得構成

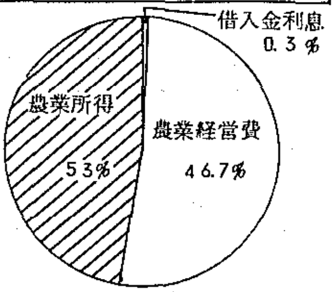


Fig3. 農業所得率

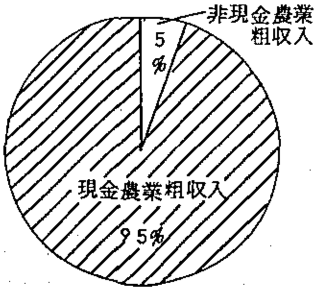


Fig4. 農業粗収入現金率

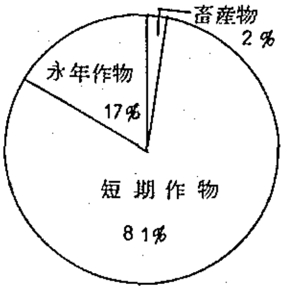


Fig5. 農畜産物販売状況

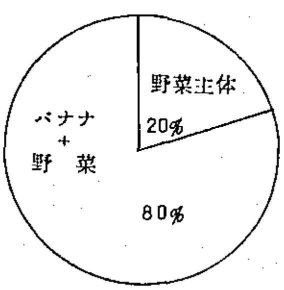


Fig6. 経営形態別農家構成

3. 農家経済の概況　（農家一戸当り平均）　　単位：千円

① 入植経過年月	10年11月	② 家族人数	4.7人	③農業換算労働人数	1.3人

④土地利用状況Ha	開墾地											未開墾地(含利用不能地)	所有地計	借地計
	耕地					耕地外					開墾地計			
	田	畑	樹園地	採草放牧地	小計	放牧地	植林地	宅地	廃耕地	小計				
	0	2.3	1.7	0	4.0	0	0	0.4	0	0.4	4.4	47.9	52.3	0.7

⑤動植物所有状況	動物（頭羽数）										植物（本数）									
	肉牛		乳牛		馬		豚		鶏		バナナ		ココヤシ							
	仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	未	成	未	成	未	成	未	成	未	成
	0	0	0	0.1	0	0.2	0	0	0	5	140	1,090	191	16						

⑥負債状況	長期借入金残高				短期借入金残高				借入金残高計	土地代残額	未払経費期末残額	負債計
	事業団	現地機関	個人他	小計	事業団	現地機関	個人他	小計				
平均	242	66	0	308	18	31	0	49	357	分譲価未定	2	359
最高	494	359	0	719	90	180	0	180	719		20	719
最底	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0

⑦農畜産物販売状況	移住地売上順位	産物名	売上高（平均）	売上高（最高）	売上高（最底）
短期作物	才1位	西瓜	261	988	0
	才2位	トマト	227	1,121	0
	才3位	メロン	167	431	0
永年作物	才1位	バナナ	177	584	0
	才2位	アバカテ	2	22	0
	才3位	ココヤシ	1	10	0
畜産物	才1位	鶏卵	18	180	0
	才2位				
	才3位				

⑧農業経営費	現金農業経営費										非現金農業経営費			合計
	生産経費									販売経費	減価償却費	期末未払農業経営費	計	
	雇用労賃	肥料代	農薬代	飼料代	燃料代	種苗種畜費	補助材料代	その他	小計					
	148	146	28	11	8	10	5	11	367	121	22	0	22	510

⑨農家経済総括	永年作物	短期作物	畜産物	現金農業粗収入計	非現金農業粗収入計	農業粗収入計	農業経営費	借入金利息	農業所得	農外収入	農外支出	農外所得	農家所得	家計費	(農家経済余剰)
平均	180	845	18	1,043	57	1,100	510	5	587	258	126	132	719	480	(239)
最高	606	2402	180	2,411	135	2502	970	18	1,783	1,797	1,258	539	1872	982	
最底	9	0	0	270	0	270	90	0	43	0	0	0	104	230	

移住地名 カ　ー　ボ

調査対象期間	昭和44年1月～12月	入植戸数	8戸	調査戸数	4戸

1. 移住地概況

① 所在地	ペルナンブーコ州カーボ郡	＜地図番号＞　㉓
② 管理機関	州政府	
③ 入植開始年度	昭和39年	
④ 面積	3,500ha（1ロッテ＝10ha）	
⑤ 近傍市場	レシーフェ市（人口110万人、陸路35Km）	

2. 地区営農概況

近郊的農業を進めており、蔬菜（スイカ、メロン、ピーマン、トマト等）養鶏、果樹等が行われている。レシフェー市場向であるが戸数がまとまっていないため歩調を揃えて出荷ができず各戸の才覚によっている。
しかし、立地を活かした営農振りで特に懸念するようなことはない。

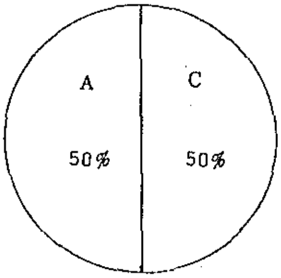


Fig1. 所得的階層分化の状況

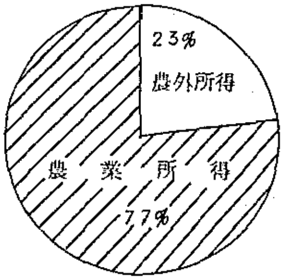


Fig2. 農家所得構成

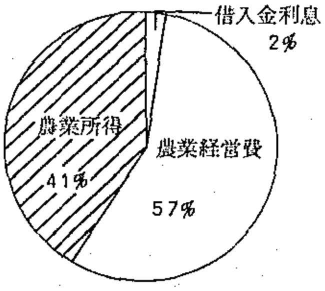


Fig3. 農業所得率

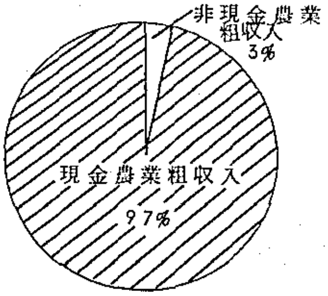


Fig4. 農業粗収入現金率

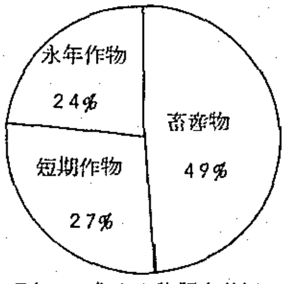


Fig5. 農畜産物販売状況

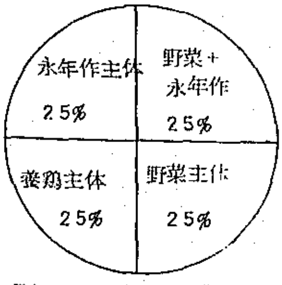


Fig6. 経営形態別農家構成

3. 農家経済の概況 （農家一戸当り平均）

単位：千円

① 入植経過年月	3年10月	② 家族人数	5.2人	③農業換算労働人数	2.1人

④ 土地利用状況 H

開墾地											未開墾地（含利用不能地）	所有地計	借地計
耕地					耕地外					開墾地計			
田	畑	樹園地	採牧草地	小計	放牧地	植林地	宅地	廃耕地	小計				
0	1.5	2.6	0	4.1	0	0	0.6	0	0.6	4.7	17.2	21.9	0

⑤ 動植物所有状況

動物（頭羽数）										植物（本数）									
肉牛		乳牛		馬		豚		鶏		柑橘		バナナ		ゴヤバ					
仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	未	成	未	成	未	成	未	成	未	成
0	0	0	0	0	0	0	0	0	500	238	300	500	1000	420	0				

⑥ 負債状況

	長期借入金残高				短期借入金残高				借入金残高計	土地代残額	未払経費期末残額	負債計
	事業団	現地機関	個人他	小計	事業団	現地機関	個人他	小計				
平均	345	270	0	615	52	0	0	52	667	373	0	1,040
最高	449	539	0	988	135	0	0	135	988	801	0	1,789
最底	225	0	0	225	0	0	0	0	225	183	0	462

⑦ 農畜産物販売状況

	移住地売上順位	産物名	売上高（平均）	売上高（最高）	売上高（最底）
短期作物	才1位	メロン	254	476	0
	才2位	西瓜	130	288	0
	才3位	ピーマン	101	225	0
永年作物	才1位	マラクジャ	427	1,707	0
	才2位	柑橘	49	108	0
	才3位	バナナ	3	11	0
畜産物	才1位	鶏卵	959	3,837	0
	才2位				
	才3位				

⑧ 農業経営費

現金農業経営費										非現金農業経営費			合計
生産経費									販売経費	減価償却費	期末未払農業経営費	計	
雇用労賃	肥料代	農薬代	飼料代	燃料代	種苗種畜費	補助材料代	その他	小計					
146	55	8	618	19	19	12	31	908	116	121	0	121	1,145

⑨ 農家経済総括

	永年作物	短期作物	畜産物	現金農業粗収入計	非現金農業粗収入計	農業粗収入計	農業経営費	借入金利息	農業所得	農外収入	農外支出	農外所得	農家所得	家計費	（農家経済余剰）
平均	479	523	959	1961	63	2024	1,145	50	829	292	49	243	1072	530	(542)
最高	1,707	997	3837	4016	78	4094	2729	117	1,558	1,168	198	970	1,558	618	
最底	11	18	0	29	45	74	228	11	−165	0	0	0	622	407	

移住地名　レシーフェ近郊

調査対象期間	昭和44年1月～12月	入植戸数	19戸	調査戸数	8戸

1. 移　住　地　概　況

① 所　在　地		＜地図番号＞　㉔
② 管　理　機　関		
③ 入植開始年度		
④ 面　　　積		
⑤ 近　傍　市　場		

2. 地　区　営　農　概　況

近郊の利点をいかし蔬菜（トマト、スイカ、メロン等）果樹（柑橘パパイヤ等）養鶏等が行なわれており市況にうまく対処している。

特にメロンなどはカーボ、ピウン等が作付できない時期一端境期出荷を行ない高収益をあげている。養鶏は飼料高で収支面では芳しくなかった。

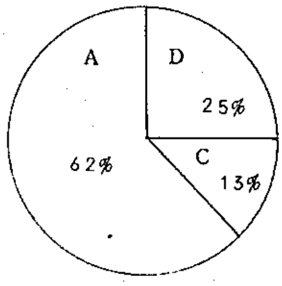


Fig1. 所得的階層分化の状況

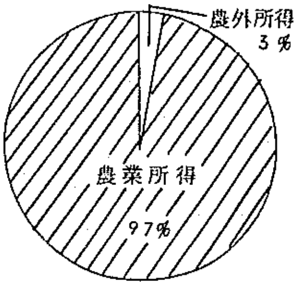


Fig2. 農家所得構成

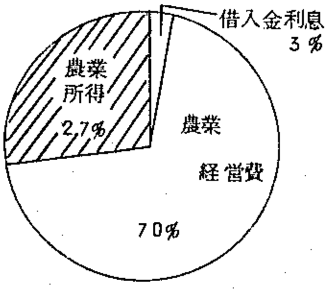


Fig3. 農業所得率

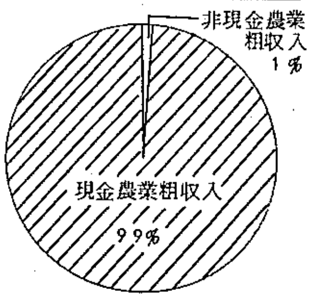


Fig4. 農業粗収入現金率

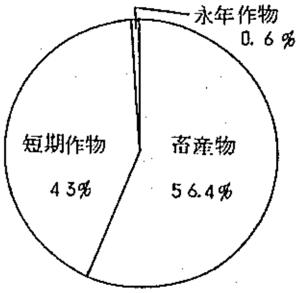


Fig5. 農畜産物販売状況

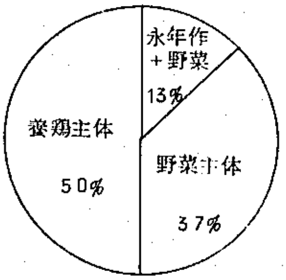


Fig6. 経営形態別農家構成

3. 農家経済の概況　（農家一戸当り平均）

単位：千円

① 入植経過年月	3年8月	② 家族人数	6.6人	③農業換算労働人数	2.0人

④ 土地利用状況 Ha

開墾地											未開墾地(含利用不能地)	所有地計	借地計
耕地					耕地外					開墾地計			
田	畑	樹園地	採草地	小計	放牧地	植林地	宅地	廃耕地	小計				
0	7.4	1.2	0.3	8.9	1.3	0.2	0.3	0	1.8	10.7	11.1	21.8	0

⑤ 動植物所有状況

動物（頭羽数）										植物（本数）									
肉牛		乳牛		馬		豚		鶏		柑橘		バナナ		椰子		パパイヤ		ゴヤバ	
仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	未	成	未	成	未	成	未	成	未	成
0	0	0	0.3	0	0.3	0	2.1	188	1350	125	91	63	13	5	13	0	188	38	0

⑥ 負債状況

	長期借入金残高				短期借入金残高				借入金残高計	土地代残額	未払経費期末残額	負債計
	事業団	現地機関	個人他	小計	事業団	現地機関	個人他	小計				
平均	322	894	0	1,216	53	221	202	476	1.692	0	227	1,919
最高	629	1,887	0	2,156	314	880	1,617	2,102	3,567	0	1,698	3,596
最底	90	162	0	404	0	0	0	0	512	0	0	512

⑦ 農畜産物販売状況

	移住地売上順位	産物名	売上高（平均）	売上高（最高）	売上高（最底）
短期作物	才1位	トマト	1,641	7,916	0
	才2位	西瓜	510	3,145	0
	才3位	メロン	189	1,142	0
永年作物	才1位	パパイヤ	20	157	0
	才2位	柑橘	13	103	0
	才3位	アバカテ	3	27	0
畜産物	才1位	鶏卵	3,247	14,921	0
	才2位	鶏肉	338	1,887	0
	才3位	豚	25	99	0

⑧ 農業経営費

現金農業経営費										非現金農業経営費			合計
生産経費									販売経費	減価償却費	期末未払農業経営費	計	
雇用労賃	肥料代	農薬代	飼料代	燃料代	種苗種畜費	補助材料代	その他	小計					
357	367	180	2663	77	156	79	81	3960	298	319	0	319	4,577

⑨ 農家経済総括

	永年作物	短期作物	畜産物	現金農業粗収入計	非現金農業粗収入計	農業粗収入計	農業経営費	借入金利息	農業所得	農外収入	農外支出	農外所得	農家所得	家計費	(農家経済余剰)
平均	40	2,765	3,610	6,415	68	6,483	4,577	176	1,730	58	0	58	1,788	617	(1,171)
最高	261	8,150	16,808	16,808	108	16,885	14,411	437	3,458	225	0	225	3,477	1,098	
最底	0	0	0	645	32	678	346	4	327	0	0	0	373	283	

移住地名　グァタパラ

調査対象期間	昭和44年1月～12月	入植戸数	122戸	調査戸数	64戸

1. 移住地概況

① 所在地	サンパウロ州・リベロンプレット郡　＜地図番号＞　㉕
② 管理機関	事業団
③ 入植開始年度	昭和36年
④ 面積	7,294ha（1ロッテ＝12.5ha）
⑤ 近傍市場	サンパウロ市(人口650万人、陸路290Km)、リベロン・プレット市(人口20万人、陸路50Km)

2. 地区営農概況

本年は年初以来カンバツ気味であったが、7月～9月は最も甚く80年来の干バツといわれた。このため、当移住地の主作目である米作、特に早生稲作がかなりの影響を受けた。一方、蔬菜（キャベツ、トマト、イチゴ等）は生産量は少なかったが高値で推移した。この異常天候も10月以降は順調な降雨があり、営農も次第に好転しつつある。

なお、同じく主作目である養鶏は飼料高、卵価安で収支は悪かった。

その他養蚕は干バツのため不調であった。（但し12月以降掃立が期待される。）柑橘類は管理不十分と価格安で伸び悩んだ。

但し、雑作（とうもろこし、落花生、大豆等）及びにんにくはほぼ良好であった。

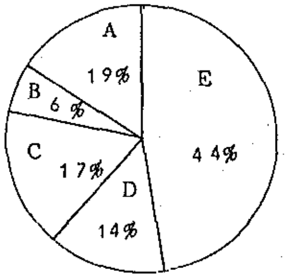


Fig1. 所得的階層分化の状況

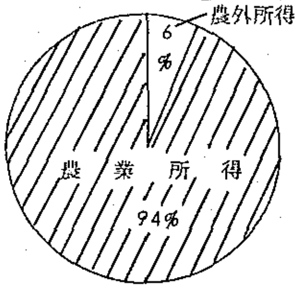


Fig2. 農家所得構成

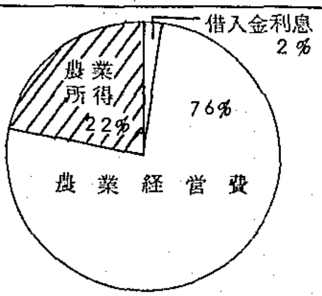


Fig3. 農業所得率

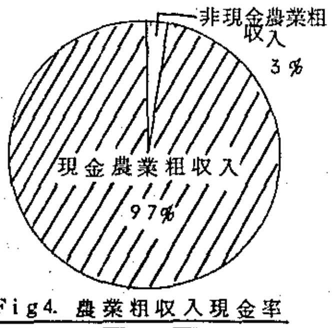


Fig4. 農業粗収入現金率

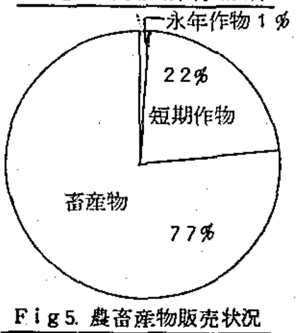


Fig5. 農畜産物販売状況

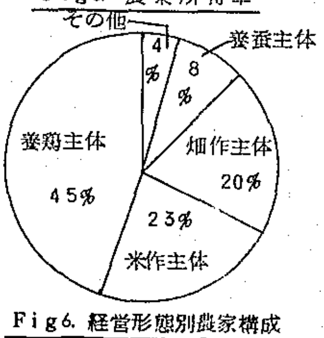


Fig6. 経営形態別農家構成

3. 農家経済の概況　（農家一戸当り平均）

単位：千円

① 入植経過年月	6年6月	② 家族人数	5.6人	③農業換算労働人数	2.7人

④土地利用状況Ha

開墾地											未開墾地（含利用不能地）	所有地計	借地計
耕地					耕地外					開墾地計			
田	畑	樹園地	採草牧草地	小計	放牧地	植林地	宅地	廃耕地	小計				
3.0	2.0	0.8	0	5.8	0	0.1	1.0	1.0	2.1	7.9	7.6	13.4	1.0

⑤動植物所有状況

動物（頭羽数）										植物（本数）									
肉牛		乳牛		馬		豚		鶏		ブドウ		柑橘		その他					
仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	未	成	未	成	未	成	未	成	未	成
0	0	0	0.02	0.02	0.5	1.3	3.7	489	1373	8.1	11.9	12.8	26.7	0	1.4				

⑥負債状況

	長期借入金残高				短期借入金残高				借入金残高計	土地代残額	未払経費期末残額	負債計
	事業団	現地機関	個人他	小計	事業団	現地機関	個人他	小計				
平均	631	105	269	1,005	48	445	5	498	1,503	950	90	2,543
最高	1,303	1,006	988	1,752	359	2,866	99	2,965	3,207	2,084	225	6,424
最底	148	0	0	270	0	0	0	0	.359	521	0	1,096

⑦農畜産物販売状況

	移住地売上順位	産物名	売上高（平均）	売上高（最高）	売上高（最底）
短期作物	才1位	米	279	1,545	0
	才2位	マユ	68	809	0
	才3位	玉葱	53	842	0
永年作物	才1位	柑橘	8	377	0
	才2位	ブドウ	7	404	0
	才3位				
畜産物	才1位	鶏卵	1,985	13,522	0
	才2位	豚	75	1,253	0
	才3位	廃鶏	65	418	0

⑧農業経営費

現金農業経営費										非現金農業経営費			合計
生産経費									販売経費	減価償却費	期末未払農業経営費	計	
雇用労賃	肥料代	農薬代	飼料代	燃料代	種苗種畜費	補助材料代	その他	小計					
86	110	45	1205	48	148	8	88	1738	394	83	11	94	2,226

⑨農家経済総括

	永年作物	短期作物	畜産物	現金農業粗収入計	非現金農業粗収入計	農業粗収入計	農業経営費	借入金利息	農業所得	農外収入	農外支出	農外所得	農家所得	家計費	（農家経済余剰）
平均	15	626	2,195	2836	83	2919	2226	58	635	42	0	42	677	402	(275)
最高	404	3,316	14,492	14,492	629	14,600	11,343	629	3,951	341	0	341	4243	633	
最底	0	0	0	0	0	58	82	0	−691	0	0	0	−691	169	

移住地名　バルビア・アレグレ

調査対象期間	昭和44年1月～12月	入植戸数	32戸	調査戸数	30戸

1. 移住地概況

① 所在地	マット・グロッソ州テレーノス郡	＜地図番号＞ ㉖
② 管理機関	事業団	
③ 入植開始年度	昭和34年	
④ 面積	36,363 ha (1ロッテ=25 ha)	
⑤ 近傍市場	カンポグランデ市 (人口12万人、陸路60Km)	

2. 地区営農概況

7～8月ヤツカ (干バツ) に見舞われたが、年間を通じてみると降雨に恵まれた。
陸稲、とうもろこし、棉等は作柄も良く予定の収入を挙げられた。一方主作目である養鶏は年末にいたり飼料高で収支面が悪くなったが鶏卵のサンパウロ出荷など売行きはまずまずであった。ポンカンも収穫出荷中である。他にブドウ、コヤバ等がとり入れられつつある。

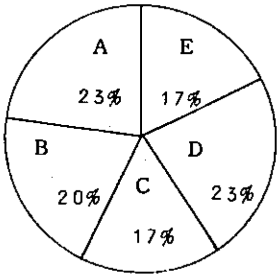


Fig1. 所得的階層分化の状況

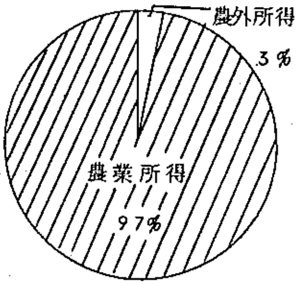


Fig2. 農家所得構成

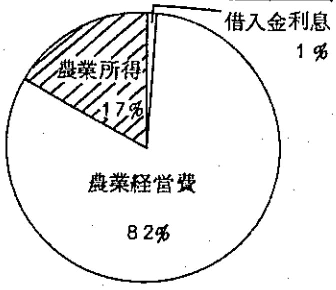


Fig3. 農業所得率

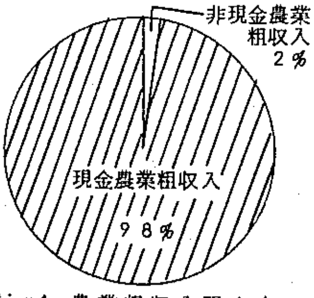


Fig4. 農業粗収入現金率

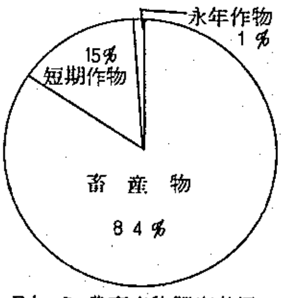


Fig5. 農畜産物販売状況

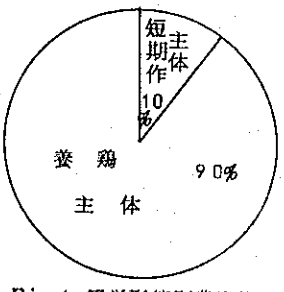


Fig6. 経営形態別農家構成

3. 農家経済の概況　(農家一戸当り平均)

単位：千円

① 入植経過年月	9年4月	② 家族人数	5.7人	③農業換算労働人数	2.9人

④土地利用状況Ha	開墾地											未開墾地(含利用不能地)	所有地計	借地計
	耕地					耕地外					開墾地計			
	田	畑	樹園地	採牧草地	小計	放牧地	植林地	宅地	廃耕地	小計				
	0	6.4	0.9	0	7.3	0.8	0	0.9	8.9	10.6	17.9	7.3	25.2	0

⑤動植物所有状況	動物(頭羽数)										植物(本数)									
	肉牛		乳牛		馬		豚		鶏		ポンカン		ブドウ		レモン		柑橘		ゴヤバ	
	仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	未	成	未	成	未	成	未	成	未	成
	2.5	3.3	0.03	0.2	0	0.5	0.2	0.4	1,570	2,710	65	7	23	0	5	0	85	74	87	7.7

⑥負債状況	長期借入金残高				短期借入金残高				借入金残高計	土地代残額	未払経費期末残額	負債計
	事業団	現地機関	個人他	小計	事業団	現地機関	個人他	小計				
平均	297	185	9	491	0	199	27	226	717	449	7	1,173
最高	1,527	1,617	270	2,156	0	3,234	270	3,234	4,852	865	180	4,852
最底	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

⑦農畜産物販売状況	移住地売上順位	産物名	売上高(平均)	売上高(最高)	売上高(最底)
短期作物	才1位	とうもろこし	268	5,010	0
	才2位	棉	200	3,055	0
	才3位	米	149	3,227	0
永年作物	才1位	柑橘	55	809	0
	才2位				
	才3位				
畜産物	才1位	鶏卵	3,824	10,345	0
	才2位	廃鶏	194	629	0
	才3位	鶏ふん	12	129	0

⑧農業経営費	現金農業経営費										非現金農業経営費			合計
	生産経費									販売経費	減価償却費	期末未払農業経営費	計	
	雇用労賃	肥料代	農薬代	飼料代	燃料代	種苗種畜費	補助材料代	その他	小計					
	116	49	196	2493	96	291	59	1	3301	613	69	0	69	3,983

⑨農家経済総括	永年作物	短期作物	畜産物	現金農業粗収入計	非現金農業粗収入計	農業粗収入計	農業経営費	借入金利息	農業所得	農外収入	農外支出	農外所得	農家所得	家計費	(農家経済余剰)
平均	58	709	4041	4808	96	4904	3,983	71	850	29	0	29	879	—	—
最高	854	7,788	10704	10704	135	10803	9,309	539	3,143	449	0	449	3,143	—	
最底	0	0	0	1,078	27	1,123	568	0	180	0	0	0	38	—	

移住地名　オウリーニョス

調査対象期間	昭和44年1月～12月	入植戸数	19戸	調査戸数	18戸

1. 移住地概況

① 所在地	サンパウロ州オウリーニョス郡　　　＜地図番号＞　㉗
② 管理機関	オウリーニョス産組
③ 入植開始年度	昭和36年
④ 面積	239ha（1ロッテ＝10ha）
⑤ 近傍市場	オウリーニョス市（人口5万人、陸路7Km）、サンパウロ市（人口650万人、陸路380Km）

2. 地区営農概況

7～8月の霜害でコーヒが大被害を受けた。このため収入をあげられなかった。ポンカン、ブドウ、レモン等の果樹は平年作以下であった。

野菜はオウリーニョス市向に出荷され、ほぼ順調に販売された。この他、雑作として落花生、フエイジョンがみられる。

養鶏は依然として飼料高で苦しんでおり、収支面では芳ばしくなかった。

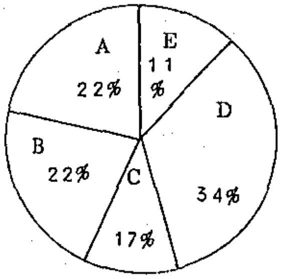


Fig1. 所得的階層分化の状況

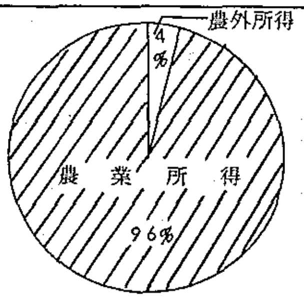


Fig2. 農家所得構成

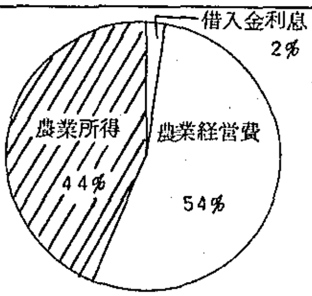


Fig3. 農業所得率

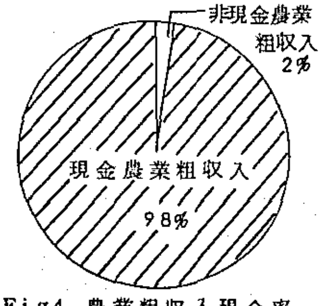


Fig4. 農業粗収入現金率

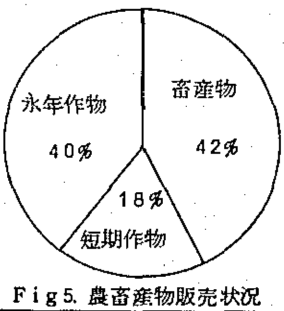


Fig5. 農畜産物販売状況

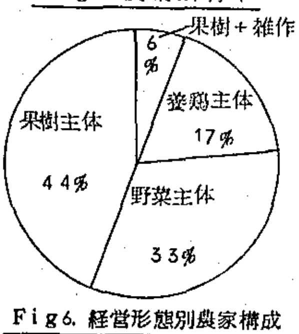


Fig6. 経営形態別農家構成

3. 農家経済の概況　（農家一戸当り平均）

単位：千円

① 入植経過年月	6年9月	② 家族人数	5.4人	③農業換算労働人数	3.2人

④ 土地利用状況 Ha

開墾地											未開墾地（含利用不能地）	所有地計	借地計
耕地					耕地外					開墾地計			
田	畑	樹園地	採牧草地	小計	放牧地	植林地	宅地	廃耕地	小計				
0	4.9	5.8	0	10.7	0	0	0.5	1.3	1.8	12.5	0	12.5	0

⑤ 動植物所有状況

動物（頭羽数）										植物（本数）									
肉牛		乳牛		馬		豚		鶏		コーヒー		ポンカン		ブドウ		ゴヤバ		レモン	
仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	未	成	未	成	未	成	未	成	未	成
0	0	0	0	0	1.1	0.4	1.1	184	563	0	1,625	82	431	526	354	3	16	100	46

⑥ 負債状況

	長期借入金残高				短期借入金残高				借入金残高計	土地代残額	未払経費期末残額	負債計
	事業団	現地機関	個人他	小計	事業団	現地機関	個人他	小計				
平均	369	482	15	866	0	122	3	125	991	0	0	991
最高	898	1,635	270	2,066	0	791	45	791	2,066	0	0	2,066
最底	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

⑦ 農畜産物販売状況

	移住地売上順位	産物名	売上高（平均）	売上高（最高）	売上高（最底）
短期作物	才1位	フェジョン	159	916	0
	才2位	野菜類	69	863	0
	才3位	落花生	67	467	0
永年作物	才1位	ポンカン	388	1,213	0
	才2位	ブドウ	190	1,168	0
	才3位	レモン	78	719	0
畜産物	才1位	鶏卵	815	9,182	0
	才2位	廃鶏	34	431	0
	才3位	鶏糞	32	440	0

⑧ 農業経営費

現金農業経営費										非現金農業経営費			合計
生産経費									販売経費	減価償却費	期末未払農業経営費	計	
雇用労賃	肥料代	農薬代	飼料代	燃料代	種苗種畜費	補助材料代	その他	小計					
77	109	38	569	50	44	30	37	954	151	69	0	69	1,174

⑨ 農家経済総括

	永年作物	短期作物	畜産物	現金農業粗収入計	非現金農業粗収入計	農業粗収入計	農業経営費	借入金利息	農業所得	農外収入	農外支出	農外所得	農家所得	家計費	（農家経済余剰）
平均	842	373	899	2,114	40	2,154	1,174	43	937	51	10	41	978	385	(593)
最高	2,614	1,581	10,054	11,360	119	11,450	8,416	252	2,819	898	180	719	2,819	932	
最底	0	0	0	52	11	63	63	0	−276	0	0	0	−232	170	

移住地名 ピニヤール

調査対象期間	昭和44年1月～12月	入植戸数	48戸	調査戸数	29戸

1. 移住地概況

① 所在地	サンパウロ州サン・ミゲル・ド・アルカンジョ郡	＜地図番号＞ ㉘
② 管理機関	事業団	
③ 入植開始年度	昭和37年	
④ 面積	756 ha (1ロッテ=10.5～12.4 ha)	
⑤ 近傍市場	サンパウロ市 (人口650万人、陸路160Km)	

2. 地区営農概況

7月及び8月の降霜で蔬菜を主体に被害を蒙った。イチゴは8割の被害、トマト苗は20万本の被害等であった。しかし霜害にめげず補植等を進め、雨後かなりの実績をあげた。上半期（1～6月）はイタリヤブドウが霜害に拘らず平年並の収穫をあげ、トマト、エンドウ、人参も活況を呈した。ポンカンは安値だった。桃は平年並であった。

入植者の多くはまたイタリヤ・ブドウ、リンゴ等を積極的に増植しており、特産地化に努力している。この他玉ネギ等の蔬菜、養鶏など目覚ましい多角経営が進められている。

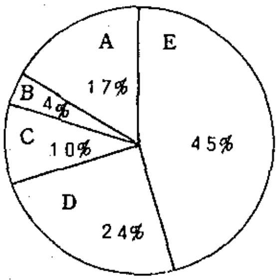


Fig1. 所得的階層分化の状況

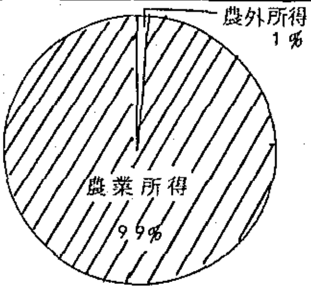


Fig2. 農家所得構成

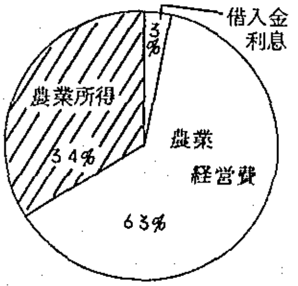


Fig3. 農業所得率

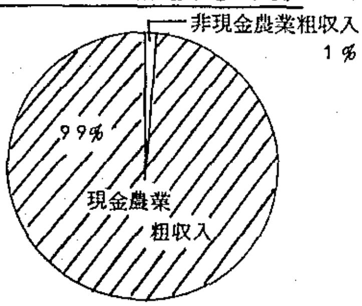


Fig4. 農業粗収入現金率

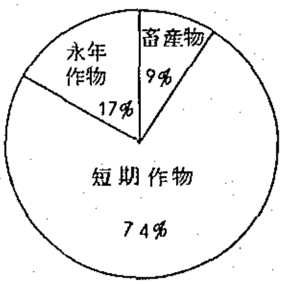


Fig5. 農畜産物販売状況

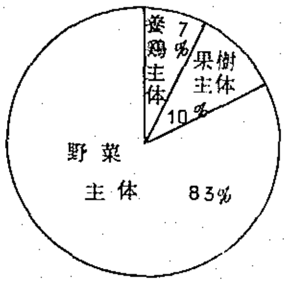


Fig6. 経営形態別農家構成

3. 農家経済の概況 (農家一戸当り平均)

単位：千円

① 入植経過年月	6年11月	② 家族人数	4.8人	③農業換算労働人数	2.6人

④ 土地利用状況 Ha

開墾地											未開墾地 (含利用不能地)	所有地計	借地計
耕地					耕地外					開墾地計			
田	畑	樹園地	採牧草地	小計	放牧地	植林地	宅地	廃耕地	小計				
0	3.9	1.5	0	5.4	0	0	0.5	0.02	0.52	5.92	7.9	13.82	0.1

⑤ 動植物所有状況

動物 (頭羽数)										植物 (本数)									
肉牛		乳牛		馬		豚		鶏		イタリヤブドウ		モモ		ポンカン		リンゴ		ビワ	
仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	未	成	未	成	未	成	未	成	未	成
0	0	0	0	0	0.2	0.7	0.5	21	156	400	126	0	11	25	101	24	14	3	3

⑥ 負債状況

	長期借入金残高				短期借入金残高				借入金残高計	土地代残額	未払経費期末残額	負債計
	事業団	現地機関	個人他	小計	事業団	現地機関	個人他	小計				
平均	152	205	31	388	6	138	0	144	532	535	12	1,079
最高	449	1,258	539	1,258	180	629	0	629	1,258	744	359	1,832
最底	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

⑦ 農畜産物販売状況

	移住地売上順位	産物名	売上高 (平均)	売上高 (最高)	売上高 (最底)
短期作物	才1位	トマト	1,364	7,727	0
	才2位	人参	67	13,477	0
	才3位	イチゴ	49	2,156	0
永年作物	才1位	イタリヤ・ブドウ	277	2,830	0
	才2位	桃	42	674	0
	才3位	ポンカン	23	503	0
畜産物	才1位	鶏卵	163	2,156	0
	才2位	廃鶏	10	162	0
	才3位	豚	3	54	0

⑧ 農業経営費

現金農業経営費										非現金農業経営費			合計
生産経費									販売経費	減価償却費	期末未払農業経営費	計	
雇用労賃	肥料代	農薬代	飼料代	燃料代	種苗種畜費	補助材料代	その他	小計					
139	262	102	114	52	19	29	45	762	452	89	0	89	1,303

⑨ 農家経済総括

	永年作物	短期作物	畜産物	現金農業粗収入計	非現金農業粗収入計	農業粗収入計	農業経営費	借入金利息	農業所得	農外収入	農外支出	農外所得	農家所得	家計費	(農家経済余剰)
平均	342	1,533	190	2,065	14	2,079	1,303	63	713	9	0	9	722	303	(419)
最高	3,154	7,830	2,334	8,697	31	8,724	4,974	638	4,482	270	0	270	4,482	774	
最底	0	0	0	112	0	116	132	0	-818	0	0	0	-548	121	

移住地名　ジャカレイ

調査対象期間	昭和44年1月～12月	入植戸数	33戸	調査戸数	23戸

1. 移住地概況

① 所在地	サンパウロ州ジャカレイ郡	＜地図番号＞　㉙
② 管理機関	事業団	
③ 入植開始年度	昭和36年	
④ 面積	613ha（1ロッテ＝5.9～8.2ha）	
⑤ 近傍市場	ジャカレイ市（人口7万人、陸路5Km）、サンパウロ市（人口650万人、陸路67Km）	

2. 地区営農概況

年初の雹害7～8月の霜害、11月の多雨など災害に見舞われた。しかし、入植者の多くはこれにめげず頑張っている。当地の作目は多様で蔬菜、花卉、養鶏、果樹等があげられる。上半期（1～6月）、イタリアブドウは雹害により収量減であったが価格は高かった。下半期の桃は生育よくなかったが高値だった。

当地はアチバイヤ、ジコンジャイ、ピエダーデ　に次ぐイチゴの特産地になりつつある。また　花卉栽培が増えつつあり蔬菜（イチゴ、トマト、キウリ、エンドウ等）を追いこし、大きなウエイトを占めつつある。養鶏は他地区と同じく飼料高の問題で収支面は悪くその他合理化が急がれている。

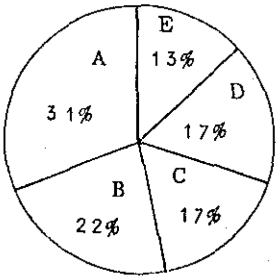


Fig1. 所得的階層分化の状況

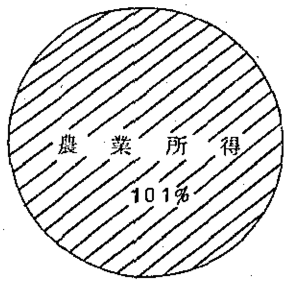


Fig2. 農家所得構成

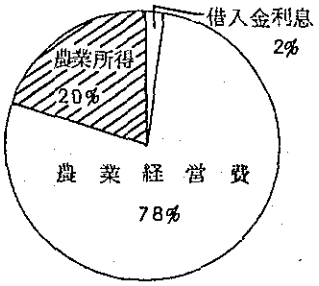


Fig3. 農業所得率

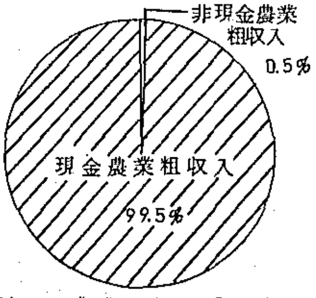


Fig4. 農業粗収入現金率

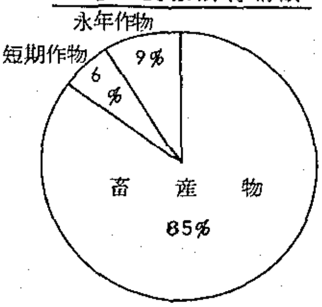


Fig5. 農畜産物販売状況

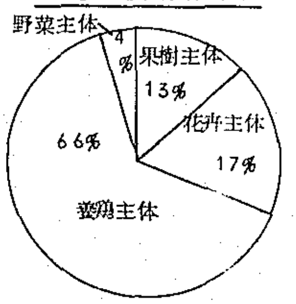


Fig6. 経営形態別農家構成

3. 農家経済の概況 （農家一戸当り平均）

単位：千円

① 入植経過年月	7年9月	② 家族人数	5.3人	③農業換算労働人数	3.4人

④ 土地利用状況 Ha

開墾地											未開墾地（含利用不能地）	所有地計	借地計
耕地					耕地外					開墾地計			
田	畑	樹園地	採草地	小計	放牧地	植林地	宅地	廃耕地	小計				
0.1	0.9	1.3	0.1	2.4	0	0.1	0.5	1.6	2.2	4.6	3.5	8.1	0

⑤ 動植物所有状況

動物（頭羽数）										植物（本数）									
肉牛		乳牛		馬		豚		鶏		ポンカン		柿		桃		ゴヤバ		ブドウ	
仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	未	成	未	成	未	成	未	成	未	成
0	0	0	0	0	0.04	2.7	2.0	1835	3057	0	87	0	17	0	54	0	33	75	167

⑥ 負債状況

	長期借入金残高				短期借入金残高				借入金残高計	土地代残額	未払経費期末残額	負債計
	事業団	現地機関	個人他	小計	事業団	現地機関	個人他	小計				
平均	429	440	137	1,006	18	179	58	255	1,261	931	18	2,210
最高	1,078	2,965	1,797	2,965	314	1,159	1,168	2,066	2,965	1,697	283	3,548
最底	0	0	0	0	0	0	0	0	135	0	0	868

⑦ 農畜産物販売状況

	移住地売上順位	産物名	売上高（平均）	売上高（最高）	売上高（最底）
短期作物	才1位	花	362	2,763	0
	才2位	イチゴ	70	728	0
	才3位	トマト	23	539	0
永年作物	才1位	ブドウ	352	3,953	0
	才2位	桃	145	1,932	0
	才3位	ゴヤバ	75	1,348	0
畜産物	才1位	肉鶏	2,953	14,016	0
	才2位	鶏卵	2,837	28,463	0
	才3位	廃鶏	200	2,156	0

⑧ 農業経営費

現金農業経営費										非現金農業経営費			合計
生産経費									販売経費	減価償却費	期末未払農業経営費	計	
雇用労賃	肥料代	農薬代	飼料代	燃料代	種苗種畜費	補助材料代	その他	小計					
187	120	91	3,465	58	714	154	51	4840	873	91	0	91	5,804

⑨ 農家経済総括

	永年作物	短期作物	畜産物	現金農業粗収入計	非現金農業粗収入計	農業粗収入計	農業経営費	借入金利息	農業所得	農外収入	農外支出	農外所得	農家所得	家計費	（農家経済余剰）
平均	644	459	6271	7,374	34	7,408	5804	125	1,479	5	14	−9	1,470	558	(912)
最高	3,953	2942	31,374	31,823	90	31,886	24,154	674	7,329	108	225	108	7,329	1,312	
最底	0	0	0	1,078	0	1,096	841	11	67	0	0	−225	−128	225	

移住地名　日　　光

調査対象期間	昭和44年1月～12月	入植戸数	41戸	調査戸数	29戸

1. 移　住　地　概　況

① 所　在　地	パラナ州ウムアラマ郡　　　　＜地図番号＞　㉚
② 管　理　機　関	日光産組（集団的独立）
③ 入植開始年度	昭和37年
④ 面　　　積	905 ha（1ロッテ＝12.5 ha）
⑤ 近　傍　市　場	ウム・アラマ市（人口2万人、陸路40Km）

2. 地　区　営　農　概　況

コーヒーを主作とした経営であるが7～8月の南伯を襲った大寒波で被害を蒙った。
他作物も同様で防霜対策が痛感されている。
主として間作々物である棉、フェイジョン、落花生等は平年並であった。なお、ブドウが認識されつつある。畜産は自給の域を脱していない。

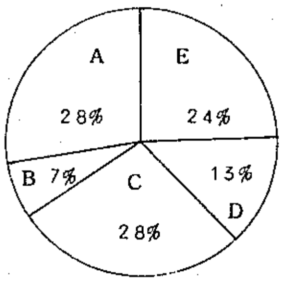


Fig1. 所得的階層分化の状況

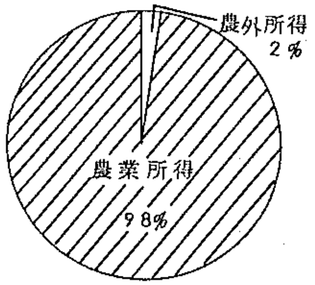


Fig2. 農家所得構成

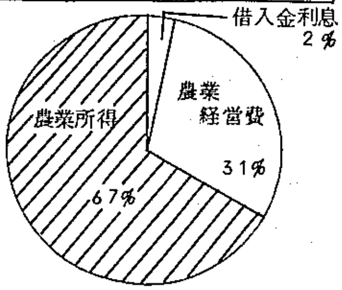


Fig3. 農業所得率

Fig4. 農業粗収入現金率

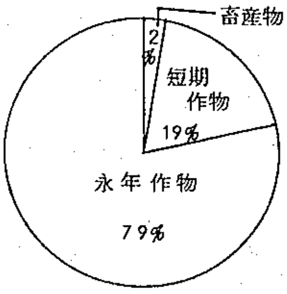


Fig5. 農畜産物販売状況

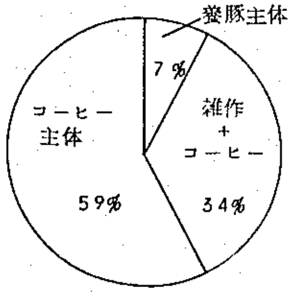


Fig6. 経営形態別農家構成

3. 農家経済の概況　(農家一戸当り平均)

単位：千円

① 入植経過年月	7年4月	② 家族人数	7.2人	③農業換算労働人数	3.8人

④ 土地利用状況 Ha

開墾地											未開墾地(含利用不能地)	所有地計	借地計
耕地					耕地外					開墾地計			
田	畑	樹園地	採草放牧地	小計	放牧地	植林地	宅地	廃耕地	小計				
0	5.3	16.2	0	21.5	1.1	0	0.7	0.2	2.0	23.5	3.9	27.4	0

⑤ 動植物所有状況

動物 (頭羽数)										植物 (本数)									
肉牛		乳牛		馬		豚		鶏		コーヒー		ブドウ(ナイアガラ)		ブドウ(イタリア)		ポンカン		バナナ	
仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	未	成	未	成	未	成	未	成	未	成
0	0.2	0	0.1	0	0.8	4.3	8.3	3	22	3555	6910	49	45	52	50	0.3	1	12	19

⑥ 負債状況

	長期借入金残高				短期借入金残高				借入金残高計	土地代残額	未払経費期末残額	負債計
	事業団	現地機関	個人他	小計	事業団	現地機関	個人他	小計				
平均	15	280	5	300	0	107	0	107	407	111	24	542
最高	314	1,617	135	1,617	0	494	0	494	1,617	1,797	629	1,797
最底	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

⑦ 農畜産物販売状況

	移住地売上順位	産物名	売上高 (平均)	売上高 (最高)	売上高 (最底)
短期作物	才1位	綿	96	809	0
	才2位	フェジョン	77	970	0
	才3位	落花生	58	275	0
永年作物	才1位	コーヒー	1,252	10,781	0
	才2位	ブドウ	67	674	0
	才3位	バナナ	5	135	0
畜産物	才1位	豚	33	355	0
	才2位				
	才3位				

⑧ 農業経営費

現金農業経営費										非現金農業経営費			合計
生産経費									販売経費	減価償却費	期末未払農業経営費	計	
雇用労賃	肥料代	農薬代	飼料代	燃料代	種苗種畜費	補助材料代	その他	小計					
263	71	32	14	28	5	15	13	441	64	31	0	31	536

⑨ 農家経済総括

	永年作物	短期作物	畜産物	現金農業粗収入計	非現金農業粗収入計	農業粗収入計	農業経営費	借入金利息	農業所得	農外収入	農外支出	農外所得	農家所得	家計費	(農家経済余剰)
平均	1,134	271	34	1,439	349	1,788	536	55	1,197	48	19	29	1,226	346	(880)
最高	10,781	934	355	11,166	4,932	11,206	2,453	280	8529	539	225	539	2388	1,123	
最底	0	0	0	11	0	45	0	0	25	0	0	−225	57	91	

移住地名 フンシャル

調査対象期間	昭和44年1月～12月	入植戸数	42戸	調査戸数	40戸

1. 移住地概況

① 所在地	リオ・デ・ジャネイロ州カショエイラ・デ・マカク郡 <地図番号> ㉛
② 管理機関	事業団
③ 入植開始年度	昭和34年
④ 面積	1,015 ha（1ロッテ＝6.2～16.9 ha）
⑤ 近傍市場	リオ・デ・ジャネイロ市（人口420万人、陸路90Km）

2. 地区営農概況

大消費都市リオ・デ・ジャネイロ市を控えた近郊農業地域にあり蔬菜、養鶏、パイナップル、ゴヤバ、柑橘類などを主作物としている。本年は養鶏農家に厳しい年で1～5月の高卵価が6月以降下落し、本年に至っても低調であった。また、フランゴ（食肉鶏）も同様であった。コチア産組は養鶏農家に対する債権回収に厳しい態度を示している。一方蔬菜（サヤインゲン、キュウリ等）は年初以来堅調で7月の南伯霜害も関係し当地蔬菜は年末まで高価格で推移した。

また、本調査においてゴヤバが永年作物の一つとなりつつあることがわかる。

ゴヤバは本年豊作で販売も良く、価格も高かった。入植者は均しく営農改善に関心を抱きつつある。

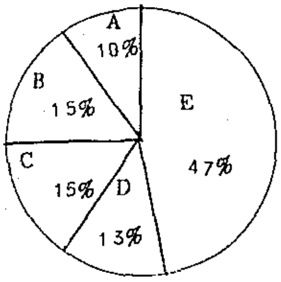


Fig1. 所得的階層分化の状況

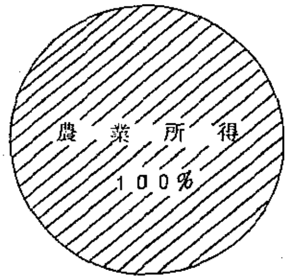


Fig2. 農家所得構成

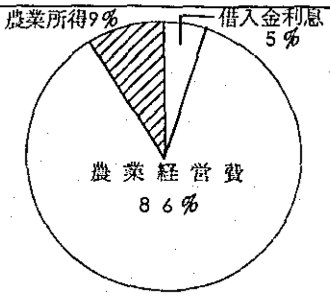


Fig3. 農業所得率

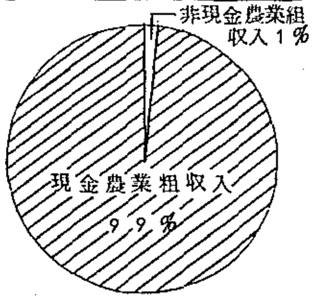


Fig4. 農業粗収入現金率

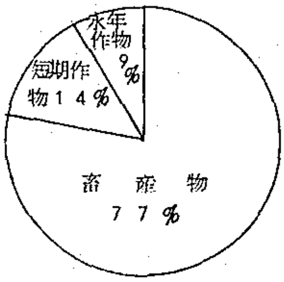


Fig5. 農畜産物販売状況

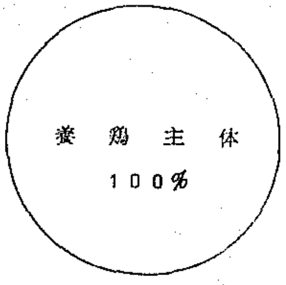


Fig6. 経営形態別農家構成

3. 農家経済の概況 （農家一戸当り平均）

単位：千円

① 入植経過年月	8年3月	② 家族人数	5.2人	③農業換算労働人数	2.0人

④土地利用状況 Ha

開墾地														
耕地					耕地外					開墾地計	未開墾地（含利用不能地）	所有地計	借地計
田	畑	樹園地	採牧草地	小計	放牧地	植林地	宅地	廃耕地	小計				
0	3.0	2.3	0	5.3	0	0	1.0	0	1.0	6.3	6.1	12.4	0

⑤動植物所有状況

動物（頭羽数）										植物（本数）									
肉牛		乳牛		馬		豚		鶏		ゴヤバ		ミカン		マラクジャ		レモン		アバカテ	
仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	未	成	未	成	未	成	未	成	未	成
0	0	0	0	0	0	0	0.1	826	1,580	76	137	0	83	29	98	48	3	7	0.5

⑥負債状況

	長期借入金残高				短期借入金残高				借入金残高計	土地代残額	未払経費期末残額	負債計
	事業団	現地機関	個人他	小計	事業団	現地機関	個人他	小計				
平均	467	158	(COTIA) 3,162	3,787	94	329	1	424	4,211	605	0	4,816
最高	1,119	1,172	20,503	21,132	404	2,668	27	2,668	23,800	1,393	0	24,234
最底	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

⑦農畜産物販売状況

	移住地売上順位	産物名	売上高（平均）	売上高（最高）	売上高（最底）
短期作物	才1位	いんげん豆	168	1,078	0
	才2位	胡瓜	164	1,348	0
	才3位	ジロー（みどりなす）	116	755	0
永年作物	才1位	ゴヤバ	392	3,594	0
	才2位	ポンカン	30	710	0
	才3位	マラクジャ	27	674	0
畜産物	才1位	鶏卵	2,896	9,434	0
	才2位	肉鶏	176	5,822	0
	才3位	廃鶏	149	719	0

⑧農業経営費

現金農業経営費										非現金農業経営費			合計
生産経費									販売経費	減価償却費	期末未払農業経営費	計	
雇用労賃	肥料代	農薬代	飼料代	燃料代	種苗種畜費	補助材料代	その他	小計					
178	370	119	2,470	38	271	21	16	3,483	510	239	0	239	4,232

⑨農家経済総括

	永年作物	短期作物	畜産物	現金農業粗収入計	非現金農業粗収入計	農業粗収入計	農業経営費	借入金利息	農業所得	農外収入	農外支出	農外所得	農家所得	家計費	（農家経済余剰）
平均	459	702	3688	4849	45	4894	4232	238	424	0	0	0	424	420	(4)
最高	3594	3,194	10634	10739	45	10784	10088	1,213	1,720	0	0	0	1,720	827	
最底	0	0	0	286	45	331	254	0	−841	0	0	0	−841	156	

移住地名　ラ　ー　モ　ス

調査対象期間	昭和44年4月〜45年3月	入植戸数	24戸	調査戸数	18戸

1. 移住地概況

① 所在地	サンタカタリーナ州クリチバーノス郡　　＜地図番号＞　㉜
② 管理機関	州　政　府
③ 入植開始年度	昭和39年
④ 面積	980ha（1ロッテ＝平均25ha）
⑤ 近傍市場	クリチバーノス市（人口1万人、陸路23Km、）ラージェス市(人口8万人、陸路100Km)

2. 地区営農概況

1963年当移住地創設以来の大寒波（10月）等霜害に見舞われながらも営農はほぼ順調であった。ネクタリンは晩生系のものは被害少なく当初収入見込を下回ったが可成りの収入を挙げた。第2の永年作物としてのリンゴの試作は良好である。また、ネクタリンの好況で苗木は飛ぶように売れている。
一方、タマネギ、トマト、人参等の蔬菜も良かった。とうもろこし、フエジョン、小麦、陸稲等は平年以上旬至豊作で米は域内自給を上回りとうもろこしは豊作、価格高で販売好調である。組合では有畜果樹経営の確立のためとうもろこし等の自給飼料確保を呼びかけるなどの対策を進めている。
本年は予定通りの営農が進められたといえよう。

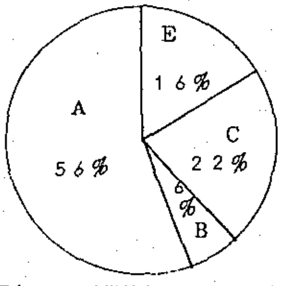


Fig1. 所得的階層分化の状況

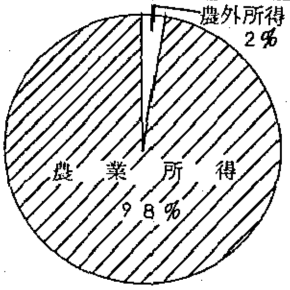


Fig2. 農家所得構成

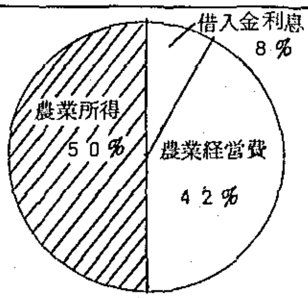


Fig3. 農業所得率

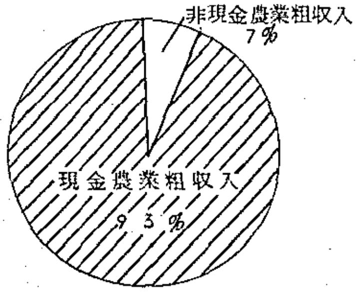


Fig4. 農業粗収入現金率

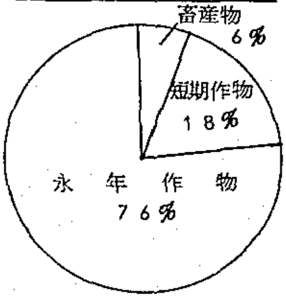


Fig5. 農畜産物販売状況

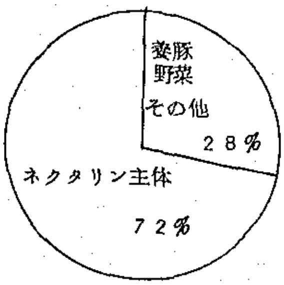


Fig6. 経営形態別農家構成

3. 農家経済の概況　（農家一戸当り平均）

単位：千円

① 入植経過年月	5年2月	② 家族人数	6.9人	③農業換算労働人数	3.7人

④ 土地利用状況

開墾地											未開墾地（含利用不能地）	所有地計	借地計
耕地					耕地外					開墾地計			
田	畑	樹園地	採草放牧地	小計	放牧地	植林地	宅地	廃耕地	小計				
0.2	10.9	1.5	0.4	13.0	2.4	0	0.5	0	2.9	15.9	9.2	25.1	0

⑤ 動植物所有状況

動物（頭羽数）										植物（本数）									
肉牛		乳牛		馬		豚		鶏		ネクタリン		リンゴ		モモ		クルミ			
仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	未	成	未	成	未	成	未	成	未	成
0.3	0.7	0.4	0.6	0	0.4	7.6	2.0	10	24	59	203	228	3	17	21	3	0		

⑥ 負債状況

	長期借入金残高				短期借入金残高				借入金残高計	土地代残額	未払経費期末残額	負債計
	事業団	現地機関	個人他	小計	事業団	現地機関	個人他	小計				
平均	271	733	0	1,004	15	167	34	216	1,220	116	20	1,356
最高	435	1,530	0	1,791	261	565	217	565	2,138	139	174	2,277
最底	0	276	0	276	0	0	0	0	426	0	0	565

⑦ 農畜産物販売状況

	移住地売上順位	産物名	売上高（平均）	売上高（最高）	売上高（最底）
短期作物	才1位	トマト	129	1,521	0
	才2位	苗木	101	1,217	0
	才3位	トウモロコシ	69	287	0
永年作物	才1位	ネクタリン	1,637	2,955	0
	才2位				
	才3位				
畜産物	才1位	豚	141	608	0
	才2位				
	才3位				

⑧ 農業経営費

現金農業経営費										非現金農業経営費			合計
生産経費									販売経費	減価償却費	期末未払農業経営費	計	
雇用労賃	肥料代	農薬代	飼料代	燃料代	種苗種畜費	補助材料代	その他	小計					
128	136	40	35	17	51	49	46	502	427	61	7	68	997

⑨ 農家経済総括

	永年作物	短期作物	畜産物	現金農業粗収入計	非現金農業粗収入計	農業粗収入計	農業経営費	借入金利息	農業所得	農外収入	農外支出	農外所得	農家所得	家計費	（農家経済余剰）
平均	1,642	403	141	2,186	171	2,357	997	184	1,176	18	0	18	1,194	432	(762)
最高	3,938	1953	608	3,246	406	4,042	2035	259	2091	87	0	87	2096	1,001	
最底	0	35	0	261	43	324	122	32	−213	0	0	0	−213	185	

移住地名　イ　タ　チ

調査対象期間	昭和44年1月～12月	入植戸数	11戸	調査戸数	7戸

1. 移住地概況

① 所在地	リオ・グランデ・ド・スール州オゾーリオ郡　＜地図番号＞　㉝
② 管理機関	集団独立
③ 入植開始年度	昭和42年
④ 面積	163ha（1ロッテ＝平均5ha）
⑤ 近傍市場	オゾーリオ市（人口2万人、陸路57Km）、ポルト・アレグレ市（人口94万人、陸路167Km）

2. 地区営農概況

当地は蔬菜園芸地帯でトマト、ピーマン、キウリ等が主体である。作柄は平年作以下であったが価格高で収入は良かった。市況は昨年を上回っていた。入植者はパイン導入を積極的に進めている。

また、多角経営のため、組合では早生桃の栽培を共同的に行なうこととし、45年7月に栽培開始することとした。

これは、当地周辺の伯人農家（主にドイツ系）でトマト等の作柄が増加、競争激化が必至のためでもある。

なお、本年の作柄不良は主として霜害による。

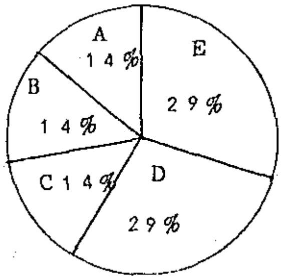


Fig1. 所得的階層分化の状況

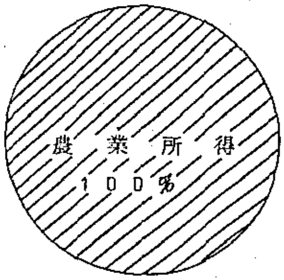


Fig2. 農家所得構成

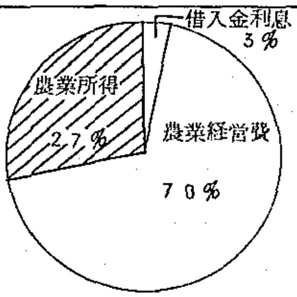


Fig3. 農業所得率

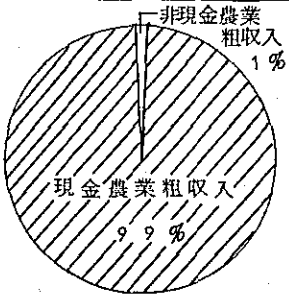


Fig4. 農業粗収入現金率

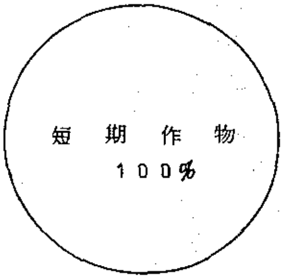


Fig5. 農畜産物販売状況

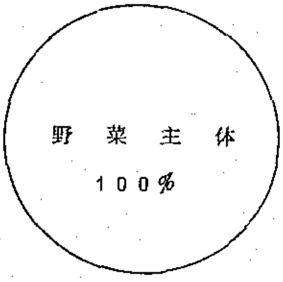


Fig6. 経営形態別農家構成

3. 農家経済の概況 (農家一戸当り平均)

単位：千円

① 入植経過年月	2年2月	② 家族人数	5.4人	③農業換算労働人数	1.9人

④ 土地利用状況 Ha

開墾地											未開墾地(含利用不能地)	所有地計	借地計
耕地					耕地外					開墾地計			
田	畑	樹園地	採草放牧地	小計	放牧地	植林地	宅地	廃耕地	小計				
0	3.0	0.04	0	3.04	0	0	0.5	0	0.5	3.54	7.4	10.94	0.86

⑤ 動植物所有状況

動物 (頭羽数)										植物 (本数)									
肉牛		乳牛		馬		豚		鶏		パイナップル		桃							
仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	未	成	未	成	未	成	未	成	未	成
0	0	0	0	0	0.4	0	0	7	14	8000	0	13	0						

⑥ 負債状況

	長期借入金残高				短期借入金残高				借入金残高計	土地代残額	未払経費期末残額	負債計
	事業団	現地機関	個人他	小計	事業団	現地機関	個人他	小計				
平均	270	430	0	700	0	0	0	0	700	0	0	700
最高	270	773	0	1,042	0	0	0	0	1,042	0	0	1,042
最低	270	90	0	359	0	0	0	0	359	0	0	359

⑦ 農畜産物販売状況

	移住地売上順位	産物名	売上高(平均)	売上高(最高)	売上高(最低)
短期作物	才1位	トマト	1,416	2,066	180
	才2位	ピーマン	588	1,078	0
	才3位	胡瓜	98	323	0
永年作物	才1位				
	才2位				
	才3位				
畜産物	才1位				
	才2位				
	才3位				

⑧ 農業経営費

現金農業経営費										非現金農業経営費			合計
生産経費									販売経費	減価償却費	期末未払農業経営費	計	
雇用労賃	肥料代	農薬代	飼料代	燃料代	種苗種畜費	補助材料代	その他	小計					
302	314	140	8	27	115	32	32	970	485	81	0	81	1536

⑨ 農家経済総括

	永年作物	短期作物	畜産物	現金農業粗収入計	非現金農業粗収入計	農業粗収入計	農業経営費	借入金利息	農業所得	農外収入	農外支出	農外所得	農家所得	家計費	(農家経済余剰)
平均	0	2,152	0	2,152	29	2,181	1,536	58	587	0	0	0	587	542	(45)
最高	0	2875	0	2875	49	2902	2,094	147	1,299	0	0	0	1,299	1,060	
最低	0	719	0	719	5	746	744	39	— 39	0	0	0	— 39	252	

移住地名　バジェー

調査対象期間	昭和44年1月～12月	入植戸数	4戸	調査戸数	4戸

1. 移住地概況

① 所在地	リオ・グランデ・ド・スール州　＜地図番号＞ ㉞
② 管理機関	集団独立
③ 入植開始年度	昭和44年
④ 面積	
⑤ 近傍市場	バジェー市（人口8万人）、ポルトアレグレ市（人口94万人）

2. 地区営農概況

ポルトアレグレ市場向の蔬菜（トマト、チシャ、人参等）が殆んどであるがコストの高いトマト作からの転換が計画されている。また、他地区の永年作物（ネクタリンブドウ等）をとり入れようとする気運にある。

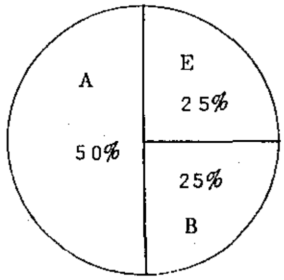


Fig1. 所得的階層分化の状況

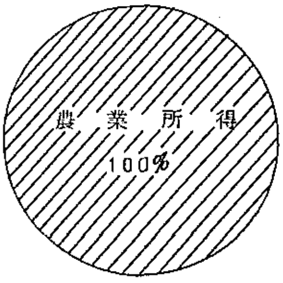


Fig2. 農家所得構成

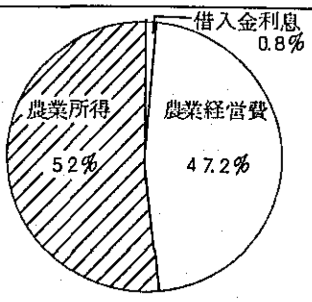


Fig3. 農業所得率

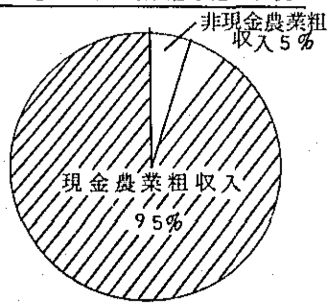


Fig4. 農業粗収入現金率

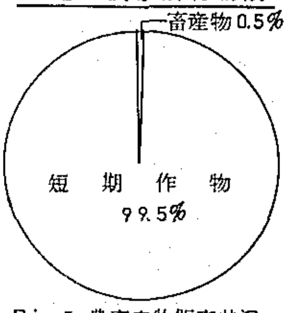


Fig5. 農畜産物販売状況

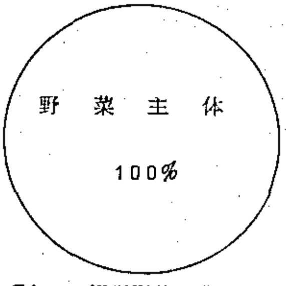


Fig6. 経営形態別農家構成

3. 農家経済の概況　(農家一戸当り平均)

単位：千円

① 入植経過年月	7年5月	② 家族人数	5.7人	③農業換算労働人数	2.9人

④土地利用状況	開墾地											未開墾地(含利用不能地)	所有地計	借地計
	耕地					耕地外					開墾地計			
	田	畑	樹園地	採草放牧地	小計	放牧地	植林地	宅地	廃耕地	小計				
Ha	0	0.3	0	0	0.3	0	0	0	0	0	0.3	0	0.3	6.9

⑤動植物所有状況	動物 (頭羽数)										植物 (本数)									
	肉牛		乳牛		馬		豚		鶏											
	仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	未	成	未	成	未	成	未	成	未	成
	2.0	3.3	0	0	0.3	2.5	5.0	4.5	0	25										

⑥負債状況	長期借入金残高				短期借入金残高				借入金残高計	土地代残額	未払経費期末残額	負債計
	事業団	現地機関	個人他	小計	事業団	現地機関	個人他	小計				
平均	0	67	0	67	0	213	16	229	296	0	0	296
最高	0	270	0	270	0	422	63	422	692	0	0	692
最底	0	0	0	0	0	0	0	63	63	0	0	63

⑦農畜産物販売状況	移住地売上順位	産物名	売上高(平均)	売上高(最高)	売上高(最底)
短期作物	才1位	トマト	1,492	2,193	629
	才2位	チシャ	417	771	180
	才3位	人参	130	312	0
永年作物	才1位				
	才2位				
	才3位				
畜産物	才1位	豚	11	45	0
	才2位				
	才3位				

⑧農業経営費	現金農業経営費										非現金農業経営費			合計
	生産経費									販売経費	減価償却費	期末未払農業経営費	計	
	雇用労賃	肥料代	農薬代	飼料代	燃料代	種苗種畜費	補助材料代	その他	小計					
	308	303	112	7	81	101	52	※178	1,142	12	34	0	34	1,188

⑨農家経済総括	永年作物	短期作物	畜産物	現金農業粗収入計	非現金農業粗収入計	農業粗収入計	農業経営費	借入金利息	農業所得	農外収入	農外支出	農外所得	農家所得	家計費	(農家経済余剰)
平均	0	2364	11	2375	130	2505	1,188	19	1298	0	0	0	1298	553	(745)
最高	0	4084	45	4084	207	4237	1,586	31	2629	0	0	0	2629	863	
最底	0	898	0	943	94	966	683	7	276	0	0	0	276	431	

※借地料64千円

移住地名　アルト・パラナ

調査対象期間	昭和43年7月～44年6月	入植戸数	335戸	調査戸数	99戸

1. 移　住　地　概　況

① 所在地	イタプア県ヴィリャビスタ郡	＜地図番号＞　㉟
② 管理機関	事業団	
③ 入植開始年度	昭和35年	
④ 面積	83,580 ha（1ロッテ＝30 ha）	
⑤ 近傍市場	エンカルシオン市（人口4万人、陸路70Km）アスンシオン市（人口40万人、陸路460Km）	

2. 地　区　営　農　概　況

当地の基幹作物油桐は上半期（7月～12月）低迷を続けたが年明け後漸騰したが収入的には低調であった。雑作（大豆とうもろこし等）は平年並程度であった。棉、米もほゞ同じであった。
当地では柑橘かいよう病による被害はとり立てる程どでなかった。次才に養蚕熱が盛り上がり企業進出にタイミングを合わせようという積極的な空気になりつつある。台湾桐も注目されつつある。養蜂もみられる。
畜産は域内自給には達しており、一部域外販売（豚）が行なわれている。今後が期待される。

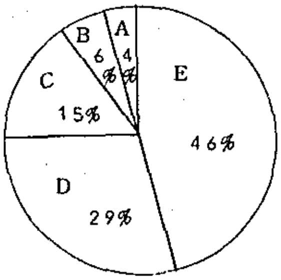


Fig1. 所得的階層分化の状況

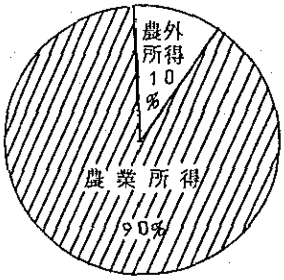


Fig2. 農家所得構成

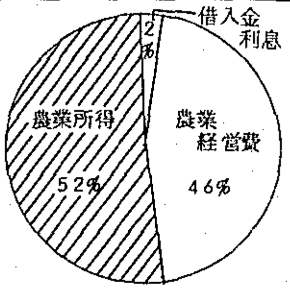


Fig3. 農業所得率

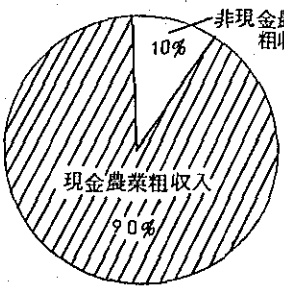


Fig4. 農業粗収入現金率

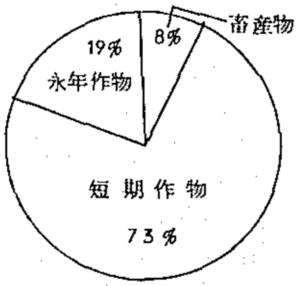


Fig5. 農畜産物販売状況

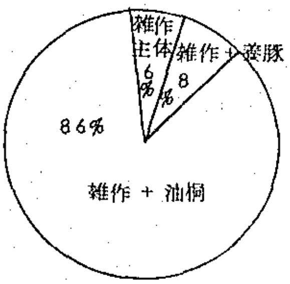


Fig6. 経営形態別農家構成

3. 農家経済の概況 （農家一戸当り平均）

単位：千円

① 入植経過年月	7年5月	② 家族人数	5.9人	③農業換算労働人数	3.3人

④ 土地利用状況 Ha

開墾地											未開墾地 (含利用不能地)	所有地計	借地計
耕地					耕地外					開墾地計			
田	畑	樹園地	採牧草地	小計	放牧地	植林地	宅地	廃耕地	小計				
0.3	16.8	16.8	3.6	37.5	1.1	0.1	0.6	1.6	3.4	40.9	24.0	64.9	0

⑤ 動植物所有状況

動物 (頭羽数)										植物 (本数)									
肉牛		乳牛		馬		豚		鶏		油桐		マテ茶		台湾桐		桑		柑橘	
仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	未	成	未	成	未	成	未	成	未	成
1.7	3.7	0	0	0.03	1.0	6.6	7.8	4	27	2.8 ha	13.2 ha	0 ha	0.6 ha	0.1 ha	0.03 ha	0.1 ha	0.1 ha	0 ha	0.6 ha

⑥ 負債状況

	長期借入金残高				短期借入金残高				借入金残高計	土地代残額	未払経費期末残額	負債計
	事業団	現地機関	個人他	小計	事業団	現地機関	個人他	小計				
平均	474	31	15	520	13	24	34	71	591	828	12	1,431
最高	1,384	1544	715	1,665	120	715	724	724	1,665	7,922	286	9,352
最底	0	0	0	0	0	0	0	0	0	398	0	398

⑦ 農畜産物販売状況

	移住地売上順位	産物名	売上高（平均）	売上高（最高）	売上高（最底）
短期作物	才1位	大豆	255	1,782	0
	才2位	とうもろこし	66	538	0
	才3位	棉	64	515	0
永年作物	才1位	油桐	115	686	0
	才2位				
	才3位				
畜産物	才1位	豚	33	429	0
	才2位	牛	6	143	0
	才3位	鶏（卵、肉）	3	137	0

⑧ 農業経営費

現金農業経営費										非現金農業経営費			合計
生産経費									販売経費	減価償却費	期末未払農業経営費	計	
雇用労賃	肥料代	農薬代	飼料代	燃料代	種苗種畜費	補助材料代	その他	小計					
189	2	7	2	12	5	7	39	263	46	2	1	3	312

⑨ 農家経済総括

	永年作物	短期作物	畜産物	現金農業粗収入計	非現金農業粗収入計	農業粗収入計	農業経営費	借入金利息	農業所得	農外収入	農外支出	農外所得	農家所得	家計費	（農家経済余剰）
平均	115	452	46	613	65	678	312	11	355	74	33	41	396	251	(145)
最高	686	1,836	695	2,189	1,047	2345	1,359	143	1,775	3,012	2,611	1,103	2204	907	
最底	0	0	0	0	0	0	5	0	-208	0	0	0	-208	57	

移住地名 フ　ラ　ム

調査対象期間	昭和43年7月〜44年6月	入植戸数	280戸	調査戸数	94戸

1. 移住地概況

① 所在地	イタプア県　　＜地図番号＞ ㊱
② 管理機関	事業団
③ 入植開始年度	昭和31年
④ 面積	16,057ha（1ロッテ＝25ha）
⑤ 近傍市場	エンカルナシオン市（人口4万人、陸路450Km）、アスシオン市（人口40万人、陸路420Km）

2. 地区営農概況

43年8月より柑橘かいよう病のため伐採が始まり、栽培農家にとってはショックでもあり大きな痛手を蒙った。また、油桐も上半期（43／1月〜12月）は低迷を続けたが年明け後漸騰した。マテ茶は低調であった。しかし、乾繭工場進出計画が刺激となり、再建の気運が盛りあがりつつある。大豆とうもろこし等の雑作は平年並乃至若干減収の成績で、天候不順によるものと思われる。

棉、米もほぼ平年並であった。畜産については自給は可能であるが一つの販売単位まで伸びていない。桑、パラナ松がとり入れられつつある。

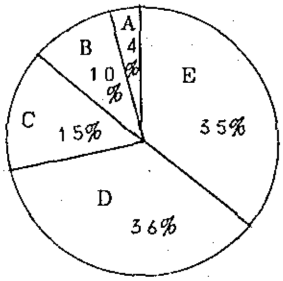


Fig1. 所得的階層分化の状況

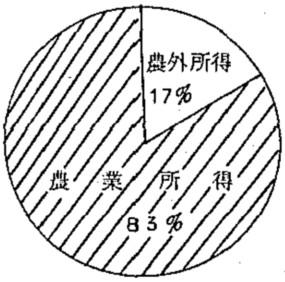


Fig2. 農家所得構成

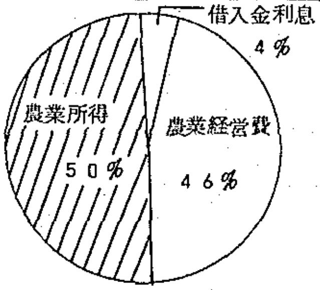


Fig3. 農業所得率

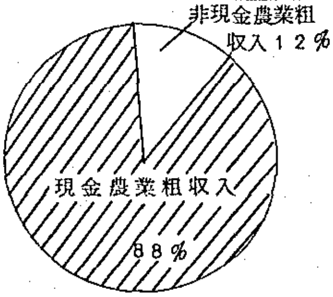


Fig4. 農業粗収入現金率

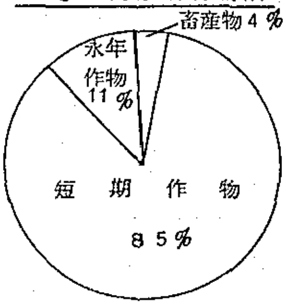


Fig5. 農畜産物販売状況

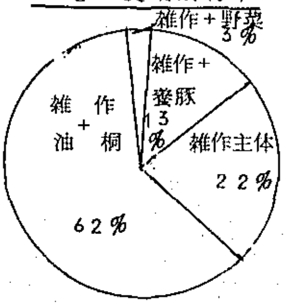


Fig6. 経営形態別農家構成

3. 農家経済の概況　（農家一戸当り平均）

単位：千円

① 入植経過年月	１１年１月	② 家族人数	4.８人	③農業換算労働人数	2.５人

④ 土地利用状況 Ha

開墾地											未開墾地（含利用不能地）	所有地計	借地計
耕地					耕地外					開墾地計			
田	畑	樹園地	採草放牧地	小計	放牧地	植林地	宅地	廃耕地	小計				
0.6	17.8	10.0	1.5	29.9	3.2	1.1	0.5	1.6	6.4	36.3	21.0	57.3	0

⑤ 動植物所有状況

動物（頭羽数）										植物（本数）									
肉牛		乳牛		馬		豚		鶏		油桐		柑橘		マテ茶		桑		パラナ松	
仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	未	成	未	成	未	成	未	成	未	成
0.5	1.2	0.01	0.1	0.02	1.2	3.7	7.2	3	21	ha 1.3	ha 11.4	ha 0.003	ha 0.2	ha 0	ha 0.4	ha 0.1	ha 0.03	ha 0.01	ha 0.002

⑥ 負債状況

	長期借入金残高				短期借入金残高				借入金残高計	土地代残額	未払経費期末残額	負債計
	事業団	現地機関	個人他	小計	事業団	現地機関	個人他	小計				
平均	220	186	38	444	11	35	60	106	550	67	14	631
最高	1,041	8,866	1,344	9,006	143	858	601	1,430	10,436	447	572	10,436
最底	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

⑦ 農畜産物販売状況

	移住地売上順位	産物名	売上高（平均）	売上高（最高）	売上高（最底）
短期作物	才１位	大豆	395	1,386	0
	才２位	とうもろこし	78	470	0
	才３位	米	42	658	0
永年作物	才１位	油桐	68	801	0
	才２位	柑橘	3	143	0
	才３位				
畜産物	才１位	豚	25	407	0
	才２位	牛	4	100	0
	才３位	鶏（卵、肉）	2	100	0

⑧ 農業経営費

現金農業経営費										非現金農業経営費			合計
生産経費									販売経費	減価償却費	期末未払農業経営費	計	
雇用労賃	肥料代	農薬代	飼料代	燃料代	種苗種畜費	補助材料代	その他	小計					
229	11	8	2	29	8	7	29	323	44	2	3	5	372

⑨ 農家経済総括

	永年作物	短期作物	畜産物	現金農業粗収入計	非現金農業粗収入計	農業粗収入計	農業経営費	借入金利息	農業所得	農外収入	農外支出	農外所得	農家所得	家計費	（農家経済余剰）
平均	75	607	32	714	98	812	372	34	406	152	70	82	488	253	(235)
最高	829	1,886	407	1,886	1,267	1,886	1,063	1,030	1,385	3,432	3,955	3,432	2,634	1,075	
最底	0	0	0	0	0	104	0	0	-1,459	0	0	-523	-252	72	

移住地名　チャベス

調査対象期間	昭和43年7月～44年6月	入植戸数	70戸	調査戸数	28戸

1. 移住地概況

① 所在地	イタプア県	＜地図番号＞　㊲
② 管理機関	パ国政府（I，B，R）	
③ 入植開始年度	昭和29年	
④ 面積	68,000ha（1ロッテ＝20～25ha）	
⑤ 近傍市場	エンカルナシオン市（人口4万人、陸路20Km）	

2. 地区営農概況

「フラム」と同じ
但し当地は主としてエンカルナシオン市場向の蔬菜農家がかなりの成績をあげており、フラム移住地より近郊的立地にある。

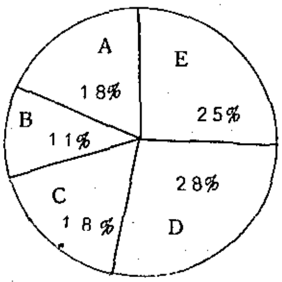


Fig1. 所得的階層分化の状況

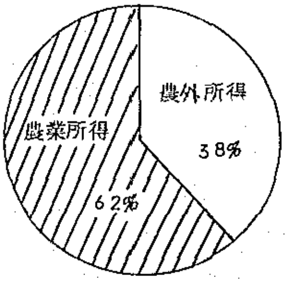


Fig2. 農家所得構成

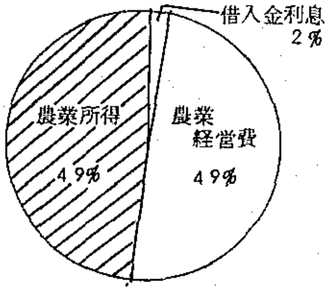


Fig3. 農業所得率

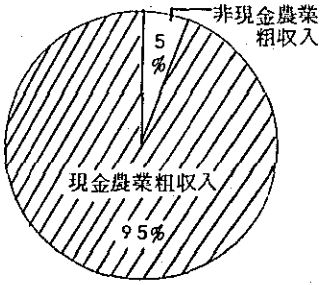


Fig4. 農業粗収入現金率

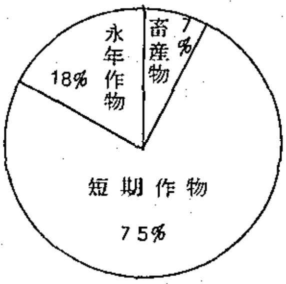


Fig5. 農畜産物販売状況

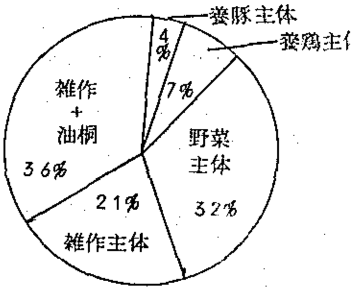


Fig6. 経営形態別農家構成

3. 農家経済の概況　（農家一戸当り平均）

単位：千円

① 入植経過年月	14年	② 家族人数	5.5人	③農業換算労働人数	2,8人

④土地利用状況

開墾地											未開墾地(含利用不能地)	所有地計	借地計
耕地					耕地外					開墾地計			
田	畑	樹園地	採牧草地	小計	放牧地	植林地	宅地	廃耕地	小計				
Ha 0.4	11.9	20	1.8	34.1	0.6	0.01	0.5	1.6	2.71	36.81	11.1	47.91	0

⑤動植物所有状況

動物(頭羽数)										植物(本数)									
肉牛		乳牛		馬		豚		鶏		油桐		みかん		マテ茶		桑		ブドウ	
仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	未	成	未	成	未	成	未	成	未	成
0.3	0.9	0	0.1	0	1.1	1.3	3.9	7	67	ha 0.4	ha 163	ha 0.2	ha 1.3	ha 0	ha 0.3	ha 0.2	ha 0	ha 0.02	ha 0.01

⑥負債状況

	長期借入金残高				短期借入金残高				借入金残高計	土地代残額	未払経費期末残額	負債計
	事業団	現地機関	個人他	小計	事業団	現地機関	個人他	小計				
平均	82	146	50	278	31	15	9	55	333	49	15	397
最高	578	858	315	858	234	200	143	386	1,144	543	200	1,144
最底	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

⑦農畜産物販売状況

	移住地売上順位	産物名	売上高(平均)	売上高(最高)	売上高(最底)
短期作物	才1位	トマト	285	1,931	0
	才2位	大豆	206	622	0
	才3位	とうもろこし	47	286	0
永年作物	才1位	油桐	138	515	0
	才2位	みかん	11	106	0
	才3位	マテ茶	2	17	0
畜産物	才1位	鶏(卵、肉)	46	927	0
	才2位	豚	5	103	0
	才3位	牛	5	60	0

⑧農業経営費

現金農業経営費										非現金農業経営費			合計
生産経費									販売経費	減価償却費	期末未払農業経営費	計	
雇用労賃	肥料代	農薬代	飼料代	燃料代	種苗種畜費	補助材料代	その他	小計					
239	60	26	27	23	18	11	24	428	43	0	0	0	471

⑨農家経済総括

	永年作物	短期作物	畜産物	現金農業粗収入計	非現金農業粗収入計	農業粗収入計	農業経営費	借入金利息	農業所得	農外収入	農外支出	農外所得	農家所得	家計費	(農家経済余剰)
平均	165	692	62	919	49	968	471	24	473	656	366	290	763	319	(444)
最高	515	2860	927	3,003	358	3,060	1,808	133	1,381	4,462	3718	4,462	5261	812	
最底	0	0	0	154	0	154	6	0	1	0	0	0	1	124	

移住地名　イグアスー

調査対象期間	昭和43年7月〜44年6月	入植戸数	160戸	調査戸数	114戸

1. 移住地概況（注ストロエスネル移住地を含む）

① 所在地	アルトパラナ県	＜地図番号＞　㊳
② 管理機関	事業団	
③ 入植開始年度	昭和36年	
④ 面積	87,763ha（1ロッテ＝30ha）	
⑤ 近傍市場	アスシオン市（人口40万人、陸路280Km）	

2. 地区営農概況

依然として、トマトを主体とした蔬菜農家が多く高値の時期が往々あるため、雑作拡大畜産（肉牛）導入が積極化していない。特に蔬菜は春〜夏物のものがアスシオン市場向けに出荷され一般的に好況をみた。雑作（とうもろこし、大豆、棉、マンジョカ）等は漸増しているが平年並に落着いた。米は域内需給にも事欠いている。
畜産は従来の養豚、養鶏は漸増しているが一部農家の専業化によるものである。
肉牛はこれからである。
永年作物は自給の程度ぐらいしかはいっていない。

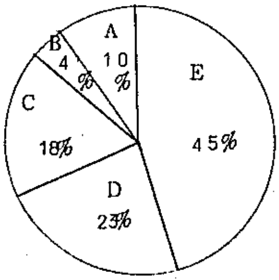


Fig1. 所得的階層分化の状況

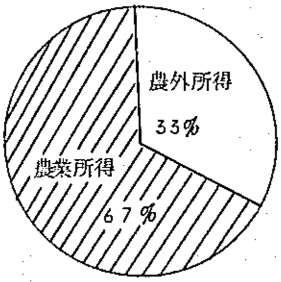


Fig2. 農家所得構成

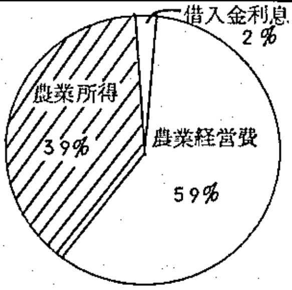


Fig3. 農業所得率

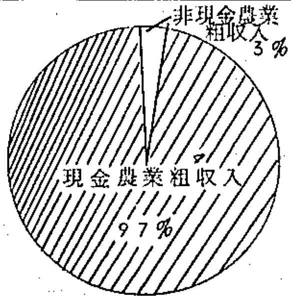


Fig4. 農業粗収入現金率

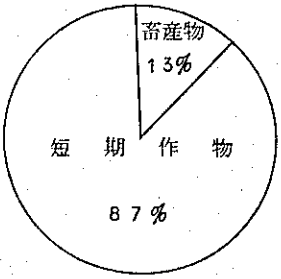


Fig5. 農畜産物販売状況

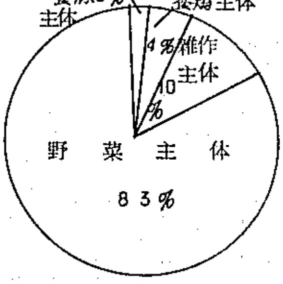


Fig6. 経営形態別農家構成

3. 農家経済の概況　（農家一戸当り平均）

単位：千円

① 入植経過年月	4年1月	② 家族人数	4.9人	③農業換算労働人数	2.6人

④ 土地利用状況 Ha

開墾地											未開墾地（含利用不能地）	所有地計	借地計
耕地					耕地外					開墾地計			
田	畑	樹園地	採牧草地	小計	放牧地	植林地	宅地	廃耕地	小計				
0.3	9.7	1.2	2.5	13.7	0.7	0.3	0.5	0.6	2.1	15.8	30.7	46.5	1.7

⑤ 動植物所有状況

動物（頭羽数）										植物（本数）									
肉牛		乳牛		馬		豚		鶏		柑橘		ブドー		パラナ松		油桐		柿	
仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	未	成	未	成	未	成	未	成	未	成
0.9	3.6	0.1	0.4	0.01	0.3	2.0	3.1	38	96	44	20	11	14	0.1 ha	0	0	0.6 ha	1	4

⑥ 負債状況

	長期借入金残高				短期借入金残高				借入金残高計	土地代残額	未払経費期末残額	負債計
	事業団	現地機関	個人他	小計	事業団	現地機関	個人他	小計				
平均	107	112	6	225	12	78	11	101	326	617	7	950
最高	635	1,716	360	1,716	343	1,516	400	1,516	1,716	1,792	306	2,950
最底	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

⑦ 農畜産物販売状況

	移住地売上順位	産物名	売上高（平均）	売上高（最高）	売上高（最底）
短期作物	才1位	トマト	606	3,718	0
	才2位	その他野菜	134	1,716	0
	才3位	大豆	20	415	0
永年作物	才1位				
	才2位				
	才3位				
畜産物	才1位	鶏（卵、肉）	100	5,039	0
	才2位	豚	21	658	0
	才3位				

⑧ 農業経営費

現金農業経営費										非現金農業経営費			合計
生産経費									販売経費	減価償却費	期末未払農業経営費	計	
雇用労賃	肥料代	農薬代	飼料代	燃料代	種苗種畜費	補助材料代	その他	小計					
188	62	56	37	25	21	14	15	418	144	0	0	0	562

⑨ 農家経済総括

	永年作物	短期作物	畜産物	現金農業粗収入計	非現金農業粗収入計	農業粗収入計	農業経営費	借入金利息	農業所得	農外収入	農外支出	農外所得	農家所得	家計費	（農家経済余剰）
平均	0	804	122	926	25	951	562	19	370	435	250	185	555	273	(282)
最高	0	4,496	5,277	7,836	429	7,934	4,550	372	3,212	15,444	13,914	6,864	5,820	662	
最底	0	0	0	0	0	0	0	0	−1,044	0	0	−1,258	958	11	

移住地名　アマンバイ

調査対象期間	昭和44年1月～12月	入植戸数	115戸	調査戸数	95戸

1. 移住地概況

① 所在地	アマンバイ県	＜地図番号＞　㊴
② 管理機関	集団独立	
③ 入植開始年度	昭和31年	
④ 面積	2,600 ha（1ロッテ＝平均20 ha）	
⑤ 近傍市場		

2. 地区営農概況

昨年11月下旬から本年1月にかけて適雨があり、昨年干バツのため樹勢の衰えていたカフェーも回復しほぼ見込どおりの収量をあげた。大豆（早中生）は平年並以上であったが晩生大豆は良くなかった。また栽培面積は少ないがフェイジョンが伯国不作のため高値を呼んだ。当地はペドロ・ファンカバジェイロ（パ国）ポンタ・ポラン（伯国）向の蔬菜（トマト、ピーマン等）養鶏が行なわれ、特に不況に見舞われず収入を挙げた。なお柑橘の収入もみられた。

当地もカフェー単作から次オに多角化の兆しがみられる。

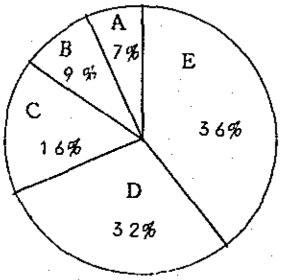


Fig1. 所得的階層分化の状況

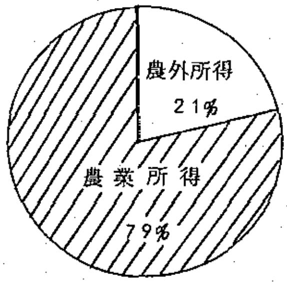


Fig2. 農家所得構成

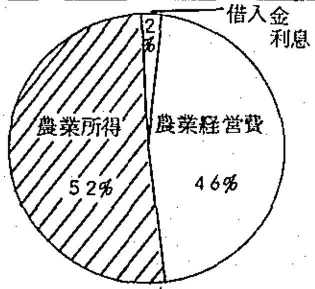


Fig3. 農業所得率

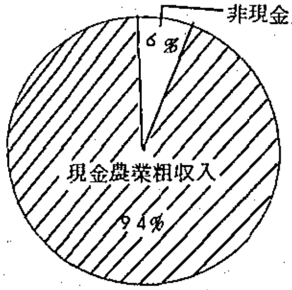


Fig4. 農業粗収入現金率

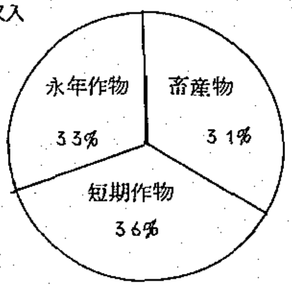


Fig5. 農畜産物販売状況

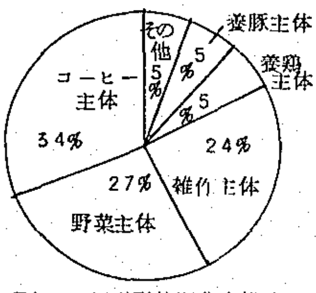


Fig6. 経営形態別農家構成

3. 農家経済の概況　（農家一戸当り平均）

単位：千円

① 入植経過年月	11年	② 家族人数	5.7人	③農業換算労働人数	2.9人

④ 土地利用状況 Ha

開墾地											未開墾地（含利用不能地）	所有地計	借地計
耕地					耕地外					開墾地計			
田	畑	樹園地	採牧草地	小計	放牧地	植林地	宅地	廃耕地	小計				
0.1	6.4	7.3	0.6	14.4	4.2	0.01	0.4	3.4	8.01	22.4	18.0	40.4	0.5

⑤ 動植物所有状況

動物（頭羽数）										植物（本数）									
肉牛		乳牛		馬		豚		鶏		コーヒー		柑橘		バナナ		パインアップル		マテ茶	
仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	未	成	未	成	未	成	未	成	未	成
0.5	1.0	0	0.01	0.03	0.7	4.1	3.0	4	191	3200	3500	50	68	7	136	0	19	0	72

⑥ 負債状況

	長期借入金残高				短期借入金残高				借入金残高計	土地代残額	未払経費期末残額	負債計
	事業団	現地機関	個人他	小計	事業団	現地機関	個人他	小計				
平均	408	202	79	689	74	14	3	91	780	17	8	805
最高	1,373	1,373	629	3,086	315	572	86	674	3,215	480	372	3,260
最底	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

⑦ 農畜産物販売状況

	移住地売上順位	産物名	売上高（平均）	売上高（最高）	売上高（最底）
短期作物	才1位	野菜類	56	801	0
	才2位	大豆	47	601	0
	才3位	トマト	43	1,144	0
永年作物	才1位	コーヒー	238	3,775	0
	才2位	柑橘	18	686	0
	才3位				
畜産物	才1位	鶏卵	201	12,584	0
	才2位	鶏肉	18	829	0
	才3位	豚	17	412	0

⑧ 農業経営費

現金農業経営費										非現金農業経営費			合計
生産経費									販売経費	減価償却費	期末未払農業経営費	計	
雇用労賃	肥料代	農薬代	飼料代	燃料代	種苗種畜費	補助材料代	その他	小計					
156	30	15	94	13	12	12	13	345	43	0	1	1	389

⑨ 農家経済総括

	永年作物	短期作物	畜産物	現金農業粗収入計	非現金農業粗収入計	農業粗収入計	農業経営費	借入金利息	農業所得	農外収入	農外支出	農外所得	農家所得	家計費	（農家経済余剰）
平均	268	288	246	802	52	854	389	21	444	318	203	115	559	258	（301）
最高	3775	2215	14,002	14,146	758	14,146	8,065	143	6,080	5,148	4,118	1,030	6252	1,530	
最底	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	43	29	

移住地名　アスシオン近郊

調査対象期間	昭和43年7月～44年6月	入植戸数	40戸	調査戸数	27戸

1. 移住地概況

① 所在地	＜地図番号＞　㊵
② 管理機関	
③ 入植開始年度	
④ 面積	
⑤ 近傍市場	

2. 地区営農概況

トマトを中心にスイカ、ピーマン、メロン等の蔬菜が行なわれている。しかし、冬蔬菜が中心で、かん水設備をもっている農家は夏作もやっている。従来はトマト一本であったが価格変動が激しいことからスイカ、メロン等がとり入れられつつあるし、投機的農法も減りつつある。近郊蔬菜農家として定着したといえよう。
販売面から組合を結成したが次第に内容も充実しつつあり近郊農家の一体化が促進されつつある。
今後、周年栽培のための種々対策が必要である。
なお、果樹類もあるが、自給の域にとどまっている。養鶏も増えつつある。
（専業化の傾向にある）

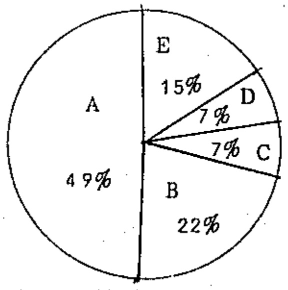


Fig1. 所得的階層分化の状況

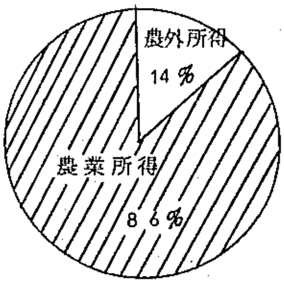


Fig2. 農家所得構成

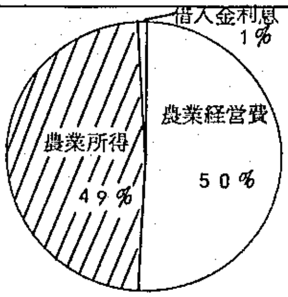


Fig3. 農業所得率

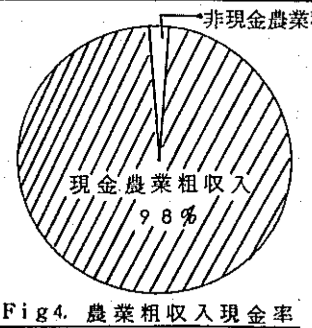


Fig4. 農業粗収入現金率

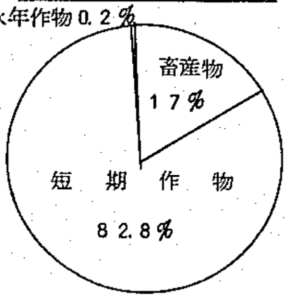


Fig5. 農畜産物販売状況

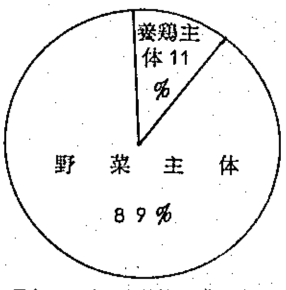


Fig6. 経営形態別農家構成

3. 農家経済の概況　（農家一戸当り平均）

単位：千円

① 入植経過年月	10年7月	② 家族人数	5.7人	③農業換算労働人数	2.7人

④土地利用状況Ha

開墾地											未開墾地(含利用不能地)	所有地計	借地計
耕地					耕地外					開墾地計			
田	畑	樹園地	採牧草地	小計	放牧地	植林地	宅地	廃耕地	小計				
0	3.9	3.0	0.8	7.7	1.6	0	0.1	1.5	3.2	10.9	6.2	17.1	2.3

⑤動植物所有状況

動物（頭羽数）										植物（本数）									
肉牛		乳牛		馬		豚		鶏		柑橘		ぶどう		パインアップル		桃		マモン	
仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	未	成	未	成	未	成	未	成	未	成
0.4	0.4	0.4	0.5	0	0.1	0.2	0.7	100	158	77	60	55	ha 0.01	ha 0.1	ha 0.2	99	6	0	31

⑥負債状況

	長期借入金残高				短期借入金残高				借入金残高計	土地代残額	未払経費期末残額	負債計
	事業団	現地機関	個人他	小計	事業団	現地機関	個人他	小計				
平均	109	85	29	223	0	33	30	63	286	4	70	360
最高	572	1001	572	1527	0	343	429	429	1956	114	755	1,956
最底	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

⑦農畜産物販売状況

	移住地売上順位	産物名	売上高（平均）	売上高（最高）	売上高（最底）
短期作物	才1位	トマト	1,702	9,438	0
	才2位	その他野菜	506	3,861	0
	才3位	スイカ、メロン	127	1,044	0
永年作物	才1位	マモン	3	86	0
	才2位				
	才3位				
畜産物	才1位	鶏卵	464	6,449	0
	才2位	牛乳	17	257	0
	才3位	鶏肉	14	183	0

⑧農業経営費

現金農業経営費										非現金農業経営費			合計
生産経費									販売経費	減価償却費	期末未払農業経営費	計	
雇用労賃	肥料代	農薬代	飼料代	燃料代	種苗種畜費	補助材料代	その他	小計					
380	221	124	171	59	83	37	127	1202	254	0	0	0	1456

⑨農家経済総括

	永年作物	短期作物	畜産物	現金農業粗収入計	非現金農業粗収入計	農業粗収入計	農業経営費	借入金利息	農業所得	農外収入	農外支出	農外所得	農家所得	家計費	(農家経済余剰)
平均	6	2339	495	2840	69	2909	1456	35	1418	587	352	235	1,653	606	(1047)
最高	137	9,438	6,692	9,467	572	10,039	5,165	229	6664	4256	2860	2355	5606	—	
最底	0	0	0	54	0	54	77	0	-1,158	0	0	-1,144	-1,158	—	

移住地名　ガ ル ア ペ ー

調査対象期間	昭和43年9月～44年8月	入植戸数	41戸	調査戸数	36戸

1. 移 住 地 概 況

① 所在地	ミシオネス州R.H.S.マルチン郡	＜地図番号＞ ㊶
② 管理機関	事業団	
③ 入植開始年度	昭和34年	
④ 面積	3,110 ha (1ロッテ=30 ha)	
⑤ 近傍市場	ポサーダス市（人口15万人 陸路175Km） エルドラード市（人口4万人 陸路80Km）	

2. 地 区 営 農 概 況

本年は短期作永年作ともほゞ順調であった。価格のうちマテ茶は前年比50％高、マンジョカも同様で品不足、油桐は米国の霜害影響で価格高、柑橘はジュース工場向として価格高等、大体高値で推移した。当地入植者は共同出荷（油桐タバコ、マンジョカ等）を進めるなど積極的である。当州（ミシオネス州）の代表的作目である植林紅茶等が次才に経営に取り入れられ将来が楽しみである。

しかしこれまで代表的な作目であったマテ茶は生産、販売が自由化され大農に有利なものとなりつゝある。

一般的に永年作（植林、柑橘類）植付けのための新規伐開が増えつつある。

畜産も同様増えつつある。

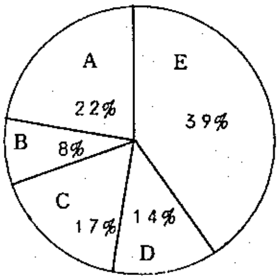


Fig1. 所得的階層分化の状況

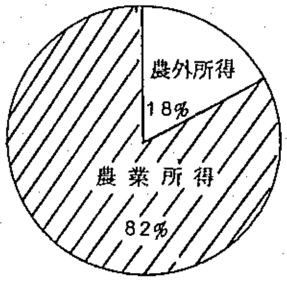


Fig2. 農家所得構成

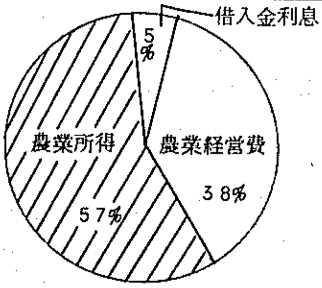


Fig3. 農業所得率

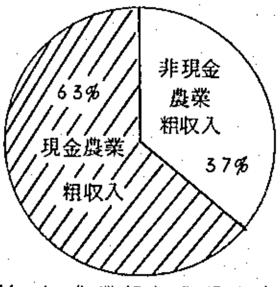


Fig4. 農業粗収入現金率

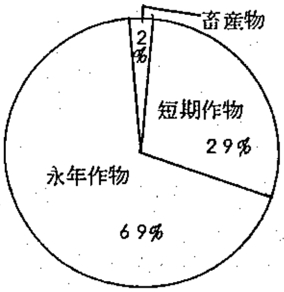


Fig5. 農畜産物販売状況

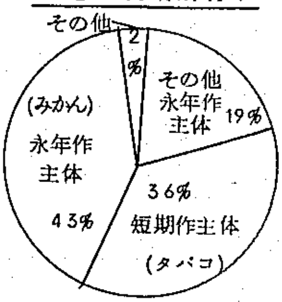


Fig6. 経営形態別農家構成

3. 農家経済の概況 (農家一戸当り平均)

単位：千円

① 入植経過年月	8年4月	② 家族人数	5.3人	③農業換算労働人数	2.8人

④ 土地利用状況 (ha)

開墾地											未開墾地(含利用不能地)	所有地計	借地計
耕地					耕地外					開墾地計			
田	畑	樹園地	採草地	小計	放牧地	植林地	宅地	廃耕地	小計				
0	1.9	9.0	0.3	11.2	1.1	6.6	0.6	3.5	11.8	23	19.8	42.8	0

⑤ 動植物所有状況

動物 (頭羽数)										植物 (本数)									
肉牛		乳牛		馬		豚		鶏		みかん		松		油桐		ユーカリ		紅茶	
仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	未	成	未	成	未	成	未	成	未	成
02	18	03	06	0	03	0.1	07	10	14	419	473	7,348	44	44	900	222	122	139	269

⑥ 負債状況

	長期借入金残高				短期借入金残高				借入金残高計	土地代残額	未払経費期末残額	負債計
	事業団	現地機関	個人他	小計	事業団	現地機関	個人他	小計				
平均	676	336	0	1,012	39	32	46	117	1,129	541	7	1,677
最高	2,534	1,854	0	4,007	330	309	1,030	1,030	4,007	1,417	237	4,470
最底	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	156

⑦ 農畜産物販売状況

	移住地売上順位	産物名	売上高(平均)	売上高(最高)	売上高(最底)
短期作物	才1位	苗木	74	1,792	0
	才2位	タバコ	73	411	0
	才3位	豆類	23	657	
永年作物	才1位	みかん	407	3,337	0
	才2位	油桐	29	474	0
	才3位	マテ茶	23	587	0
畜産物	才1位	牛	4	62	0
	才2位	豚	3	37	0
	才3位	蜂蜜	2	70	0

⑧ 農業経営費

現金農業経営費										非現金農業経営費			合計
生産経費									販売経費	減価償却費	期末未払農業経営費	計	
雇用労賃	肥料代	農薬代	飼料代	燃料代	種苗種畜費	補助材料代	その他	小計					
87	61	29	2	17	30	24	39	289	16	115	4	119	424

⑨ 農家経済総括

	永年作物	短期作物	畜産物	現金農業粗収入計	非現金農業粗収入計	農業粗収入計	農業経営費	借入金利息	農業所得	農外収入	農外支出	農外所得	農家所得	家計費	(農家経済余剰)
平均	463	203	11	697	414	1,111	424	53	634	227	89	138	772	334	(438)
最高	3,337	1,792	107	3337	1,530	4491	1,969	258	3,562	1,545	1,236	773	3,863	915	
最底	0	0	0	0	15	15	42	0	-299	0	0	-11	-144	75	

移住地名　ア　ン　デ　ス

調査対象期間	昭和43年9月～44年8月	入植戸数	24戸	調査戸数	22戸

1. 移住地概況

① 所在地	メンドサ州サンラファエル郡	＜地図番号＞　⑫
② 管理機関	事業団	
③ 入植開始年度	昭和37年	
④ 面積	1,312ha（1ロッテ＝10ha）	
⑤ 近傍市場	ヘネラル・アルベアール市（人口4万人、陸路14Km）	

2. 地区営農概況

依然として厳しい農年度であった。トマト、ピーマン、メロン等の蔬菜は2度に亘る風害、雹害により減収した。（しかし、価格高で収支面はカバーされたが）一方、ブドーは初収獲をみ、共同出荷を進めた。しかし、収入は肥料、農薬代　に振向けられた。

入植者は短期作による増収の困難性を実感しブドー、桃等の永年作に重点を置く方針であるが、永年作の収入期までの営農生活資金のやりくり問題に頭を悩ましている。従ってこの面についての慎重な対処が必要がある。

今年の場合、従来に比し市場の心配はなく殆んど順調に販売された。

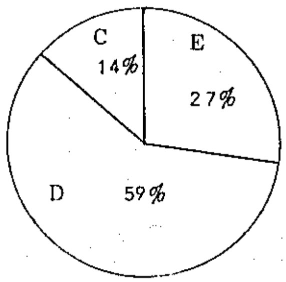


Fig1. 所得的階層分化の状況

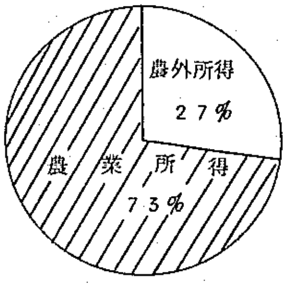


Fig2. 農家所得構成

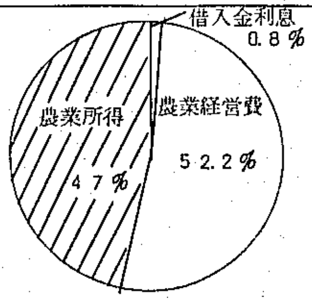


Fig3. 農業所得率

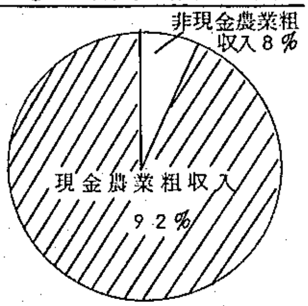


Fig4. 農業粗収入現金率

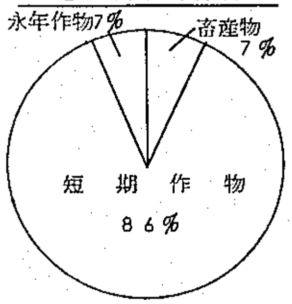


Fig5. 農畜産物販売状況

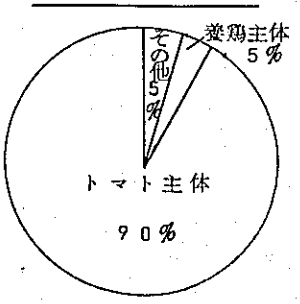


Fig6. 経営形態別農家構成

3. 農家経済の概況　（農家一戸当り平均）　　単位：千円

① 入植経過年月	5年3月	② 家族人数	4.5人	③農業換算労働人数	2.2人

④ 土地利用状況 ha

開墾地 耕地 田	畑	樹園地	採牧草地	小計	耕地外 放牧地	植林地	宅地	廃耕地	小計	開墾地計	未開墾地（含利用不能地）	所有地計	借地計
0	3.7	4.0	3.1	10.8	0.3	0	0.4	0.6	1.3	12.1	4.0	16.1	0

⑤ 動植物所有状況

動物（頭羽数） 肉牛 仔	肉牛 成	乳牛 仔	乳牛 成	馬 仔	馬 成	豚 仔	豚 成	鶏 仔	鶏 成	植物（本数） ブドー 未	ブドー 成	桃 未	桃 成	すもも 未	すもも 成	あんず 未	あんず 成	未	成
0	0	0	0.3	0	1.0	0.3	1.0	16	28	6,136	0	323	40	71	0	7	0		

⑥ 負債状況

	長期借入金残高 事業団	現地機関	個人他	小計	短期借入金残高 事業団	現地機関	個人他	小計	借入金残高計	土地代残額	未払経費期末残額	負債計
平均	1,120	0	0	1,120	208	3	1	212	1,332	2,590	1	3,923
最高	1,415	0	0	1,415	472	62	31	534	1,614	3,560	19	5,304
最底	882	0	0	882	0	0	0	0	940	0	0	940

⑦ 農畜産物販売状況

	移住地売上順位	産物名	売上高（平均）	売上高（最高）	売上高（最底）
短期作物	オ1位	トマト	424	1,040	0
	オ2位	メロン	24	332	0
	オ3位	アルファルファ	21	87	0
永年作物	オ1位	ブドウ	33	278	0
	オ2位	桃	7	57	0
	オ3位				
畜産物	オ1位	牛乳	20	340	0
	オ2位	鶏	16	361	0
	オ3位	豚	2	27	0

⑧ 農業経営費

現金農業経営費 生産経費 雇用労賃	肥料代	農薬代	飼料代	燃料代	種苗種畜費	補助材料代	その他	小計	販売経費	非現金農業経営費 減価償却費	期末未払農業経営費	計	合計
87	58	14	26	10	36	4	54	289	35	0	4	4	328

⑨ 農家経済総括

	永年作物	短期作物	畜産物	現金農業粗収入計	非現金農業粗収入計	農業粗収入計	農業経営費	借入金利息	農業所得	農外収入	農外支出	農外所得	農家所得	家計費	（農家経済余剰）
平均	41	494	39	574	53	627	328	5	294	113	3	110	404	216	(188)
最高	321	1,198	387	1,206	103	1,267	571	67	811	567	72	567	860	508	
最底	0	33	0	33	0	33	0	0	−131	0	0	0	148	120	

移住地名 サン・ファン

調査対象期間	昭和43年5月～44年4月	入植戸数	252戸	調査戸数	159戸

1. 移住地概況

① 所在地	サンタクルース州イチロー郡　＜地図番号＞ ㊸
② 管理機関	事業団
③ 入植開始年度	昭和30年
④ 面積	27,132 ha （1ロッテ＝50 ha）
⑤ 近傍市場	サンタクルース市（人口11万人、陸路140Km）モンテーロ市（人口2万人、陸路86Km）

2. 地区営農概況

柑橘は4～5月の低温で果汁濃度高く市場で好評を博している。主作物である陸稲は病虫害で作柄は良くなかった。その他とうもろこし、スイカ、大豆、バレイショ等は平年並であった。当地の畜産は次才に増えているが養鶏は伸び悩んでいる。

当地農協の重機械による耕地造成は、入植者の積極的な意向から増加しており造成耕地化が進んでいる。また地力維持のための作物導入（大豆等）が行なわれている。

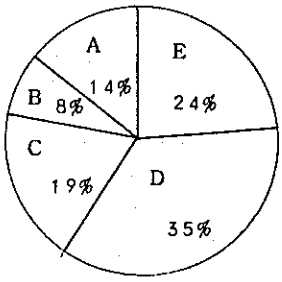


Fig1. 所得的階層分化の状況

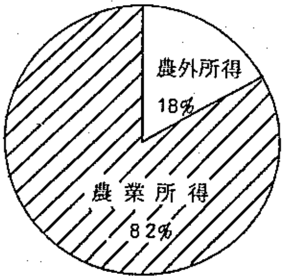


Fig2. 農家所得構成

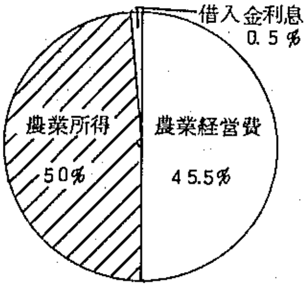


Fig3. 農業所得率

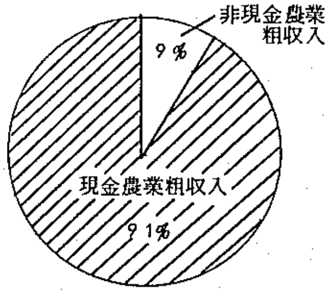


Fig4. 農業粗収入現金率

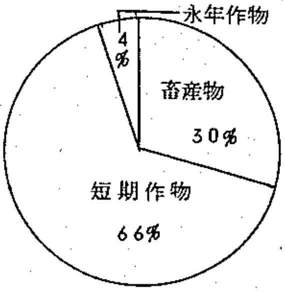


Fig5. 農畜産物販売状況

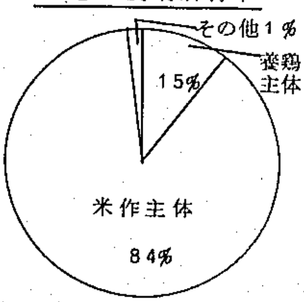


Fig6. 経営形態別農家構成

3. 農家経済の概況　（農家一戸当り平均）

単位：千円

① 入植経過年月	9年3月	② 家族人数	6.3人	③農業換算労働人数	3.0人

④ 土地利用状況（ha）

開墾地											未開墾地（含利用不能地）	所有地計	借地計
耕地					耕地外					開墾地計			
田	畑	樹園地	採草放牧地	小計	放牧地	植林地	宅地	廃耕地	小計				
0	13.0	0.5	3.3	16.8	0.7	0.04	0.8	28	29.54	46.34	344	80.74	0

⑤ 動植物所有状況

動物（頭羽数）										植物（本数）									
肉牛		乳牛		馬		豚		鶏		みかん		バナナ		パインアップル		マンゴ		チリモヤ	
仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	未	成	未	成	未	成	未	成	未	成
1.1	1.8	0	0	0.03	0.8	0.3	0.8	144	219	18	35	13	114	0	24	0.4	0.4	0	0.5

⑥ 負債状況

	長期借入金残高				短期借入金残高				借入金残高計	土地代残額	未払経費期末残額	負債計
	事業団	現地機関	個人他	小計	事業団	現地機関	個人他	小計				
平均	92	1	2	95	227	0	4	231	326	0	1	327
最高	1,260	126	90	1,284	1,263	0	120	1,263	1,284	0	87	1,284
最底	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

⑦ 農畜産物販売状況

	移住地売上順位	産物名	売上高（平均）	売上高（最高）	売上高（最底）
短期作物	才1位	米	607	3,950	0
	才2位	とうもろこし	19	480	0
	才3位	スイカ	10	510	0
永年作物	才1位	みかん	15	990	0
	才2位	バナナ	9	600	0
	才3位				
畜産物	才1位	鶏卵	196	3,024	0
	才2位	鶏肉	85	780	0
	才3位	豚	4	157	0

⑧ 農業経営費

現金農業経営費										非現金農業経営費			合計
生産経費									販売経費	減価償却費	期末未払農業経営費	計	
雇用労賃	肥料代	農薬代	飼料代	燃料代	種苗種畜費	補助材料代	その他	小計					
233	6	16	98	16	17	12	35	433	59	47	0	47	539

⑨ 農家経済総括

	永年作物	短期作物	畜産物	現金農業粗収入計	非現金農業粗収入計	農業粗収入計	農業経営費	借入金利息	農業所得	農外収入	農外支出	農外所得	農家所得	家計費	（農家経済余剰）
平均	40	653	300	993	99	1,092	539	5	548	166	47	119	667	361	（306）
最高	1,005	4,331	3,804	5,544	486	5,628	2,951	240	2,677	1,668	1,175	1,440	3,107	1,491	
最底	0	0	0	23	16	54	10	0	-335	0	0	-271	-1,085	50	

移住地名　沖　縄　第　1

調査対象期間	昭和43年7月〜44年6月	入植戸数	213戸	調査戸数	157戸

1. 移　住　地　概　況

① 所　在　地	サンタクルース州ワルネス郡　＜地図番号＞ ⑭
② 管理機関	事業団（1967年7月以降）
③ 入植開始年度	昭和31年
④ 面　　積	18,181ha（1ロッテ＝50ha）
⑤ 近傍市場	サンタクルース市（人口11万人、陸路96Km）、モンテーロ市（人口2万人、陸路42Km）

2. 地　区　営　農　概　況

陸稲は出穂期に　雨のため平年作以下であった。とうもろこしは良好であった。
小麦もやや良のほうであった。畜産は次第に増えつつあるが第1では豚の疫病第2及び第3では鶏のニューカッスル病、牛炭疽病が発生、それぞれ事なきを得たものの一時心配された。砂糖キビ栽培は面積増の一途で米収入に匹敵しつつある。
特に第3では、大きなウェイトを占めている。
なお、沖縄3移住地はサンファン移住地より雨量少なく、3移住地の中でも第3移住地は本年第1移住地の雨量の半分位で今後耐旱性作物の導入が必要である。これは牧草にもいえ牛の青草不足のためとうもろこしの青刈りで対処せざるを得なかった。

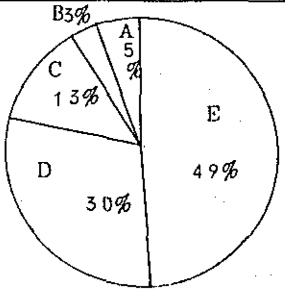


Fig1. 所得的階層分化の状況

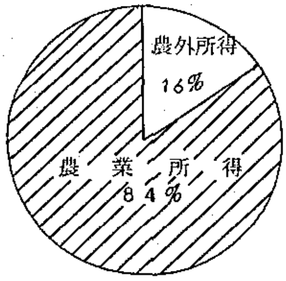


Fig2. 農家所得構成

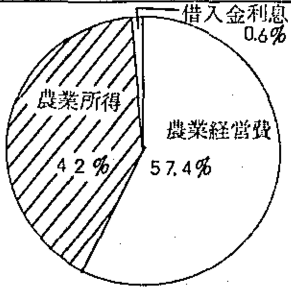


Fig3. 農業所得率

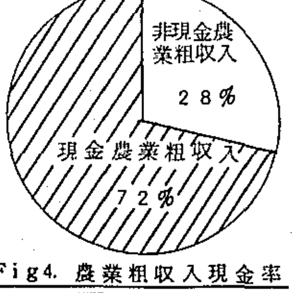


Fig4. 農業粗収入現金率

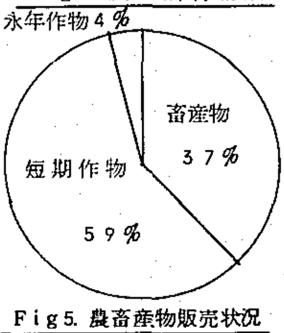


Fig5. 農畜産物販売状況

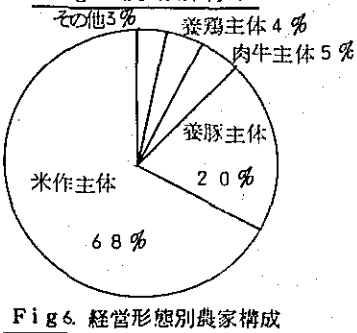


Fig6. 経営形態別農家構成

3. 農家経済の概況 (農家一戸当り平均)

単位：千円

① 入植経過年月	11年7月	② 家族人数	6.4人	③農業換算労働人数	3.2人

④ 土地利用状況

開墾地											未開墾地(含利用不能地)	所有地計	借地計
耕地					耕地外					開墾地計			
田	畑	樹園地	採牧草地	小計	放牧地	植林地	宅地	廃耕地	小計				
Ha 0	16.9	0.5	14.8	32.2	2.3	0	0.9	25.0	28.2	60.4	44.9	105.3	0

⑤ 動植物所有状況

動物 (頭羽数)										植物 (本数)									
肉牛		乳牛		馬		豚		鶏		みかん		バナナ		パイン					
仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	未	成	未	成	未	成	未	成	未	成
1.1	4.0	0.2	0.5	0.1	1.3	5.5	11.8	51	154	4	24	8	27	0	1.5				

⑥ 負債状況

	長期借入金残高				短期借入金残高				借入金残高計	土地代残額	未払経費期末残額	負債計
	事業団	現地機関	個人他	小計	事業団	現地機関	個人他	小計				
平均	41	24	1	66	19	19	16	54	120	11	6	137
最高	1260	450	65	1260	864	360	360	1224	1260	600	180	1,500
最底	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

⑦ 農畜産物販売状況

	移住地売上順位	産物名	売上高(平均)	売上高(最高)	売上高(最底)
短期作物	才1位	米	244	3,570	0
	才2位	とうもろこし	46	1,500	0
	才3位	大豆	3	165	0
永年作物	才1位	砂糖キビ	21	1,440	0
	才2位	みかん	1	60	0
	才3位				
畜産物	才1位	豚	98	900	0
	才2位	牛	39	1,500	0
	才3位	鶏肉	35	462	0

⑧ 農業経営費

現金農業経営費										非現金農業経営費			合計
生産経費									販売経費	減価償却費	期末未払農業経営費	計	
雇用労賃	肥料代	農薬代	飼料代	燃料代	種苗種畜費	補助材料代	その他	小計					
283	0	2	26	8	3	5	7	334	29	57	0	57	420

⑨ 農家経済総括

	永年作物	短期作物	畜産物	現金農業粗収入計	非現金農業粗収入計	農業粗収入計	農業経営費	借入金利息	農業所得	農外収入	農外支出	農外所得	農家所得	家計費	(農家経済余剰)
平均	22	307	195	524	203	727	420	4	303	97	38	59	362	352	(10)
最高	1,440	3,570	1,590	5,160	1,118	5,160	4993	101	1,485	1,500	1200	694	1,485	950	
最底	0	0	0	0	−1,125	−1,035	8	0	−1,449	0	0	−564	−927	87	

移住地名 沖 縄 第 2

調査対象期間	昭和43年7月~44年6月	入植戸数	159戸	調査戸数	105戸

1. 移 住 地 概 況

① 所 在 地	サンタクルース州ワルネス郡	<地図番号> ㊺
② 管 理 機 関	事 業 団	
③ 入植開始年度	昭和34年	
④ 面 積	16,774ha(1ロッテ=50ha)	
⑤ 近 傍 市 場	サンタクルース市(人口11万人、陸路65Km)	

2. 地 区 営 農 概 況

「沖縄第1」と同じ

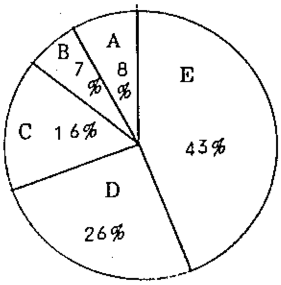


Fig1. 所得的階層分化の状況

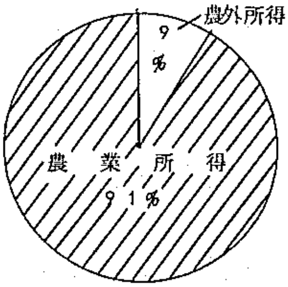


Fig2. 農家所得構成

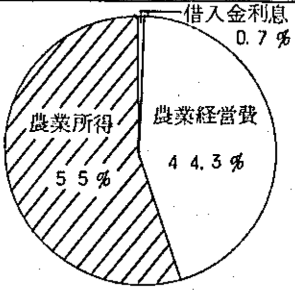


Fig3. 農業所得率

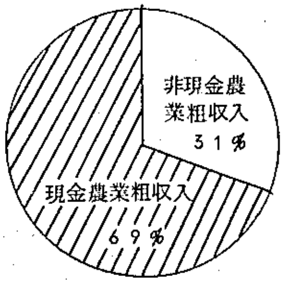


Fig4. 農業粗収入現金率

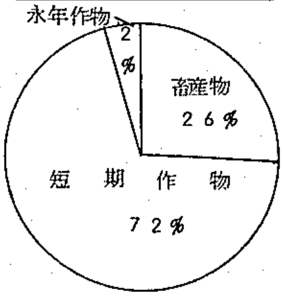


Fig5. 農畜産物販売状況

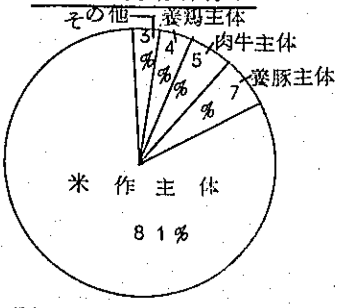


Fig6. 経営形態別農家構成

3. 農家経済の概況 （農家一戸当り平均）

単位：千円

① 入植経過年月	9年5月	② 家族人数	6.6人	③農業換算労働人数	3.6人

④ 土地利用状況 Ha

開墾地											未開墾地（含利用不能地）	所有地計	借地計
耕地					耕地外					開墾地計			
田	畑	樹園地	採牧草地	小計	放牧地	植林地	宅地	廃耕地	小計				
0.1	15.0	0.1	12.6	27.8	8.1	0	0.9	15.8	24.8	52.6	43.4	96	0

⑤ 動植物所有状況

動物（頭羽数）										植物（本数）									
肉牛		乳牛		馬		豚		鶏		みかん		バナナ		パインアップル					
仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	未	成	未	成	未	成	未	成	未	成
1.6	6.3	0.04	0.7	0.1	1.4	4.1	6.8	54	125	8	12	0.5	20	0	0.1				

⑥ 負債状況

	長期借入金残高				短期借入金残高				借入金残高計	土地代残額	未払経費期末残額	負債計
	事業団	現地機関	個人他	小計	事業団	現地機関	個人他	小計				
平均	37	41	14	92	1	25	8	34	126	3	0	129
最高	719	900	1,050	1,050	57	252	150	252	1,050	90	30	1,050
最底	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

⑦ 農畜産物販売状況

	移住地売上順位	産物名	売上高（平均）	売上高（最高）	売上高（最底）
短期作物	才1位	米	379	1,785	0
	才2位	とうもろこし	44	750	0
	才3位	大豆	3	108	0
永年作物	才1位	砂糖キビ	13	1,260	0
	才2位				
	才3位				
畜産物	才1位	牛	55	1,200	0
	才2位	豚	51	360	0
	才3位	鶏肉	26	300	0

⑧ 農業経営費

現金農業経営費										非現金農業経営費			合計
生産経費									販売経費	減価償却費	期末未払農業経営費	計	
雇用労賃	肥料代	農薬代	飼料代	燃料代	種苗種畜費	補助材料代	その他	小計					
254	0	3	7	8	1	6	17	296	36	48	0	48	380

⑨ 農家経済総括

	永年作物	短期作物	畜産物	現金農業粗収入計	非現金農業粗収入計	農業粗収入計	農業経営費	借入金利息	農業所得	農外収入	農外支出	農外所得	農家所得	家計費	（農家経済余剰）
平均	14	429	154	597	267	864	380	6	478	60	13	47	525	326	（199）
最高	1,260	1,785	1,242	2507	1,525	3526	1,566	105	2,691	720	180	540	2,691	879	
最底	0	0	0	0	0	39	9	0	−454	0	0	0	−356	98	

移住地名　沖　縄　第　3

調査対象期間	昭和43年7月～44年6月	入植戸数	65戸	調査戸数	46戸

1. 移　住　地　概　況

① 所　在　地	サンタクルース州ワルネス郡	＜地図番号＞　㊻
② 管　理　機　関	事　業　団（1967年7月以降）	
③ 入植開始年度	昭和37年	
④ 面　　積	18,321ha（1ロッテ＝50ha）	
⑤ 近　傍　市　場	サンタクルース市（人口11万人、陸路55Km）	

2. 地　区　営　農　概　況

「沖縄第1」と同じ。

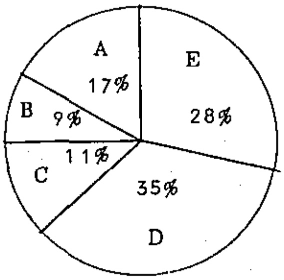


Fig1. 所得的階層分化の状況

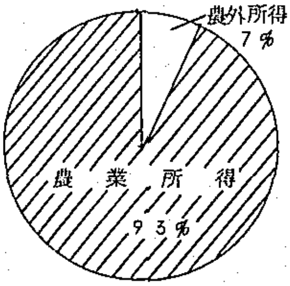


Fig2. 農家所得構成

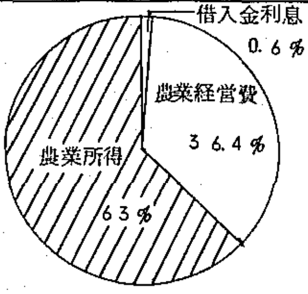


Fig3. 農業所得率

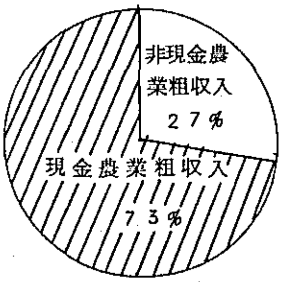


Fig4. 農業粗収入現金率

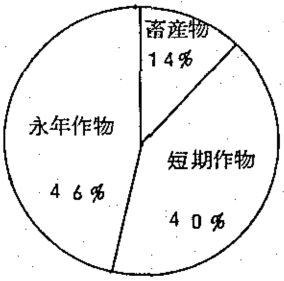


Fig5. 農畜産物販売状況

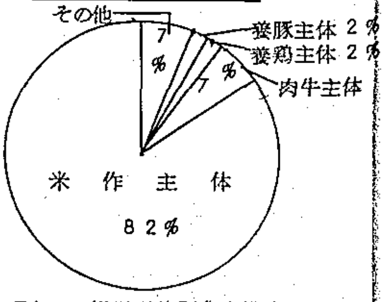


Fig6. 経営形態別農家構成

3. 農家経済の概況　（農家一戸当り平均）

単位：千円

① 入植経過年月	7年1月	② 家族人数	7.0人	③農業換算労働人数	4.0人

④ 土地利用状況Ha

開墾地 耕地 田	畑	樹園地	採草地	小計	耕地外 放牧地	植林地	宅地	廃耕地	小計	開墾地計	未開墾地（含利用不能地）	所有地計	借地計
0	15.7	0.3	8.8	24.8	0.7	0	1.0	3.7	5.4	30.2	31.8	62.0	0

⑤ 動植物所有状況

動物（頭羽数） 肉牛 仔	肉牛 成	乳牛 仔	乳牛 成	馬 仔	馬 成	豚 仔	豚 成	鶏 仔	鶏 成	植物（本数） みかん 未	みかん 成	バナナ 未	バナナ 成	未	成	未	成	未	成
1.0	3.7	0	0.2	0	1.3	1.5	3.6	28	155	25	11	0	1.7						

⑥ 負債状況

	長期借入金残高 事業団	現地機関	個人他	小計	短期借入金残高 事業団	現地機関	個人他	小計	借入金残高計	土地代残額	未払経費期末残額	負債計
平均	15	19	10	44	0	9	18	27	71	3	13	87
最高	252	240	240	348	0	90	360	360	612	135	600	948
最底	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

⑦ 農畜産物販売状況

	移住地売上順位	産物名	売上高（平均）	売上高（最高）	売上高（最底）
短期作物	才1位	米	266	1,250	0
	才2位	とうもろこし	47	210	0
	才3位	大豆	3	72	0
永年作物	才1位	砂糖キビ	371	4,428	0
	才2位				
	才3位				
畜産物	才1位	鶏肉	41	300	0
	才2位	牛	37	630	0
	才3位	豚	29	225	0

⑧ 農業経営費

現金農業経営費 生産経費 雇用労賃	肥料代	農薬代	飼料代	燃料代	種苗種畜費	補助材料代	その他	小計	販売経費	非現金農業経営費 減価償却費	期末未払農業経営費	計	合計
200	0	1	9	54	0	7	18	289	43	71	0	71	403

⑨ 農家経済総括

	永年作物	短期作物	畜産物	現金農業粗収入計	非現金農業粗収入計	農業粗収入計	農業経営費	借入金利息	農業所得	農外収入	農外支出	農外所得	農家所得	家計費	（農家経済余剰）
平均	371	318	113	802	297	1099	403	7	689	81	31	50	739	326	(413)
最高	4428	1310	885	4458	1,118	5575	2445	162	4564	720	540	403	4968	709	
最底	0	0	0	15	41	170	32	0	−421	0	0	−54	−421	82	

移住地名　ダ　ハ　ボ　ン

調査対象期間	昭和44年1月～12月	入植戸数	16戸	調査戸数	14戸

1. 移　住　地　概　況

① 所　在　地	リベルタドール県	＜地図番号＞　㊼
② 管理機関	ドミニカ国政府	
③ 入植開始年度	昭和31年	
④ 面　積	1.200ha（1ロッテ＝6ha）	
⑤ 近傍市場	ダハボン市（人口0.9万人、陸路65Km）、サンチャゴ市（人口10万人、陸路150Km）	

2. 地　区　営　農　概　況

例年、水不足のため十分な成績をあげられなかった米作は本年天候に恵まれ、数年振りの豊作であった。篤農家により改良された米作品種は多収獲の実績をあげている。また蔬菜も品不足のため全般的に高値で販売された。米は仲買人の思惑買い盛んで販売は良好であった。

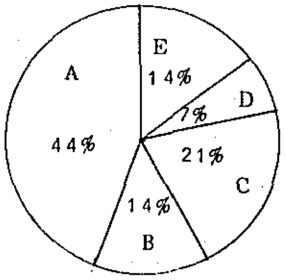


Fig1. 所得的階層分化の状況

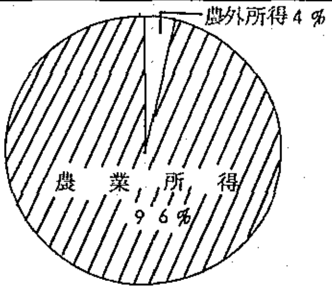


Fig2. 農家所得構成

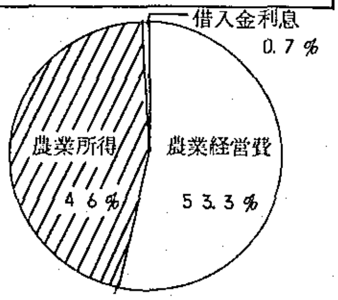


Fig3. 農業所得率

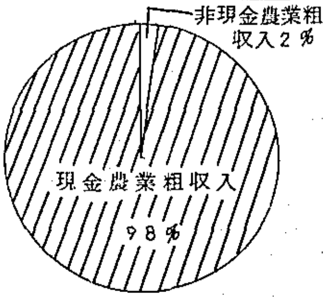


Fig4. 農業粗収入現金率

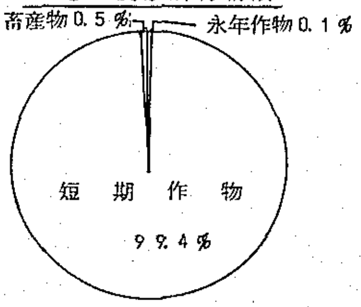


Fig5. 農畜産物販売状況

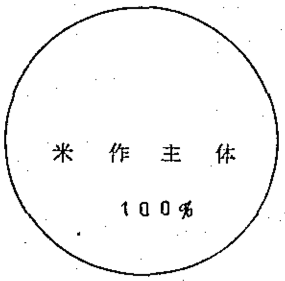


Fig6. 経営形態別農家構成

3. 農家経済の概況　（農家一戸当り平均）

単位：千円

① 入植経過年月	11年	② 家族人数	3.9人	③農業換算労働人数	1.5人

④ 土地利用状況 Ha

開墾地										開墾地計	未開墾地（含利用不能地）	所有地計	借地計
耕地					耕地外								
田	畑	樹園地	採牧草地	小計	放牧地	植林地	宅地	廃耕地	小計				
6.5	0.3	0	0.1	6.9	0	0	0	0.3	0.3	7.2	0	7.2	1.6

⑤ 動植物所有状況

動物（頭羽数）										植物（本数）									
肉牛		乳牛		馬		豚		鶏											
仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	未	成	未	成	未	成	未	成	未	成
0	0.6	0	0	0	0.4	0.1	1.6	0	7										

⑥ 負債状況

	長期借入金残高				短期借入金残高				借入金残高計	土地代残額	未払経費期末残額	負債計
	事業団	現地機関	個人他	小計	事業団	現地機関	個人他	小計				
平均	131	0	12	143	104	108	121	333	476	26	66	568
最高	900	0	162	900	45	828	720	954	954	360	432	1,158
最底	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

⑦ 農畜産物販売状況

	移住地売上順位	産物名	売上高（平均）	売上高（最高）	売上高（最底）
短期作物	才1位	米	2,538	5,976	716
	才2位	野菜	68	792	0
	才3位				
永年作物	才1位	プラタノ	3	414	0
	才2位				
	才3位				
畜産物	才1位	鶏卵	13	180	0
	才2位				
	才3位				

⑧ 農業経営費

現金農業経営費										非現金農業経営費			合計
生産経費									販売経費	減価償却費	期末未払農業経営費	計	
雇用労賃	肥料代	農薬代	飼料代	燃料代	種苗種畜費	補助材料代	その他	小計					
735	194	14	11	64	15	7	201	1241	6	139	30	169	1,416

⑨ 農家経済総括

	永年作物	短期作物	畜産物	現金農業粗収入計	非現金農業粗収入計	農業粗収入計	農業経営費	借入金利息	農業所得	農外収入	農外支出	農外所得	農家所得	家計費	（農家経済余剰）
平均	3	2611	13	2627	48	2675	1,416	18	1,241	400	354	46	1287	813	(474)
最高	414	5976	180	6,156	180	6,228	3239	204	3,168	3212	2520	2,020	3312	1,454	
最底	0	716	0	716	0	846	426	0	−230	0	0	−1,872	−335	226	

移住地名　コンスタンサ

調査対象期間	昭和44年1月～12月	入植戸数	16戸	調査戸数	10戸

1. 移住地概況

① 所在地	ラ・ベガ県	＜地図番号＞　⑱
② 管理機関	ドミニカ国政府	
③ 入植開始年度	昭和31年	
④ 面積	900ha（1ロッテ＝5ha）	
⑤ 近傍市場	コンスタンサ市（人口1.1万人、陸路1Km）、サント・ドミンゴ市（人口35万人、陸路184Km）	

2. 地区営農概況

蔬菜主体であるが、例年より雨季が早く3～6月降雨が続いた。このため当地特産にんにくは作況が悪く、その他の蔬菜も悪かった。しかし、市況は品薄で高値であったが、減収がひどくカバーできなかった。
当地は管内移住地の中で本年の成績からみると収支面は極度に悪かった。
その他、年末においてXマスと正月用の当地作目の一つである花卉（カーネーション、菊、バラ等）が出荷された。

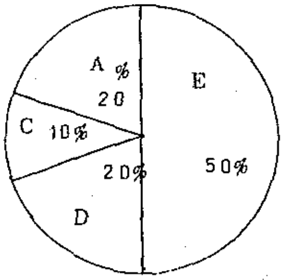


Fig1. 所得的階層分化の状況

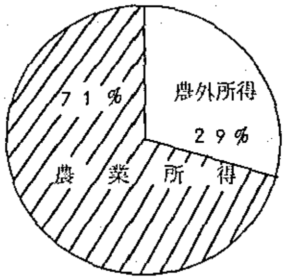


Fig2. 農家所得構成

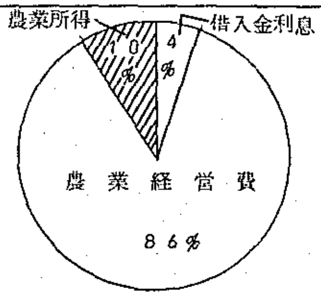


Fig3. 農業所得率

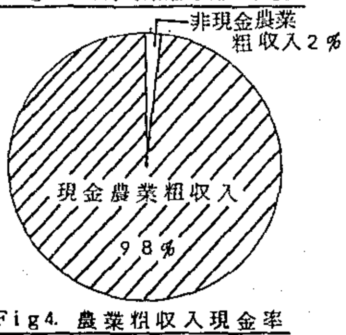


Fig4. 農業粗収入現金率

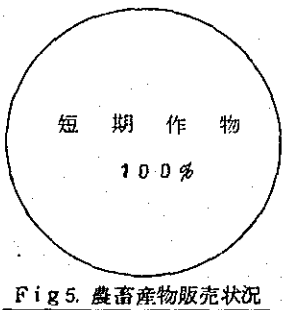


Fig5. 農畜産物販売状況

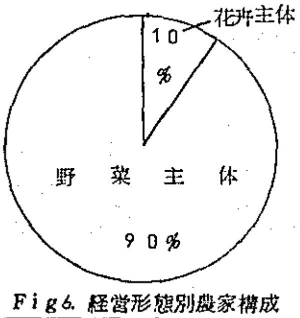


Fig6. 経営形態別農家構成

3. 農家経済の概況　(農家一戸当り平均)

単位：千円

① 入植経過年月	12年10月	② 家族人数	4.7人	③農業換算労働人数	2.1人

④土地利用状況 (Ha)

開墾地											未開墾地(含利用不能地)	所有地計	借地計
耕地					耕地外					開墾地計			
田	畑	樹園地	採草放牧地	小計	放牧地	植林地	宅地	廃耕地	小計				
0	4.4	0	0	4.4	0	0	0	0	0	4.4	0	4.4	0.8

⑤動植物所有状況

動物(頭羽数)										植物(本数)									
肉牛		乳牛		馬		豚		鶏											
仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	未	成	未	成	未	成	未	成	未	成
0	0	0	0	0	0.5	0	0	2	3										

⑥負債状況

	長期借入金残高				短期借入金残高				借入金残高計	土地代残額	未払経費期末残額	負債計
	事業団	現地機関	個人他	小計	事業団	現地機関	個人他	小計				
平均	479	0	0	479	151	351	22	524	1,003	0	5	1,008
最高	1,836	0	0	1,836	864	1,440	205	1,440	3,096	0	47	3,096
最底	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

⑦農畜産物販売状況

	移住地売上順位	産物名	売上高(平均)	売上高(最高)	売上高(最底)
短期作物	才1位	野菜	894	1,908	90
	才2位	高級野菜	358	1,620	0
	才3位	ニンニク	339	1,404	0
永年作物	才1位				
	才2位				
	才3位				
畜産物	才1位				
	才2位				
	才3位				

⑧農業経営費

現金農業経営費										非現金農業経営費			合計
生産経費									販売経費	減価償却費	期末未払農業経営費	計	
雇用労賃	肥料代	農薬代	飼料代	燃料代	種苗種畜費	補助材料代	その他	小計					
457	298	188	5	36	220	32	176	1,412	18	123	1	124	1,554

⑨農家経済総括

	永年作物	短期作物	畜産物	現金農業粗収入計	非現金農業粗収入計	農業粗収入計	農業経営費	借入金利息	農業所得	農外収入	農外支出	農外所得	農家所得	家計費	(農家経済余剰)
平均	0	1,782	0	1,782	34	1,816	1,554	73	189	94	18	76	265	596	(-331)
最高	0	3,528	0	3,528	108	3,636	3,551	482	2,185	720	180	540	2,185	904	
最底	0	213	0	213	0	224	130	0	-1958	0	0	0	-1958	111	

移住地名　ハラバコア

調査対象期間	昭和44年1月～12月	入植戸数	18戸	調査戸数	10戸

1. 移住地概況

① 所在地	ラ・ベガ県	＜地図番号＞　㊾
② 管理機関	ドミニカ国政府	
③ 入植開始年度	昭和32年	
④ 面積	470ha（1ロッテ＝4.6ha）	
⑤ 近傍市場	ハラバコア市（人口0.5万人、陸路2Km）、サント・ドミンゴ市（人口35万人、陸路160Km）	

2. 地区営農概況

当地入植者の大部分は、米作農家であるが本年天候も良く作柄は良好であった。

1部農家はカナール（水路）改修工事のため、作付困難が予想されたが改修が完了事なきを得た。更に1本のカナール改修が進められており、これが完成すると水問題がなくなる見込みで明るいニュースである。

蔬菜は全国的な多雨のため良くなかった。しかし、トマト、カボチャ等は高値で販売された。

米は全般的に豊作で仲買人の思惑買が盛んなため販売も順調であった。

1部農家は畜産に目をつけつつある。

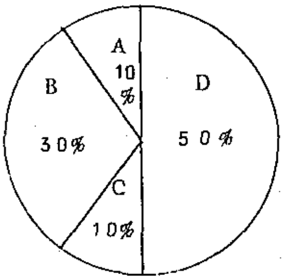


Fig1. 所得的階層分化の状況

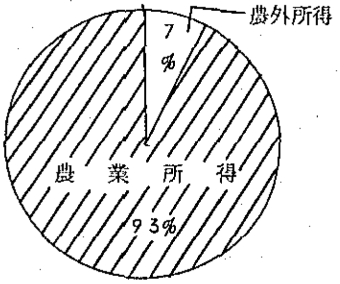


Fig2. 農家所得構成

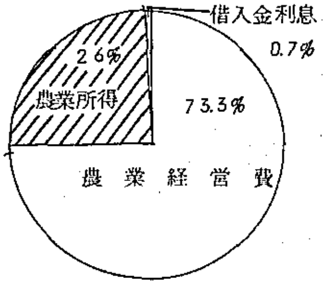


Fig3. 農業所得率

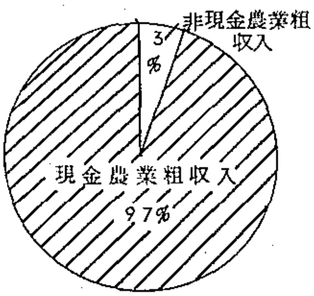


Fig4. 農業粗収入現金率

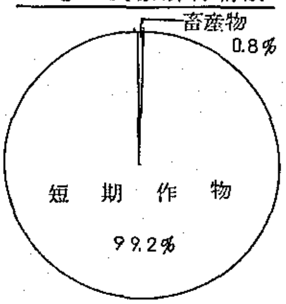


Fig5. 農畜産物販売状況

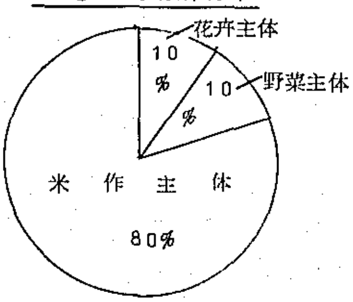


Fig6. 経営形態別農家構成

3. 農家経済の概況　(農家一戸当り平均)

単位：千円

① 入植経過年月	10年6月	② 家族人数	6.4人	③農業換算労働人数	2.4人

④ 土地利用状況 Ha

開墾地											未開墾地(含利用不能地)	所有地計	借地計
耕地					耕地外					開墾地計			
田	畑	樹園地	採牧草地	小計	放牧地	植林地	宅地	廃耕地	小計				
4.2	2.3	0	0	6.5	7.2	0	0	0.2	7.4	13.9	0	13.9	5.1

⑤ 動植物所有状況

動物 (頭羽数)										植物 (本数)											
肉牛		乳牛		馬		豚		鶏		みかん											
仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	仔	成	未	成	未	成	未	成	未	成	未	成		
1.1	2.6	0	0	0	0	1.3	0.4	2	3	200	0										

⑥ 負債状況

	長期借入金残高				短期借入金残高				借入金残高計	土地代残額	未払経費期末残額	負債計
	事業団	現地機関	個人他	小計	事業団	現地機関	個人他	小計				
平均	684	324	36	1,044	135	191	372	698	1,742	0	32	1,774
最高	2,520	1,440	360	3,960	468	1,080	3,240	3,600	7,560	0	184	7,560
最底	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

⑦ 農畜産物販売状況

	移住地売上順位	産物名	売上高(平均)	売上高(最高)	売上高(最底)
短期作物	才1位	米	1,810	8,820	0
	才2位	トマト	417	2,304	0
	才3位	カボチャ	167	1,066	0
永年作物	才1位				
	才2位				
	才3位				
畜産物	才1位	肉牛	21	122	0
	才2位	豚	3	18	0
	才3位				

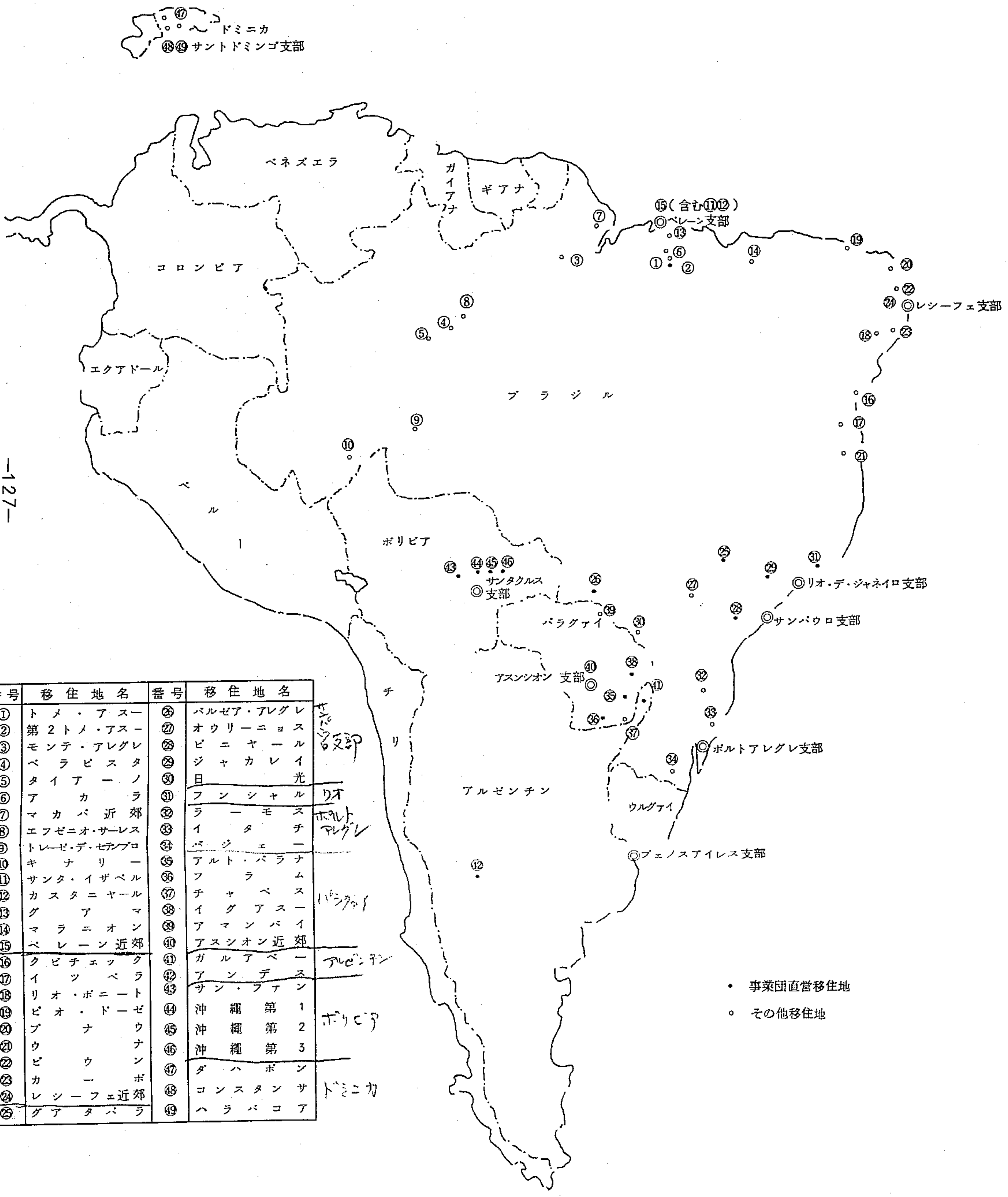
⑧ 農業経営費

現金農業経営費										非現金農業経営費			合計
生産経費									販売経費	減価償却費	期末未払農業経営費	計	
雇用労賃	肥料代	農薬代	飼料代	燃料代	種苗種畜費	補助材料代	その他	小計					
978	414	84	6	55	40	25	239	1,841	3	194	18	212	2,056

⑨ 農家経済総括

	永年作物	短期作物	畜産物	現金農業粗収入計	非現金農業粗収入計	農業粗収入計	農業経営費	借入金利息	農業所得	農外収入	農外支出	農外所得	農家所得	家計費	(農家経済余剰)
平均	0	2723	23	2746	77	2823	2056	21	746	62	4	58	804	735	(69)
最高	0	8,388	124	8388	648	9,036	6943	90	2064	180	36	180	2,064	1,373	
最底	0	952	0	952	0	995	348	0	175	0	0	0	304	396	

付表　移住地位置図



番号	移住地名	番号	移住地名
①	トメ・アスー	㉖	バルゼア・アレグレ
②	第2トメ・アスー	㉗	オウリーニョス
③	モンテ・アレグレ	㉘	ピニャール
④	ベラビスタ	㉙	ジャカレイ
⑤	タイアーノ	㉚	日光
⑥	アカラ	㉛	フンシャル
⑦	マカパ近郊	㉜	ラーモス
⑧	エフゼニオ・サーレス	㉝	イタチ
⑨	トレーゼ・デ・セテンブロ	㉞	バジェー
⑩	キナリー	㉟	アルト・パラナ
⑪	サンタ・イザベル	㊱	フラム
⑫	カスタニヤール	㊲	チャベス
⑬	グアマ	㊳	イグアスー
⑭	マラニオン	㊴	アマンバイ
⑮	ベレーン近郊	㊵	アスシオン近郊
⑯	クピチェック	㊶	ガルアペー
⑰	イツベラ	㊷	アンデス
⑱	リオ・ボニート	㊸	サン・ファン
⑲	ピオ・ドーゼ	㊹	沖縄第1
⑳	ブナウ	㊺	沖縄第2
㉑	ウナン	㊻	沖縄第3
㉒	ピウン	㊼	ダハボン
㉓	カーボ	㊽	コンスタンサ
㉔	レシーフェ近郊	㊾	ハラバコア
㉕	グアタバラ		

ベレーン支部
レシーフェ支部
サンパウロ支部
リオ
ポルトアレグレ
パラグァイ
アルゼンチン
ボリビア
ドミニカ

LI